

令和3年度（2021）

事業実績報告書

- ・本部
- ・藤井寺特別養護老人ホーム拠点
- ・つどうホール拠点
- ・大仙もずの音拠点

社会福祉法人 みささぎ会

社会福祉法人みささぎ会 法人訓

私たち、みささぎ会に関わる者は、『先憂後楽』を旨に、福祉の基本である「しあわせ」を追求します。

日々、心には「感謝」を、顔には「笑顔」を常に忘れることなく、精進することを信条とします。

行動指針

- 一. 探究と開拓
- 一. 自立と挑戦
- 一. 情熱と実行

私たちは、「あったらいいな」という事業・サービスの開拓を探究し続けます。

私たちは、自己の能力を最高度に発揮し、新たなる事業の源泉とします。

私たちは、誠実であることを誇りとし、情熱を傾け、想像と創造を旨に喜びのたねまきを行い、我も他も生きがいのある世の中にする事に寄与します。

職員陵七ヶ条

学べば為すあり

君子の道に志すや、則ち学び、則ち思ふ。

昼日之を学び、暮夜之を思ふ。

思えば得るあり、学べば為すあり

吉田 松蔭

- 一． 至誠にして動かざるものは、未だ之あらざるなり
- 一． 素志を持つ
- 一． 夢の貯金をしておく
- 一． 現場主義をつらぬく
- 一． やると決めたら、できるまでやる
- 一． いつかではなく、いま学べ
- 一． 必要なのは実力よりやる気

令和3年度 事業実績報告書 目次

法人

◇役員会開催状況	P. 1
◇その他、各種報告	P. 2

藤井寺特別養護老人ホーム

◇ケアプランセンター	P. 7
◇藤井寺特別養護老人ホーム	
生活支援部 介護課	P. 10
ショートステイ	P. 18
生活支援部 看護課	P. 20
生活支援部 栄養課	P. 27
◇藤井寺デイサービスセンター	P. 32
◇藤井寺ヘルパーステーション	P. 36
◇行事委員会	P. 38
◇広報委員会	P. 39
◇環境衛生防災委員会	P. 40
◇給食委員会	P. 41
◇ボランティア委員会	P. 42
◇リスクマネジメント委員会	P. 43
◇（喀痰吸引）安全委員会	P. 44
◇実習	P. 45

高齢者ケアセンター つどうホール

◇ケアプランセンターみささぎ	P. 46
◇特別養護老人ホームつどうホール	
生活支援部 介護課	P. 50
ショートステイ	P. 59
生活支援部 看護課	P. 62
生活支援部 栄養課	P. 67
◇デイサービスセンターつどうホール	P. 71
◇ヘルパーステーションつどうホール	P. 75
◇グループホームつどうホール	P. 77

◇行事委員会	P. 83
◇広報委員会	P. 84
◇環境衛生防災委員会	P. 85
◇給食委員会	P. 86
◇ボランティア委員会	P. 88
◇リスクマネジメント委員会	P. 89
◇実習	P. 90

高齢者ケアセンター大仙もずの音

◇大仙もずの音ケアプランセンター	P. 91
◇特別養護老人ホーム大仙もずの音	
生活支援部 介護課	P. 97
ショートステイ	P. 106
生活支援部 看護課	P. 108
生活支援部 訓練課	P. 113
生活支援部 栄養課	P. 115
◇大仙もずの音デイサービスセンター	P. 120
◇行事委員会	P. 128
◇広報委員会	P. 129
◇環境衛生防災委員会	P. 130
◇給食委員会	P. 132
◇ボランティア委員会	P. 133
◇リスクマネジメント委員会	P. 135

堺北第1地域包括支援センター

◇北第1地域包括支援センター	P. 136
----------------	--------

令和3年度

社会福祉法人みささぎ会 事業実績報告書

◎監事監査状況

開催日	場 所	内 容
令和3年 6月5日	法人本部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度各事業内容について ・ 令和2年度決算内容について ・ 法人運営について

◎理事会開催状況

開催日	場 所	内 容
令和3年 6月5日	法人本部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度事業実績報告（案）について ・ 令和2年度決算（案）について ・ 次期理事候補者について ・ 次期監事候補者について ・ 次期評議員候補者について ・ 理事長業務執行状況報告について ・ 定時評議員会開催について ・ その他
令和3年 9月1日	決議の省略 （書面決議）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設設備整備積立用中部電力社債1億円分購入について
令和4年 3月30日	決議の省略 （書面決議）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度補正予算について ・ 令和4年度事業計画について ・ 令和4年度予算について ・ 10n1 保育園 開設について ・ 10n1 保育園 園長の選任について ・ 定款変更について ・ 諸規程の変更について ・ ベトナム人留学生2名に対する介護福祉士就学資金貸付制度法人連帯保証について ・ 令和4年度役員等賠償責任保険加入について ・ 定時評議員会について ・ 理事長業務執行状況報告について

◎評議員会開催状況

開催日	場 所	内 容
令和3年 6月26日	こもだ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度事業実績報告（案）について ・ 令和2年度決算（案）について ・ 次期理事候補者について ・ 次期監事候補者について ・ 理事長業務執行状況報告について ・ その他
令和3年 3月31日	決議の省略 （書面決議）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度補正予算（案）について ・ 令和3年度事業計画（案）について ・ 令和3年度予算（案）について ・ ベトナム人留学生1名に対する介護福祉士修学資金貸付制度法人連帯保証について ・ 令和3年度役員等賠償責任保険加入について ・ 介護休業及び介護時短勤務、育児休業及び育児短時間勤務に関する規則の一部改訂について
令和3年 9月1日	決議の省略 （書面決議）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設設備整備積立用中部電力社債1億円分購入について
令和4年 3月31日	決議の省略 （書面決議）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度補正予算について ・ 令和4年度事業計画について ・ 令和4年度予算について ・ 10n1 保育園 開設について ・ 10n1 保育園 園長の選任について ・ 定款変更について ・ 諸規程の変更について ・ ベトナム人留学生2名に対する介護福祉士就学資金貸付制度法人連帯保証について ・ 令和4年度役員等賠償責任保険加入について

◎監査・実地指導

令和3年度はなし

◎補助金・助成金

事業名	対象事業所	内容
新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所・施設等に対するサービス提供体制確保事業	藤井寺特別養護老人ホーム	衛生用品購入費用、かかり増経費等

◎メディア, 関係団体 取材

No.	時期	団体等	内容
1	令和3年9月	(株)日本経済新聞社	日本経済新聞「自然の癒し、ベランダでも」 コロナ禍での趣味、癒し活動としての高齢者施設でのガーデニングについて
2	令和3年11月	(株)Professional Care Japan	介護経営ラボ(webサイト)「第1回介護経営者インタビュー」 理念や社会貢献、人材など運営全般について
3	令和4年2月	(株)シルバー産業新聞社	「シルバー産業新聞2月号」 コロナ禍での生活困難者支援について
4	令和4年3月	(株)日本医療企画	「介護ビジョン3月号」 職員の定着施策について
5	令和4年3月	(株)日本総合研究所 厚生労働省委託事業	「地域ニーズを踏まえた専門職確保に向けた取り組み事例集」 人材確保、定着等の施策について
6	令和4年3月	厚生労働省	「社会福祉法人の生活困窮者等に対する地域における公益的な取組 好事例集」 総合生活相談、無料低額宿泊事業、介護予防教室等について

1. 日本経済新聞「自然の癒し、ベランダでも」



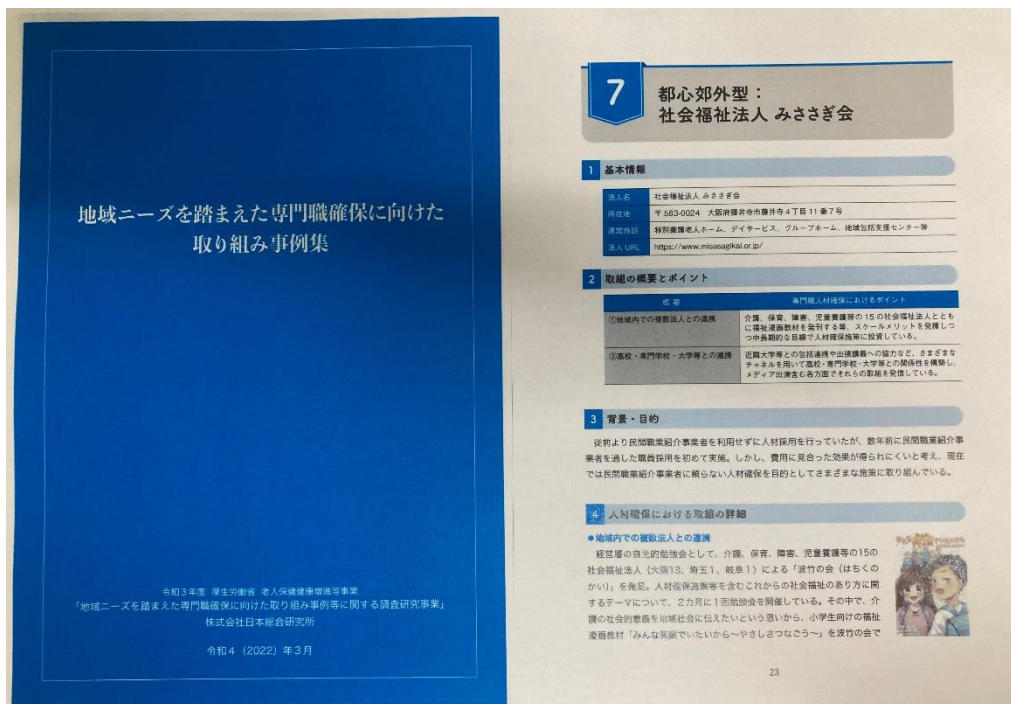
2. 介護経営ラボ(web サイト)「第1回介護経営者インタビュー」



3. 「介護ビジョン3月号」



4. 「地域ニーズを踏まえた専門職確保に向けた取り組み事例集」



5. 「社会福祉法人の生活困窮者等に対する地域における公益的な取組 好事例集」

1. 相談支援

No	所轄庁	法人名	取組の名称	対象	取組概要	始めたきっかけ	つまづいた点	取組の効果
14	大阪府	みなと家	総合福祉相談窓口	地域での多種多様なニーズに対して包括的支援を行う。	困窮状態に陥わらず制度では扱いきれないニーズ、問題解決能力が不十分で公的サービスを利用できない方など、地域での多種多様なニーズに対応するため施設内に窓口・相談支援員の配置を行い困りごとや福祉に関する相談に対応する。	地域の方々や福祉サービスや地域における互助・共助の取組を結びつけ、地域共生社会の実現を支えるために窓口を設置する。		・施設から退所後に事業や制度に外れた方への居場所支援。 ・高齢や障がいのある家族からの福祉相談。入所に至った経緯もある。
15	大阪府	みささぎ会	ソーシャルリレーション事業	生活困難、制度の狭間に陥っている若年層から高齢層母子世帯などすべての方を対象	大阪府社会福祉協議会と同老人施設部会での共同事業である生活困窮者レスキュー事業を活用しながら、制度の狭間に陥った方への総合生活支援を実施。ライフラインの復旧や就労支援、行政への機連しを行う。「人と人」「人と制度」「人と地域」をつないでいくという趣旨を込めてソーシャルリレーション事業という名称で社会貢献事業を行っている。	生活困窮者レスキュー事業の立ち上げに参画しており、当時から社会福祉法人のミッションを果たすために、制度の狭間に陥っている人を支援することとした。	依頼が重なる時期は、対応が追い付かないこともあった。専従者も置くことで対応が可能になっている。 当初は総合的な課題に対する経験が少なく、手探りで相談に乗ることもあったが、経験と研修などでカバーできるようになった。	例年30件以上は相談依頼があり、伴走型の支援をすることで、ほぼすべての方が制度や、就労に結び付いており、自立へ向かうことができる方々をたくさん見ることができた。

7. 自立・宿所提供支援

No	所轄庁	法人名	取組の名称	対象	取組概要	始めたきっかけ	つまづいた点	取組の効果
5	大阪府	みささぎ会	無料低額宿泊事業	緊急で住まいを失う可能性の高い方やホームレス状態の方	疾病や罹り止め、災害など都合的な理由で住まいを失う方に対し、無料低額宿泊所を一定期間活用することで、社会復帰への足掛かりとする。制度につながる方や就労に結び付くなど、自立に向けた伴走型支援を実施。	生活困窮者レスキュー事業を行う中で、住まいの確保が難しいケースが多々あった。地域で生活困難に陥っている方への伴走型支援をより手厚く行うため、自法人で無料低額宿泊所を運営することとした。	地域の理解もしつかりなかったが、設置の説明は丁寧に行った。	生活保護につながるまでの3週間程度、住むところがない方の一時的居場所としての機能や、火事で住まいを失った方の緊急避難先、コロナ禍での突然の解雇により強制的に社員寮を退去させられた方など様々なことが原因で住まいを失った方への緊急支援ができた。 無料低額宿泊所を活用しながらアルバイトを開始し、生活資金を一定貯蓄した段階で、次の住まいを見つける方など生活再建の場としても機能している。

8. 理解促進・講座

No	所轄庁	法人名	取組の名称	対象	取組概要	始めたきっかけ	つまづいた点	取組の効果
12	大阪府	みささぎ会	デリバリー型介護予防教室	地域の健康高齢者	地域の老人会等に出向き、脳トレやデュアルタスク活動など認知症予防普及啓発活動を実施。認知機能スケールも採取し、経年の変化をフィードバック、日々のモチベーションにしたいと。	大阪大学精神医学教室、産業科学研究所、総合医療部門の先生方と、非薬物による認知症予防研究を共同で実施。得られた知見や活動内容を地域住民に還元することを目的に実施。	開催地域と開催頻度を増やしてほしいという依頼があるが、すべての要望には応えられない。	認知症予防に対する意識が上がっており、認知機能スケールの結果、維持されていることに大変喜ばれ、日頃の生活のハリになっているとの感想が多く聞かれる。

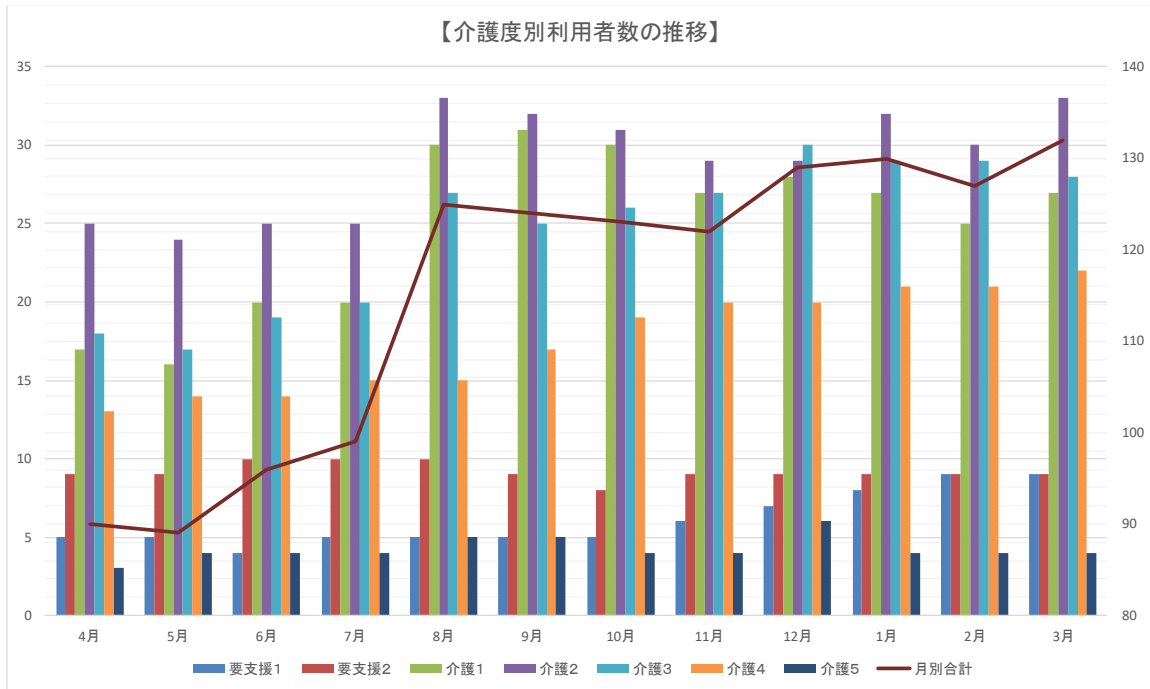
社会福祉法人の生活困窮者等に対する「地域における公益的な取組」好事例集

令和3年度

藤井寺ケアプランセンター事業実績報告書

<事業計画書の目標に対して>

- ① 総件数は3月末時点で年間1,386件、月平均115.5件と前年より月24.7件増加。年間の新規利用者は46件と前年より19件増加。年度末目標件数135件には及ばなかった。
 自法人のデイ紹介率をプランセンター全体で50%



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	5	5	4	5	5	5	5	6	7	8	9	9
要支援2	9	9	10	10	10	9	8	9	9	9	9	9
介護1	17	16	20	20	30	31	30	27	28	27	25	27
介護2	25	24	25	25	33	32	31	29	29	32	30	33
介護3	18	17	19	20	27	25	26	27	30	29	29	28
介護4	13	14	14	15	15	17	19	20	20	21	21	22
介護5	3	4	4	4	5	5	4	4	6	4	4	4
月別合計	90	89	96	99	125	124	123	122	129	130	127	132

<新規>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	4	7	3	2	3	5	3	7	5	3	3	46

<未梢>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	5	1	2	4	3	5	3	0	4	4	2	35

<考察>

新規利用者が未梢利用者の数を上回り、実績が増加となった。前期は、医療機関、包括等に直接営業を行ったが、包括支援センターやご家族からの紹介、地域のケアマネが退職する為の引継ぎが主な新規利用者の獲得理由であった。特に1月以降は新型コロナウイルス感染者増加の為、積極的な営業は行っていない。

＜年間目標に対して＞

① 利用者にあったアクティビティサービスの提供

利用者の趣向や残存機能を適切にアセスメントし、在宅サービス提供事業所に情報提供やサービスの提案を行った。また、保険外のニーズには、自費ヘルパーを提案する等サービス調整を実施。新型コロナウイルス感染症で疑いのある利用者を受診の手配、急遽サービスが利用できなくなった利用者に対してヘルパーに届けてもらう等臨機応変に対応することができた。

② 法人内の他部署との連携を強化する

LINWORKS を活用する等、デイサービスやショートステイ、ヘルパーと連携を図る事ができた。また、ケアカルテで利用してるサービスの情報収集、体重やバイタル等の情報収集が容易にできるようになった。コロナ禍では、情報を迅速に伝える必要があり、特にご家族や利用者が体調不良の時の対応や、サービスが休止となった時等部署連携でご家族への連絡や代替えサービスの調整、PCR 検査の手配や必要物品の準備等行う事ができた。

前期は、デイやヘルパー等自法人のサービスを知って頂く為地域連携室や居宅介護支援事業所にチラシを配布する等営業を行ったが、後期は新型コロナウイルス感染拡大の営業で実施できなかった。

他法人との事例検討会は年2回の予定であったが、1月以降新型コロナウイルス感染拡大の営業で1回しか開催する事ができなかった。

③ 地域のニーズに応えられるよう幅広い活動を積極的に展開する

新型コロナウイルス感染拡大の為、介護予防教室は中止。地域住民や民生委員、校区福祉委員との関りを築くことはできなかった。

④ 新型コロナウイルス感染予防の徹底

ご家族が濃厚接触疑いのある時はリモートワークに切り替える等感染予防を徹底して行った。

＜業務内容について＞

・ケアプランの作成(介護・予防)

新規の依頼に対しては早急に自宅へ訪問し、利用者及び家族の意向と利用者の心身の状況・環境等を把握した上で、課題分析を行い、個々にあったケアプランを作成した。

・サービス担当者会議

新規、認定更新・区分変更・サービス内容変更時は都度サービス担当者会議の開催を行った。

・モニタリング

毎月の自宅を訪問し、ケアプランが適切であるか常に見直している。

・記録

今年度実施されたケアプラン点検時に運営基準上必要とされる文言が適切に記載されているかの見直しを行い、記録の取り方についてプランセンター内で共有を行った。今後はICT化(ケアカルテ)導入に伴いより情報共有できる体制を構築していく。

【事例】精神疾患、認知症により一人暮らしが困難となったケース

(名前) T・M (女性) 96歳 要介護3

(利用サービス) 訪問介護(毎日)デイサービス週5回)、訪問看護、往診

(家族構成) 独居 他市に息子さん

(ADL) 見守り歩行(触ると怒る)

(経過) H29.4に引き継ぎ、気難しい性格で、機嫌を損ねると、怒り出してしまう。

家族様(息子)とも折り合いが悪く、息子さんの顔を見ると怒り出してしまう。

身のまわりの事は何とか出来ているが食事の用意はできず、配食を利用しながら毎日のヘルパー利用により在宅生活を行う。精神、認知症状が進行。

R2.4 デイサービスの送り出しにヘルパーが対応、玄関で怒り出し、何とかなだめヘルパーと一緒に車に乗り込み、デイまで来るが車を降りたとたん、反対方向に向かって歩き出す。付き添い、家に帰る。

R2.5 水分摂取が足りないのか微熱が出る事増える。送迎時に怒り出しあばれ職員がかみつかれたり引っ掛かれたりすることも。

また羽曳野警察より連絡があり、隣に家からガラスが割れる音がしたと通報。様子を見に行きたいと言われ、ヘルパーと入室。ご本人ケガはない様子。物を投げて、カラス窓を割った様子。息子さんに連絡行うこの頃より物を壊す行動が出てくる。

R2.7 朝ヘルパーが訪問時、居間でうつぶせに倒れていると連絡。意識はあるがケガなど確認できない為、救急車を呼ぶが、救急車の中でも大暴れ、病院でも大暴れで、「これだけ元気があれば骨折もないでしょう」と帰される
往診医にも「一人暮らしは無理、入院し薬の調整を行う必要があると言われる

R2.8 トイレに失敗も増え、微熱を出す事も増えて来る。

デイ、ヘルパーが手におえない事も多くなる。食事量、水分量も少なく体重も減少してくる。

R2.10 朝ヘルパーが訪問時、ベッド横にうつぶせで倒れており、尿便失禁されており起こせないとHELPの連絡入り4人がかりで起こし着替えなどさせて、バイタル問題なかったため、デイサービスに連れて行き、ケガがないか確認。夕方、往診、「一人暮らしは無理入院の必要があると何度も伝えているでしょう」主治医も息子さんにきつく言う。

R2.11 息子さんは動くことなく、熱があり、主治医の指示にて救急搬送おこない入院となる

R3.3 病院にて、永眠される。

《令和3年度の目標》

利用者の立場に立ち、安心感のある生活を過ごして頂く。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大があり、生活に制限を受け不安を抱えながら施設で生活されている利用者が多い。そんな中でも、できる限り自宅に代わる住まいとして安心感のある生活を過ごしてもらいたい、という思いから今年度の目標を設定した。利用者の主訴に沿って生活していただけた事例紹介。

【事例紹介】

●事例 K様（要介護4・障害自立度A2・認知症自立度Ⅲa）

T様（要介護5・障害自立度C2・認知症自立度Ⅲb）

（本人の様子）

K様82歳・男性。パーキンソン病の為、身体機能の低下が見られ、日常生活において介助が必要である。明瞭な発語が難しいことがあるが、比較的認知機能は維持されていることが多く、コミュニケーションが可能である。

T様82歳・女性。アルツハイマー型認知症、舌癌術後の為、日常生活において介助が必要である。認知機能は入所当時から低下されていたが、声掛けには目を開ける等反応はある。

K様とT様はご夫婦であり、T様が入所した当初からK様はよく面会に来られていた。K様が徐々に自宅での生活が難しくなり、在宅サービスを経て入所された後も、お二人の面談機会を設けていた。

（本人の思い）

T様：「最期まで妻の近くで過ごしたい。」

K様：「延命は希望せず、自然なまま死にたい。」

（支援の経過）

K様が高齢と嚥下機能低下の為、徐々に食事・水分が口から食べられなくなられた。ターミナルの意向確認の為、家族様と坂戸Drがムンテラされた際、本氏は以前意思表示が出来た時に「延命は希望しない」「自然なまま死にたい」と言っていたと家族様より伝え聞く。家族様の意向もありターミナル対応となる。

感染症対策により、本来は面会禁止としていたが、残り少ない時間を家族様と過ごして頂くため、事前に連絡をいただいた上、検温・消毒・体調確認・ビニール手袋着用を行い、遠方にお住まいの3人のお子様それぞれにT様と共に、K様と面会の機会を設けた。K様が亡くなる際も、T様に付き添いしていただいた。葬儀も、大阪市内で営まれたが、T様にも職員ついそのもと参加していただいた。

（振り返り）

K様の「自然なまま死にたい」という希望と、T様の「少しでも傍に寄り添ってほしい」とい

う希望に沿い、感染症流行下ではあるが対策を徹底し面会の機会を定期的に設けることができた。結果として、T様はK様を最期まで看取れたことを満足しておられるようであった。また、K様もT様に見守っていただけたことで少しでも安心して頂けたのではないかと感じられた。

今後も積極的にターミナルを受け入れ、その人らしい尊厳を持った生活を最後まで提供できるように努めたい。

●ユマニチュードケア技法の徹底

ユマニチュードケアを実践するにあたり、認知症への理解を深めるべく、認知症実践者研修受講者を中心としてフロアごとで認知症学習会を実施した。基本的な認知症についての知識を確認した後、実際の利用者のBPSDを基に現状の対応と、目指すべき対応について話し合った。

学習会実施後は、職員の利用者に対する対応がよりよくなったように感じた。今後も、フロアごとでの研修を考えていきたいと感じた。

●利用者にあったアクティビティサービスの提供

今年度も感染症対策の為、星まつりや遠足・一泊旅行等の例年行ってきた行事が中止となった。昨年と同様、フロアごとで夕涼み会、施設内で初詣を行う等、季節を感じて頂ける行事を提供した。また、各フロアの職員が企画したイベントを開催するなど、各フロアの状況に合わせて少しでも利用者に楽しんでいただけるよう工夫した。

また、ボランティアを呼べずクラブ活動も行えない為利用者の機能低下と日常生活の楽しみの消失が懸念されたので、毎日の食前体操をできる限り継続して実施することと、外気浴等を可能な限り実施することで、認知機能・身体的機能の維持を図った。

次年度も、状況に応じてアクティビティサービスを提供できるよう、工夫していきたい。

●家族交流会の実施と外部の積極的な受け入れの実施

上記の通り感染症対策の為、家族交流会を実施することは出来なかった上に、面会も原則禁止となり、家族様や外部との交流はほぼなくなってしまった。利用者の様子を細かに家族様に見て頂き、安心感を得て頂くために、毎月のおたよりに個人の写真とご様子を載せて送付し、LINEのビデオ通話や窓越し面会を実施することで、家族様とのつながりを維持し、信頼関係を損なわないよう配慮した。家族様からも、「(写真をみることで)面会をしたような気分になります。」「写真を見ると色々な行事をしていただけているとわかり、安心します」と言った言葉をいただいている。今後も面会が解除になるまでは、対応を継続していきたい。

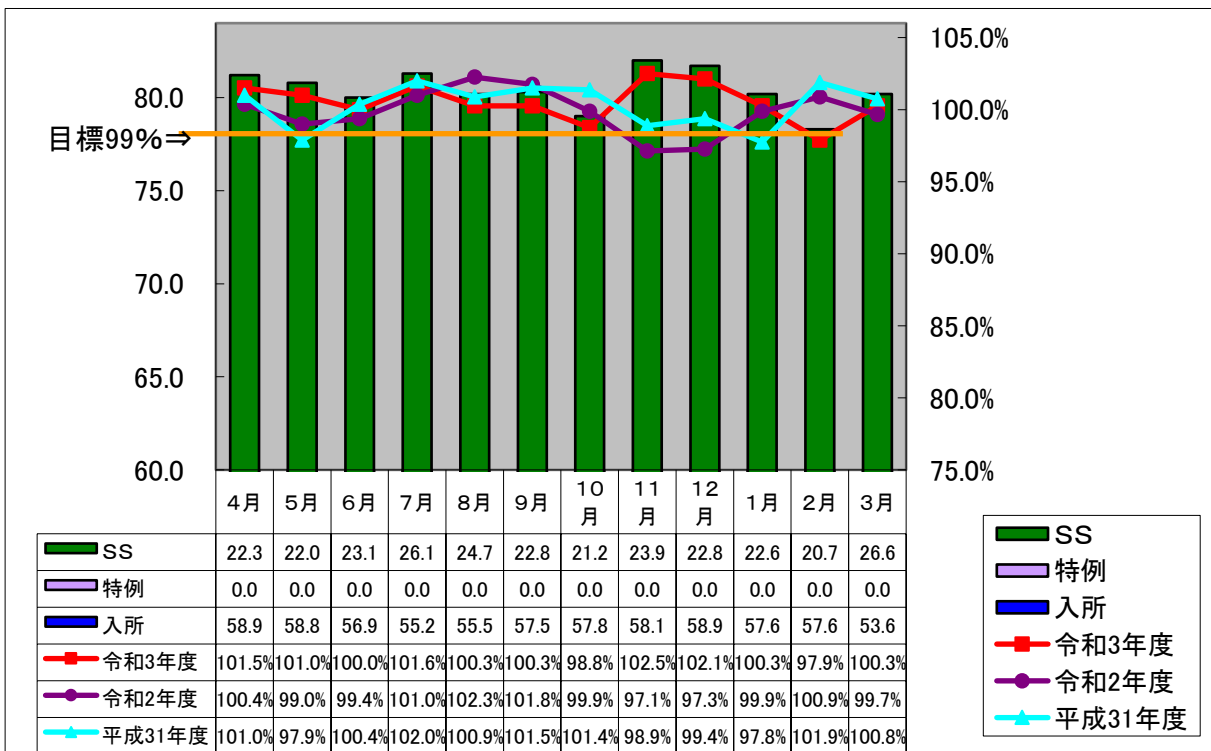
●快適な住環境の整備

感染症対策で外出が難しい中、季節の移り変わりを感じて頂けるよう、各フロアで季節ごとに壁等を飾り付けた。視覚的に捉えやすいよう立体的な装飾も行った。また、その装飾は利用者とともに作成して頂くことで、廃用性防止の一環となった。感染症対策の影響もありレクリエーションの実施が困難な状況においては、今後も続けていくべきと感じた。

また、老朽化に伴うベッドの入れ替えを実施した。離床センサーがなくても安全に休息がとれるよう低床ベッドとベッドサイドマットを導入して、その人にあわせて安全に過ごせる住環境整備に努めた。

【入所者年間実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
入所実人数	62	60	60	60	59	62	61	59	60	60	59	57	719
新規入所者数	2	0	0	3	2	3	1	2	0	1	0	0	14
退所者数	1	1	4	2	0	2	4	0	1	1	1	5	22
延べ入所者数	1768	1822	1706	1711	1721	1724	1791	1743	1825	1785	1614	1663	20873
延べ特例入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延べショート	668	682	693	810	764	686	657	716	707	702	579	822	8486
入所1日平均	58.9	58.8	56.9	55.2	55.5	57.5	57.8	58.1	58.9	57.6	57.6	53.6	57.2
特養1日平均	81.2	80.8	80	81.3	80.2	80.3	79	82	81.7	80.2	78.3	80.2	80.4
稼働率(定員70名)	84.14%	84.00%	81.29%	78.86%	79.29%	82.14%	82.57%	83.00%	84.14%	82.29%	82.29%	76.57%	81.72%
稼働率(定員80名)	101.50%	101.00%	100.00%	101.63%	100.25%	100.38%	98.75%	102.50%	102.13%	100.25%	97.88%	100.25%	100.54%



退所者状況

帰宅	他施設入所	病院に入院	死亡	その他	合計
0	0	8	14	0	22

今年度の実績は 100.54%（一日平均 80.4 人）と目標の 99%は上回った。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から新規利用者の案内が進まず、退所者数が入所者数を上回ってしまったが（-8 名）、ショートステイの空床利用が実施出来た為、年間を通して高い稼働率を維持できた。継続して入所者を確保できるよう、すぐに入所できる待機者を常に確保しておき、急な退所者が出た時もすぐに入所できるようにする。

	項目	男性	女性	合計	備考	
年齢	65歳未満	0	0	0	最高齢 男性 88歳 女性 99歳	
	65～69歳	0	0	0		
	70～79歳	1	2	3		
	80～84歳	80～84歳	2	5	7	最若齢 男性 71歳 女性 74歳
		85～89歳	3	14	17	
		90～94歳	0	16	16	
	95～99歳	95～99歳	0	10	10	平均年齢 89.6歳 男性 83.7歳 女性 90.3歳
		100歳以上	0	0	0	
		合計	6	47	53	
要介護度	要介護 1	0	0	0	平均介護度 4.33 男性 4.33 女性 4.33	
	要介護 2	0	0	0		
	要介護 3	2	3	5		
	要介護 4	1	26	27		
	要介護 5	3	18	32		
	合計	6	47	53		
在所期間	1年未満	1	13	14	平均在所期間 3.4年 男性 4.7年 女性 3.2年	
	1年以上3年未満	2	14	16		
	3年以上5年未満	0	11	11		
	5年以上10年未満	3	7	10		
	10年以上15年未満	0	2	2		
	15年以上	0	0	0		
	合計	6	47	53		

ADL 状況

	視 力		聴 力		言 語		食 事		移 動 方 法		移 乗		入 浴		着 脱		排 泄					認 知 症																				
	普通	弱視	全盲	やや難聴	難聴	普通	軽度障害	重度障害	自立	要介助	全介助	補助具使用	車イス使用	要介助	自立	全介助	自立	要介助	全介助	昼間			夜間			トイレ誘導	重度	中度	軽度													
																				トイレ	オムツ	オムツ	トイレ	オムツ	オムツ																	
本2F	13	3	0	7	7	2	14	2	0	7	7	2	2	1	0	13	2	5	9	0	3	13	1	5	10	1	0	8	0	0	0	7	0	0	1	0	15	0	7	6	3	
本3F	18	1	0	10	8	1	13	3	3	8	2	9	1	0	1	17	1	3	15	0	2	17	0	4	15	1	1	6	0	0	11	0	0	0	1	0	18	0	10	5	4	
新2F	10	0	0	7	2	1	6	4	0	6	1	3	0	0	5	5	0	5	5	0	4	6	0	5	5	1	2	3	0	0	4	0	0	0	0	1	0	9	0	3	2	5
新3F	6	2	0	5	3	0	5	1	2	5	0	3	0	0	3	5	1	1	6	0	3	5	1	2	5	1	1	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	8	0	1	5	2
合計	47	6	0	29	20	4	38	10	5	26	10	17	3	1	9	40	4	14	35	0	12	41	2	16	35	4	4	17	0	0	28	0	0	2	1	0	50	0	21	18	14	
(男性)	6	0	0	4	2	0	1	3	2	3	0	3	0	1	1	4	1	2	3	0	3	3	1	2	3	1	1	1	0	0	3	0	0	1	0	0	5	0	1	2	3	
(女性)	41	6	0	25	18	4	37	7	3	23	10	14	3	0	8	36	3	12	32	0	9	38	1	14	32	3	3	16	0	0	25	0	0	1	1	0	45	0	20	16	11	

入浴状況

		対象者数	開設回数	一日あたりの人数	一人あたりの回数(週)
一般浴	介助浴	4	178	15.3	2回
	チェア浴	17			
	リフト浴	0			
特 浴		32	266	10.3	

理容状況

実施回数	延べ利用者数	平均利用者数
20	242	12.1

面会・外出状況

		24回以上	23～12回	11～6回	5～3回	2回	1回	なし	一人平均	延べ回数
面会状況		0	2	11	14	5	14	7	3.43	182
LINEビデオ通話		1	5	9	9	6	6	29	3.88	252
外泊状況		0	0	0	0	0	0	61	0	0
外出	家族	0	0	0	0	0	0	53	0	0
	ホーム	0	0	0	0	0	1	52	0.02	1

見学者状況

見学	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		2	4	4	12	3	6	4	5	8	0	2	2

レクリエーション・クラブ活動状況

	茶道	川柳	フラワーアレンジメント	カラオケ	歌体操	おはなしころりん	書道	塗り絵	NICEバンド	おやつ作り	その他	計
開催状況	中止	中止	中止	中止	中止	中止	中止	週3回	中止	中止		
延べ活動回数	0	0	0	0	0	0	0	110	0	0	0	110
延べ参加人数	0	0	0	0	0	0	0	837	0	0	0	837
平均参加人数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.6	0.0	0.0	0.0	7.6

ボランティア活動状況

	クラブ活動	理美容
実人数	0	4
活動日数	0	20
延べ人数	0	29

地域交流

今年度は感染症対策の為、全ての地域交流が中止となる。

年間行事

4月	3/27-4/4	お花見	14日	誕生会	17日	胸部レントゲン
	21日	リネン交換				
5月	5/3~5/5	しょうぶ湯	12日	誕生会		
6月	9日	誕生会	23日	消防訓練		
7月	7日	七夕祭り	14日	誕生会		
8月	4日	夕涼み会(本3)	11日	誕生会	11日	夕涼み会(新館)
9月	4日	夕涼み会(本2)	8日	羽曳野市議会議員選挙		敬老祝賀会
	29日	誕生会				
10月	13日	誕生会	27日	リネン交換	27日	衆議院選挙不在者投票
11月	10日	誕生会	17日	大掃除(新館)	21日	雪まつり(本2)
	24日	秋の大運動会(本3)	28日	秋祭り(新館)		
12月	1日	大掃除	8日	誕生会	12/20-22	ゆず湯
	25日	クリスマス会	26日	ギター弾き語り	28日	もちつき
1月	1日	新年祝賀会	2日	初詣(館内)	2日	ギター弾き語り
	3日	書初め	12日	誕生会		
2月	2日	節分				
3月	3日	ひなまつり	3/27-4/5	お花見		
※避難訓練 … 月1回						

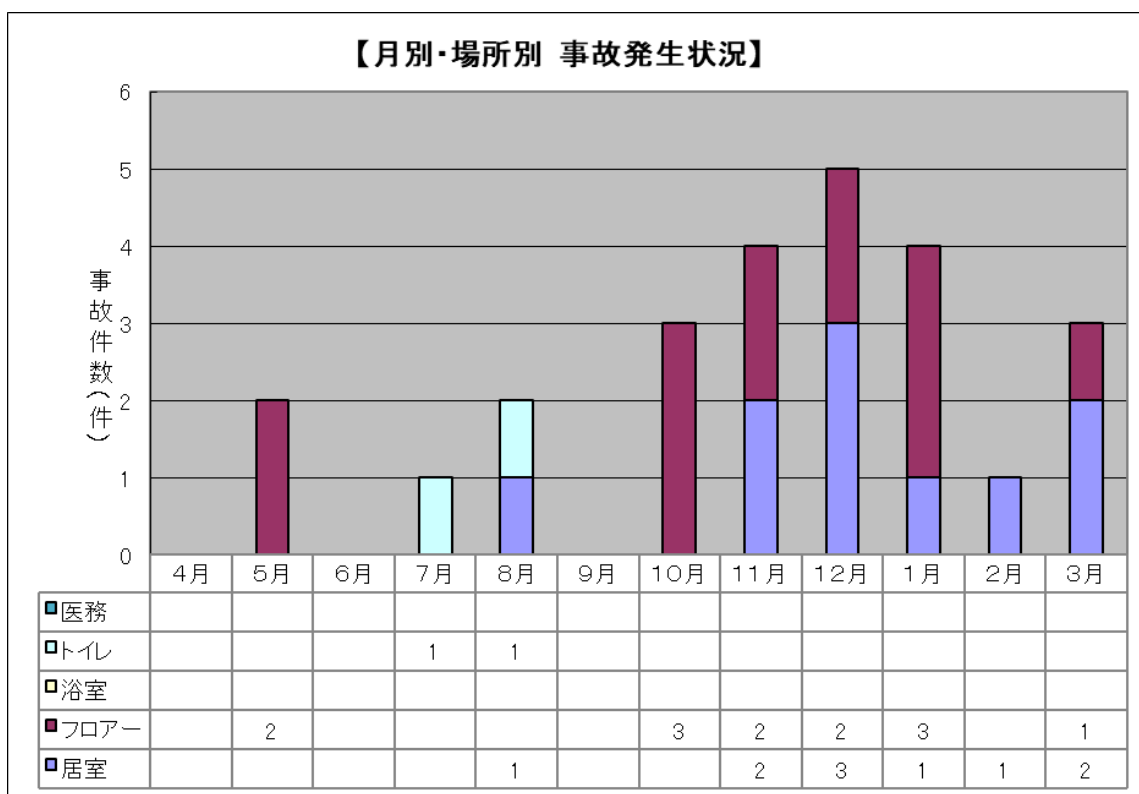
事故状況

	氏名	フロアー	日時	場所	状況	症状	離床センサー設置
1	H・M様	本3	5/12 8:00	フロア	配膳ミスで食パン提供。喉詰めされる。意識レベル低下。少量嘔吐。	タッピングと吸引で回復。	
2	Y・K様	本2	5/17 8:05	フロア	配薬時に誤って他利用者の薬と一緒に配薬してしまう。	異常(一)	
3	S・S様	本2	7/15 17:15	トイレ	トイレ座っていたが右側臥位に転倒。	頭部裂傷。受診し縫合。	
4	K・M様	本3	8/7 19:00	トイレ	トイレで右側臥位に転倒。	右側頭部発赤、腫脹。受診。	
5	N・T様	新2	8/29 6:10	居室	ベッド下に転落。	前頭部腫脹。受診。	○
6	N・M様	本2	10/8 12:30	フロア	椅子に座ろうとされ尻もちをつかれる。	異常(一)	
7	K・H様	本2	10/18 12:30	フロア	車椅子から立ち上がれ、そのまま座り損ねて尻もちをつかれる。	異常(一)	
8	I・S様	本2	10/21 18:25	フロア	車椅子から立って机伝いに歩かれ、そのまま仰向けに転倒される。	内出血と腫脹。受診。	
9	T・M様	本2	11/7 11:15	フロア	フロア内でソファ前転倒される。	右大腿部骨折の為、入院	
10	H・M様	本2	11/7 18:30	フロア	歩行器で方向転換しようとした際転倒。左額、側頭部、左顎打撲。左額から出血。	左額から出血。受診。	
11	N・M様	新2	11/27 14:45	居室	居室入り口で座り込む本氏発見。	異常(一)	
12	I・S様	本2	11/30 22:20	居室	ベッドから降りて座り込み発見。	左側頭部出血痕と腫脹。受診。	○
13	Y・Y	新2	12/6 12:30	居室	2人介助でベッドへ移乗の際バランスを崩し職員が下敷きになる形で転倒。	左額発赤。	
14	S・K様	本2	12/8 7:00	居室	ベッドから数歩離れた所で右側臥位で転倒。	左後頭部腫脹、内出血。受診。	○
15	O・Y様	新3	12/8 10:00	居室	ベッドサイドで横たわっている本氏発見。	後頭部に腫脹。受診。	
16	M・K様	新2	12/11 19:50	フロア	車椅子を後ろから押した状態で壁に寄りかかっている本氏発見。	頭部に腫脹。受診。	
17	N・A様	本3	12/24 10:25	フロア	リハビリ体操中に座布団がずれてフットサポート上にずり落ち。	左膝腫脹。受診。	
18	T・N様	本2	1/1 5:40	居室	ベッド下に転落。	異常(一)	
19	K・S様	本2	1/9 11:45	フロア	車椅子からずり落ち。	異常(一)	
20	I・S様	本2	1/17 5:05	フロア	車椅子ごと左に転倒される。	異常(一)	
21	N・T様	新3	1/19 21:10	フロア	居室前で転倒。	頭部打撲。受診。	
22	Y・T様	本3	2/27 8:20	居室	自己にて移乗しようとして尻もちをつかれる。	異常(一)	
23	O・T様	新3	3/13 14:03	フロア	自己にて車椅子から立ち上がられ、手すりを持って移動し座り込み。	異常(一)	
24	S・A様	本2	3/18 22:30	居室	ベッドから立ち上がろうとされ、膝をつかれ右に転倒。	異常(一)	○
25	K・M様	新3	3/19 17:15	居室	ポータブルトイレに座ろうとされ座り損ね壁に頭部打撲。	赤みある為受診。	

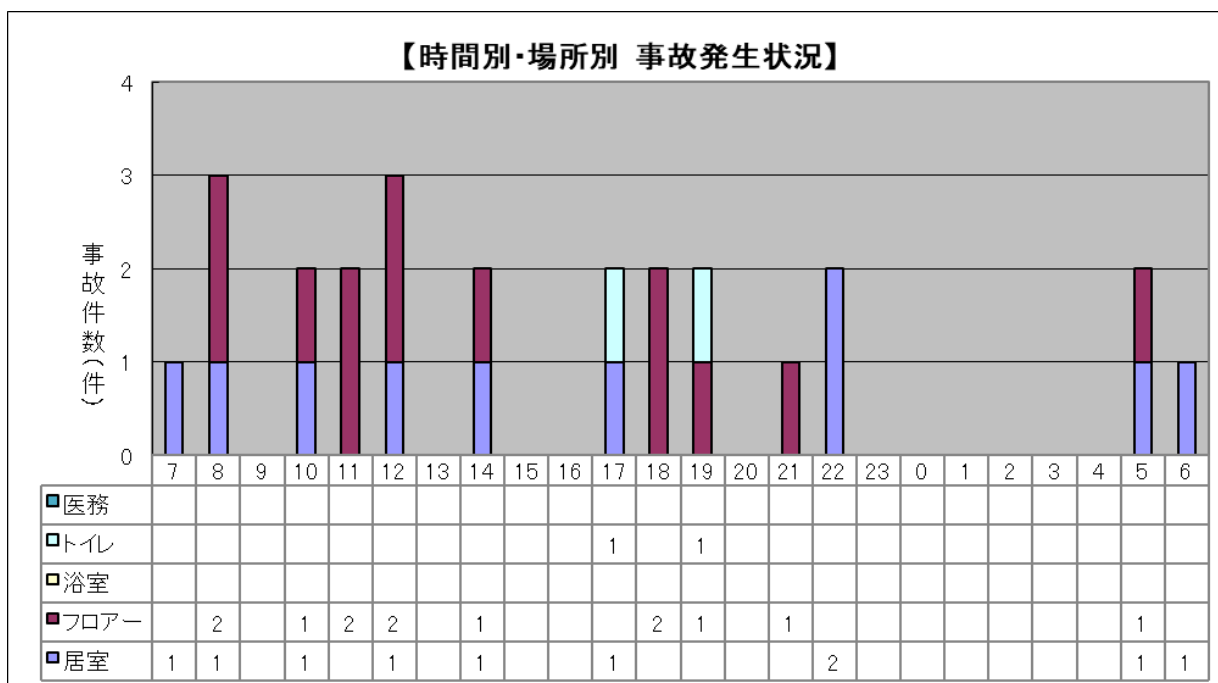
合計 25件 (うち SS 9件、離床センサー4件)

令和3年度はアクシデント25件(内ショートステイ利用者9件=36%)であった。前年度と比較すると件数は変わらず。ショートステイ利用者の事故は1件減り、離床センサー対応者は2件減った。感染症対策により行事等がないこともあり、職員が日常的な介護に集中できたことが要因の一つと考えられる。

フロアー別で事故状況をみると、本館2Fが13件(52%)と最も多く、新館2F・本館3F・新館3Fがそれぞれ4件(16%)。ショートステイで情報が少なく、危険予測が至らなかった場合もあるが、同じ利用者が事故にあっていることが多く、優先順位のつけかたや、基本的なルールが守られていないことがあった。各職員が安全を最優先にした介護のあり方を考え続けることで事故防止に努める。



月別の事故発生状況から、10月～1月で事故が多発した。発生場所は、例年通り居室での事故が10件（40%）と多かったが、フロアでの事故が13件（52%）と最も多かった。事故がない月もあった為、年間を通して事故を無くせるよう各フロアの申し送りで見守りの方法や環境整備、ヒヤリハットの確認等を行うとともに、安全確保に対する認識を上げる必要がある。



時間別の事故発生状況から、夜間を除きどの時間でも事故が発生している。動き出し等に見守りがいる利用者に対してフロア等での見守りが十分にできておらず、フロアで転倒・座り込みされる等の事故に至ったと考えられる。職員間で見守りを誰が行うか確認することで、責任の所在を明確にし、集中して見守ることで、事故を防止する。

令和3年度 ショートステイ実績報告書

〈目標〉

特養実績 99%(79.2名)に対して、定員 10名+空床利用調整により目標を達成する。

〈結果〉

特養実績 100.5%(80.4名)で目標達成した。

〈年間実績〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
実人数	41	39	39	45	43	38	39	43	45	41	34	46	493
延べ人数	688	682	693	810	764	686	657	716	707	702	579	822	8506
1日平均	22.90	22.00	23.10	26.10	24.60	22.90	21.20	23.90	22.80	22.64	18.67	26.50	23.11
入所空きベッド数(延べ)	332	348	394	459	449	376	378	357	345	295	346	507	
空きベット利用者数(延べ)	388	372	393	500	454	386	347	416	397	392	299	512	
空きベット稼働率	101.50%	101.00%	100.00%	101.63%	100.25%	100.38%	98.75%	102.50%	102.13%	100.20%	97.90%	100.20%	100.54%
総額(円)	5,905,671	6,421,305	6,508,553	7,993,303	7,041,497	6,719,180	6,110,713	6,441,070	6,861,047	6,780,711	6,029,387	8,121,026	80,933,463
処遇改善金を引いた残額(円)	5,860,190	5,888,574	5,839,612	7,197,723	7,122,340	6,207,852	5,603,524	5,925,784	6,312,163	6,238,254	5,547,036	7,471,343	75,214,395
特定処遇改善加算	147,496	173,255	164,165	195,252	174,800	166,296	140,546	148,144	146,304	135,614	120,587	162,420	1,874,879

〈実績について〉

年間新規利用数 46名(前年度 18名) 内他事業所から 35名の調整を実施。

急な空床対策として、ショート→ロングショートへの流れをつくり、ニーズに沿った提案をタイムリーにおこなえるようにした。

特養ニーズのあるご利用者が藤井寺特別養護老人ホームを利用できるように居宅介護支援事業所・老健・病院等と連携した。

〈感染症対策〉

新型コロナウイルス予防対策を徹底した。

感染対策強化が必要な時期には、ご家族と相談の上、ご利用を控えていただく等の調整をおこなった。(2月：延べ-110の下方調整)

〈サービス面〉

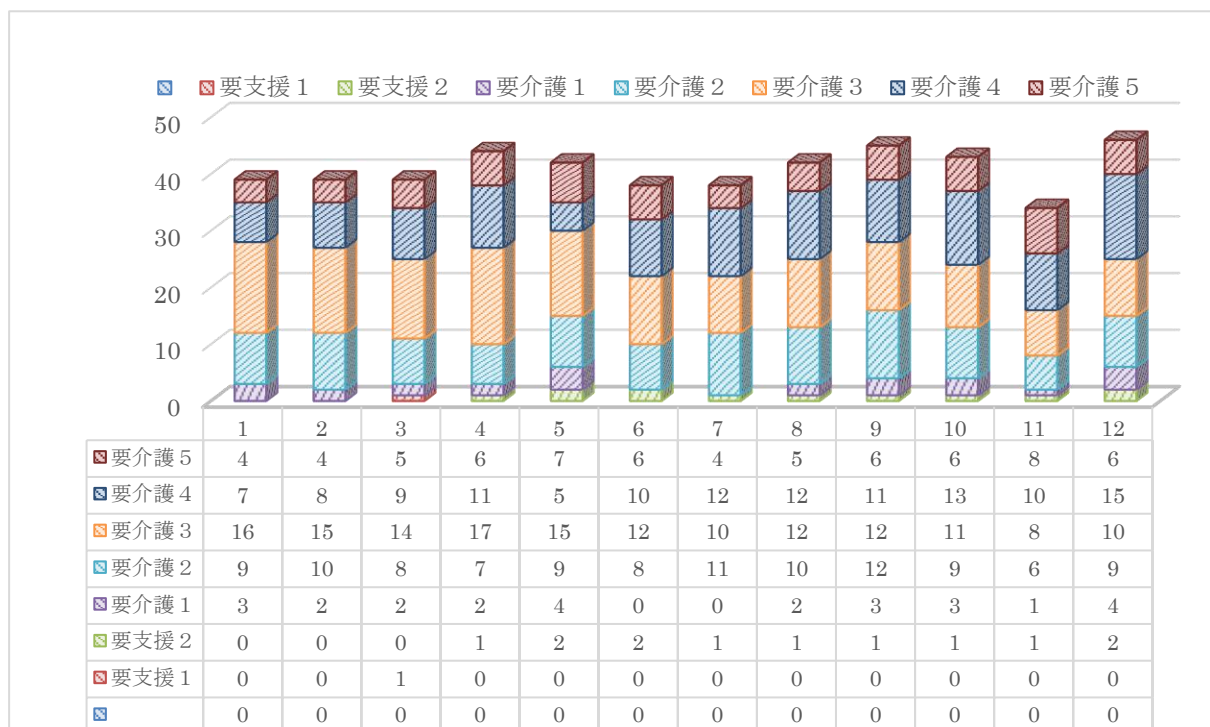
主任・相談員・ケアマネ・介護職員・NSが連携して、個々のご利用者ニーズに合ったフロア・居室の提案をした。

フロアでは気の合うご利用者との場面設定をおこなった。居室では、リスクに配慮しながら、落ち着いた過ごせる環境づくりを設定することで、心理面の安定・身体機能の維持・利用の定着につながった。

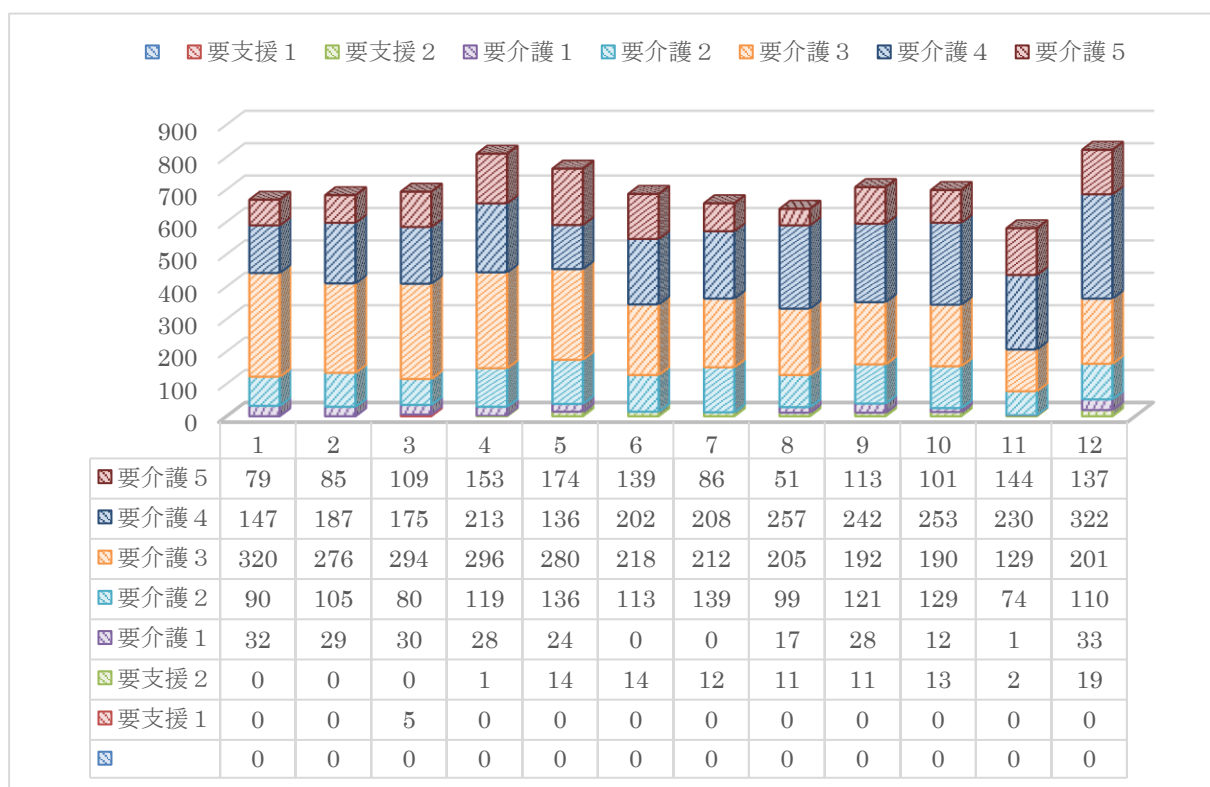
ご利用者の身体機能が維持できるよう、希望者に個別機能訓練を実施した。ケアマネ、ご家族、本人から、「ショートステイで十分な機能訓練をしてもらえ、自宅での生活が維持できています」といった声が多かった。

ご家族との信頼関係構築のため、主任・相談員・ケアマネが送迎時に直接ご利用者の状態報告・ニーズの確認等をおこなった。

《要介護度別 実利用者数》



《要介護度別 のべ利用者数》



《次年度に向けて》

- ・引き続きショート定員+空床利用の取り組みをおこない、実績目標を達成する。
- ・実績安定・業務の効率化のために特養予約管理ソフトを導入し、稼働していく。
- ・サービス面では、個々のご利用者ニーズにあったサービス提供をできるように、専門職間が連携、実施していく。

令和3年度 看護課 実績報告書

【数値目標】

- ① 1ヶ月レセプト請求目標 23万点維持。(223948点)
 - ・レセ漏れ防止対策として月末チェックを継続する。
- ② 特養ベッド稼働率 100% (100.25%)
 - ・空床を埋められるよう、関係部署と協力した。
 - ・利用者が体調を崩さないように体調面での維持、管理、環境面での配慮を心がけた。
 - ・入院にならないように脱水予防、尿路感染予防のための補液、保清の啓発に努めた。
 - ・肺炎予防として、食事時の姿勢、食事の形態に留意し、熱発等の肺炎の微候が見られた際は絶飲食対応や抗生剤の投与を行ない、必要と判断した際は早期受診に努めた。
 - ・コロナ対策として、施設全体で感染症予防に取り組んだ。
 - ・コロナのクラスターが発生したが、死亡に致らず。この点は良かった。

【今年度の目標と取り組み】

ユマニチュード技法の徹底

- ・丁寧語（です。ます調）が使えるように意識して取り組んだ。
- ・日々の取り組みとしてスタッフ一同笑顔で優しい言葉かけと丁寧な介助を心がけ利用者の健康状態の把握に努めた。
- ・特に利用者への声かけは、後から話しかけないように心がけた。
- ・歩行時は寄り添い、足折れやフラツキ等による転倒に留意した。
- ・車椅子を押す時は、麻痺足がペダルから落ちないように足が巻き込まないように考慮し、ゆっくり押すことを心がけた。

褥瘡ゼロの継続

- ・廃用性の防止、褥瘡予防のため、寝たきりにしないように離床を促した。
- ・特に心肺機能の低下や、低栄養による高度な浮腫や羸瘦が著名な利用者は、褥瘡高リスクにあるためCWへの啓発、指導を行った。
- ・皮膚トラブル発生時は、早期発見と継続したケアができるように、CWと情報の共有に努めた。
- ・食事量低下傾向にある利用者や、体重減少傾向にある利用者へはし好品や栄養補助食品の提供を積極的に行った。

エプロンゼロの継続

- ・食事時、食べこぼしがないように利用者の姿勢、適切な自助具の使用、テーブルの高さ等の調整を行った。
- ・衣類が汚れたら、すぐに更衣をするように心がけた。

利用者に合ったアクティビティサービスの提供

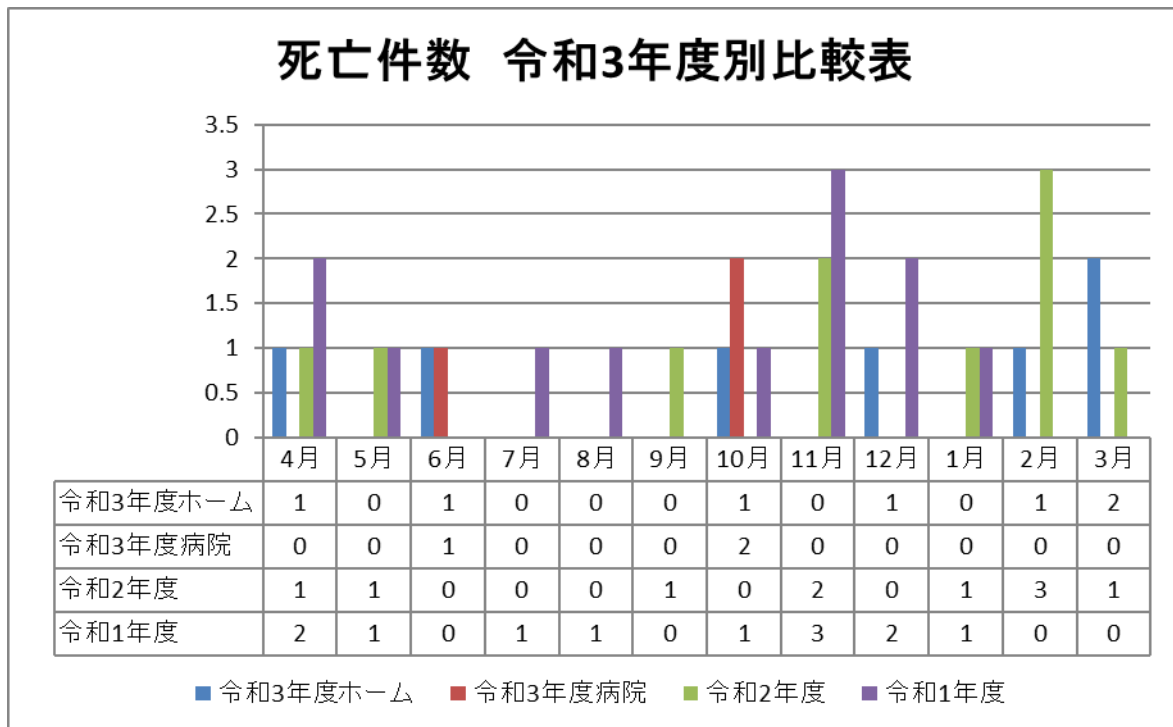
- ・本年度はコロナの影響により外出の制限はかなりあったものの利用者の楽しみや安眠、残存機能を活用して頂くためにCWと協力し、行事への参加、花見、日光浴、館内散歩、リハビリ等を実施した。今後も利用者の笑顔のため、残存機能の維持のために、サービス提供に努める。

令和3年度死亡状況一覧

	月	性別	死亡原因	入院期間	在所期間	死亡場所
1	4	女	老衰	0日	2年1ヶ月	ホーム
2	6	男	老衰	0日	8年3ヶ月	ホーム
3	6	女		3日	1年6ヶ月	田辺脳神経外科病院
4	10	女	老衰	0日	6年6ヶ月	ホーム
5	10	女		1日	2年3ヶ月	PL病院
6	10	女		6日	7ヶ月	市民病院
7	12	女	老衰	0日	4年8ヶ月	ホーム
8	2	女	老衰	0日	9年8ヶ月	ホーム
9	3	女	老衰	0日	2年1ヶ月	ホーム
10	3	女	老衰	0日	3年5ヶ月	ホーム

死亡件数 10件 ホーム 7件 病院 3件

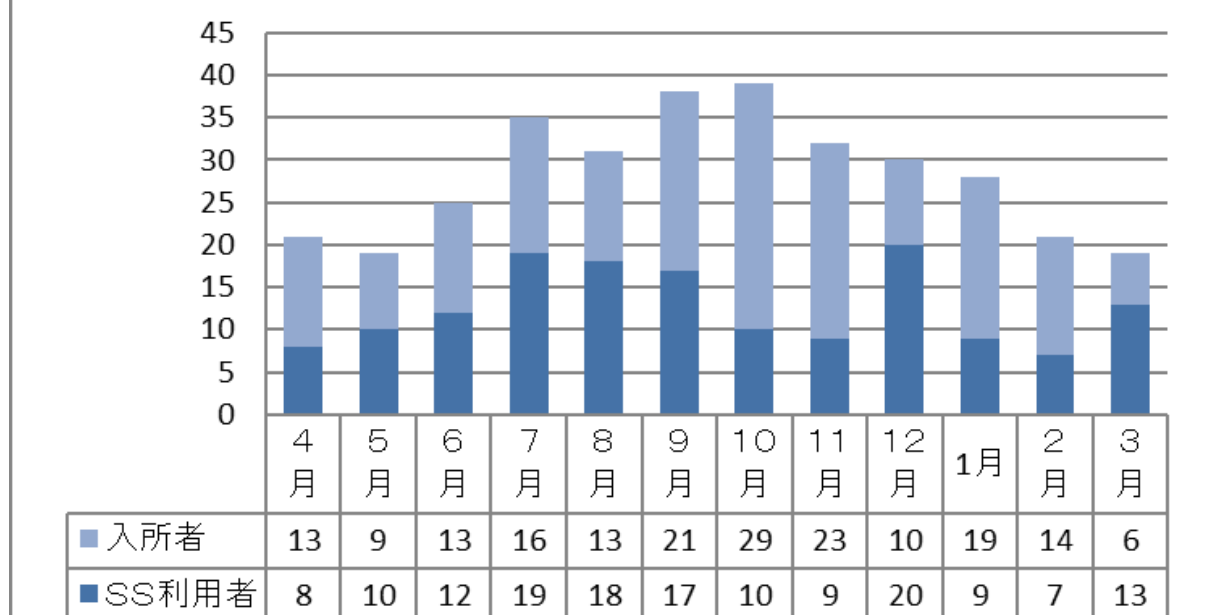
(田辺脳神経外科病院 1件、PL病院 1件、藤井寺市民病院 1件)



令和3年度受診先及び受診件数

受診先	受診件数	受診先	受診件数
八尾徳洲会病院	6 件	真銅耳鼻科	4 件
高村病院	1 件	岩本整形外科	10 件
高野耳鼻科	1 件	にしごり眼科	1 件
大川整形外科	1 件	山田クリニック	3 件
富田林病院	1 件	上杉歯科	40 件
青山病院	22 件	はざま歯科	1 件
藤本病院	9 件	藤本眼科	2 件
はびきの医療センター	5 件	今井眼科	1 件
城山病院	39 件	清水眼科	1 件
藤井寺市民病院	25 件	野田皮膚科	1 件
医真会八尾(総合病院・クリニック)	72 件	青山藤が丘病院	3 件
やまどり病院	5 件	PL病院	2 件
志本医院	1 件	葭矢皮膚科	2 件
松田医院	12 件	うえだ内科	1 件
田辺脳神経外科	18 件	黒川クリニック	1 件
内本内科外科	13 件	集団接種会場	1 件
池田医院	4 件	?歯科	1 件
ときよしクリニック	10 件	本村医院	1 件
ぶどうの家	2 件	柏原市民病院	2 件
ナワタクリニック	4 件	島田病院	1 件
白江医院	2 件	近大医学部付属病院	1 件
森川医院	2 件		
そごうクリニック	2 件		
		合計	337 件

令和3年度入所者および居宅利用者 受診件数



令和3年度入院先及び入院件数

入院先	入院件数	主な疾患	件数
城山病院	8 件	肺炎（疑）含	8 件
医真会八尾	5 件	尿路感染	7 件
はびきの医療センター	2 件	イレウス	0 件
青山病院	6 件	骨折	1 件
藤本病院	3 件	脳梗塞（疑）含	3 件
藤井寺市民病院	10 件	胃腸炎	1 件
田辺脳神経外科	2 件	心不全	1 件
藤ヶ丘病院	2 件	吐血・下血	2 件
高村病院	2 件	コロナ	5 件
青山第2病院	1 件	その他	16 件
育和会記念病院	1 件		
樫本病院	1 件		
阪和記念病院	1 件		
計	44 件	計	44 件

Dr 診察日数及び述べ診察日数

診察科	曜日	延べ日数	延べ診察人数
外科	隔土	28日	163名
内科	月・火・金	132日	4,322名
精神科	木	53日	入所2,948名
			ショート1,148名
訪問歯科	月	43日	治療42名
			回診986名
			口腔ケア1,344名

令和3年度											
診療科	坂戸先生		林先生			西田先生		訪問歯科			
	延べ日数	延べ診察人数	延べ日数	延べ診察人数		延べ日数	延べ診察人数	延べ日数	延べ診察人数		
				入所	SS				治療	回診	口腔ケア
4月	11日	380名	5日	288名	95名	3日	29名	4日	12名	113名	113名
5月	11日	389名	4日	235名	78名	2日	14名	4日	10名	107名	119名
6月	12日	377名	4日	221名	83名	2日	6名	4日	7名	106名	115名
7月	11日	346名	5日	275名	117名	3日	11名	4日	3名	100名	115名
8月	11日	381名	4日	219名	92名	1日	10名	4日	1名	100名	114名
9月	12日	351名	5日	278名	107名	3日	19名	4日	0名	0名	216名
10月	10日	283名	4日	225名	82名	2日	9名	4日	0名	100名	127名
11月	10日	352名	4日	232名	90名	2日	16名	3日	2名	100名	104名
12月	12日	404名	5日	288名	112名	3日	14名	4日	3名	107名	115名
1月	10日	339名	4日	205名	85名	3日	15名	3日	0名	55名	110名
2月	10日	355名	4日	218名	81名	2日	16名	0日	0名	0名	0名
3月	12日	365名	5日	264名	126名	2日	4名	5日	4名	98名	96名
合計	132日	4,322名	53日	2,948名	1,148名	28日	163名	43日	42名	986名	1,344名

令和3年度 機能訓練一覧

月	区分	理学療法			
		回数	実人数	延べ人数	1日平均
4	入所	19	64	258	13.6
	SS	19	8	91	4.8
5	入所	17	60	254	14.9
	SS	17	8	94	5.5
6	入所	18	60	233	12.9
	SS	18	9	94	5.2
7	入所	19	59	186	9.7
	SS	19	10	80	4.2
8	入所	16	59	249	15.5
	SS	16	7	66	4.1
9	入所	20	61	239	11.9
	SS	20	6	26	1.3
10	入所	16	61	241	15
	SS	16	8	56	3.5
11	入所	16	61	260	16.2
	SS	16	9	54	3.3
12	入所	21	60	292	13.9
	SS	21	9	36	1.7
1	入所	16	63	208	13
	SS	16	6	53	3.3
2	入所	16	61	125	7.8
	SS	16	8	23	1.4
3	入所	18	57	172	9.5
	SS	18	9	45	2.5

実施内容…6月から年1回の評価

ROM、立位保持訓練、歩行訓練etc.

令和3年度 給食部実績報告書

取り組み

前年度に引き続き、フードケアの「スベラカーゼミート」(食品酵素)を利用し、食材の見た目はそのまま歯の欠損や義歯であっても舌と歯茎で押しつぶし、咀嚼できる程度の食事であるやわらか食の提供を目標とした。しかし、新人調理員の教育や急な退職等で調理員が流動的であった為、やわらか食の試作をすることが出来なかった。

調理員の急な不足と厨房工事の関係で、宅配弁当に相当するものとして宅配クック1・2・3と契約を行った。

1月には調理員の退職と栄養士の退職があった為、1～3月に宅配クック1・2・3を適宜夕食時に利用することとなった。

療養食対象者は、糖尿病食が4月～12月に6名、1月～3月に4名であった。(表-3)

食事形態について、普通食・一口大食の合計が38.9%、キザミ食・極小食が30.7%と普通食・一口大食の割合の方が大きかった。前年度と比較してみると、普通食・一口大食が38%→38.9%、キザミ食・極小食が27%→30.7%と前者はほぼ変動なく、後者は増加している。ミキサー食においては、17%→14.1%と減少しているが、それに対してゼリー食が4.3%→8.3%と増加しており、ミキサー食からゼリー食への変更が多かったことが分かる。(表-4、図-1)

給与栄養量については前年度とほぼ変化なく(表-5)、エネルギー比率も同様である。(表-6)

食事会については、コロナの影響の為、実施することが出来なかった。

令和4年5月からの厨房改修工事は予定通り行われる予定。

まとめ

酵素を使用した、やわらか食の試作や勉強を次年度には行えるようにしたい。

そのために調理員が定着できるような厨房を作っていく必要がある。前年度に引き続き一部カット野菜の導入や正職員やパート職員共に仕事を続けやすいと思える雰囲気厨房として作っていかなければならない。

宅配弁当回数 表-1

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
1	1	1	1	1	1	1
11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
1	1	1	7	17	34	2.8

食事提供数 表-2

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
入所	朝食	1430	2015	2015	1957	1946	1984	2090
	昼食	1554	2170	2170	2114	2102	2141	2264
	夕食	1540	2170	2170	2113	2102	2142	2263
ショートステイ	朝食	980	1417	1417	1773	2011	2072	2275
	昼食	1008	1463	1463	1820	2061	2115	2326
	夕食	938	1402	1402	1759	1997	2072	2266
デイサービス		356	558	558	517	612	631	619
職員	朝食							
	昼食	1530	1555	1530	1705	1580	1535	1580
	夕食							
一ヶ月合計		9336	12750	12725	13758	14411	14692	15683
一日平均		311	411	424	444	465	490	506

		11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均(月)	平均(日)
入所	朝食	2090	2090	2014	1827	1970	23428	1952	64
	昼食	2264	2264	2155	2016	2188	25402	2117	70
	夕食	2263	2263	2155	2014	2188	25383	2115	70
ショートステイ	朝食	2275	2275	2629	2452	2876	24452	2038	67
	昼食	2326	2326	2590	2468	2931	24897	2075	68
	夕食	2266	2266	2547	2453	2863	24231	2019	66
デイサービス		619	619	580	580	671	6920	577	19
職員	朝食						0	0	0
	昼食	1530	1625				14170	1181	39
	夕食						0	0	0
一ヶ月合計		15633	15728	14670	13810	15687	168883	14074	463
一日平均		521	507	473	476	506	5535	461	

療養食食数 表-3

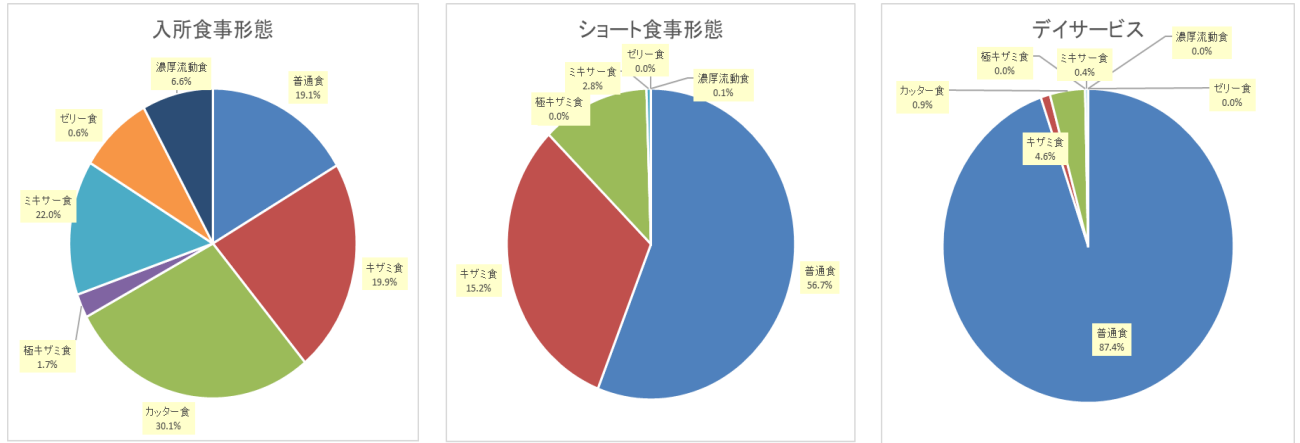
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
糖尿病食	対象者数	6	6	6	6	6	6	36
	利用日数	30	31	30	31	31	30	183
	回数	180	186	180	186	186	180	1098

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
糖尿病食	対象者数	6	6	6	4	4	4	66
	利用日数	31	30	31	31	28	31	365
	回数	186	180	186	124	112	128	2014

食事形態 表-4

	入所	ショート	デイサービス
普通食	16.6	56.0	94.7
一口大食	22.3	31.4	1.0
キザミ食	28.2	12.1	3.9
極小食	2.5	0.0	0.0
ミキサー食	14.1	0.5	0.3
ゼリー食	8.3	0.0	0.0
濃厚流動食	8.0	0.0	0.0

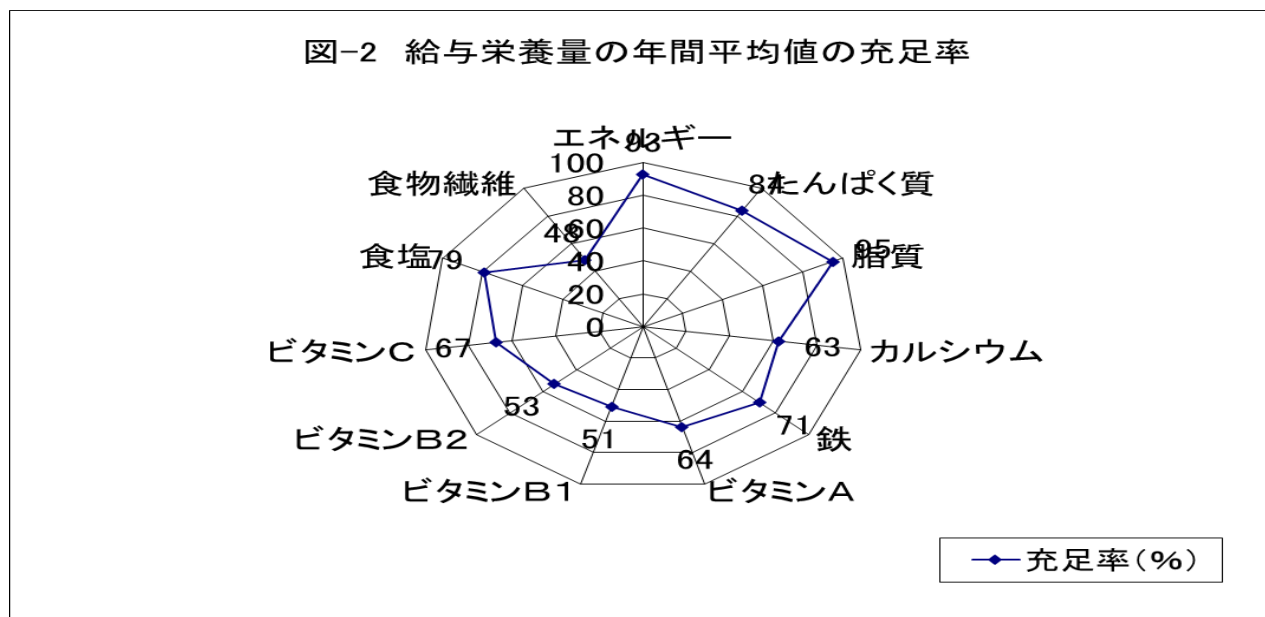
食事形態割合 図-1



給与栄養量 表-5

		目標量	4月	5月	6月	7月	8月	9月
エネルギー	kcal	1500	1425	1383	1383	1420	1418	1366
たんぱく質	g	60	53.0	50.5	50.5	51.0	50.3	50.1
脂質	g	40	40.9	35.7	35.7	39.5	39.7	35.4
カルシウム	mg	615	379	355	355	405	410	365
鉄	mg	6.2	4.6	4.5	4.5	4.4	4.6	4.4
ビタミンA	μg	673	488	437	437	442	458	375
ビタミンB1	mg	1.00	0.57	0.55	0.55	0.06	0.65	0.56
ビタミンB2	mg	1.10	0.69	0.62	0.62	0.09	0.65	0.62
ビタミンC	mg	100	70	66	66	66	64	70
食塩	g	7.7	6.1	6.0	6.0	6.3	6.1	6.6
食物繊維	g	17.3	8.8	8.9	8.9	8.1	8.5	8.3

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	年間充足率(%)
エネルギー	kcal	1446	1446	1446	1428	1299	1225	1390	93
たんぱく質	g	52.7	52.7	52.7	50.2	46.5	43.0	50.3	84
脂質	g	40.3	40.3	40.3	41	34.4	32.9	38.0	95
カルシウム	mg	405	405	405	374	384	373	385	63
鉄	mg	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	3.8	4.4	71
ビタミンA	μg	447	447	447	422	383	360	429	64
ビタミンB1	mg	0.54	0.54	0.54	0.57	0.51	0.45	0.51	51
ビタミンB2	mg	0.64	0.64	0.64	0.61	0.63	0.57	0.59	53
ビタミンC	mg	71	71	71	62	67	64	67	67
食塩	g	6.3	6.3	6.3	6.5	5.8	4.9	6.1	79
食物繊維	g	8.6	8.6	8.6	8.4	7.7	7.1	8.4	48



エネルギー比率 表-6

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
たんぱく質エネルギー比率	14.4	14.6	14.6	14.2	14.2	14.7	(%)
脂質エネルギー比率	22.9	23.3	23.3	23.5	25.2	23.3	
炭水化物エネルギー比率	60.7	62.1	62.1	61.5	60.6	62.0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
たんぱく質エネルギー比率	14.6	14.3	14.5	14.1	14.3	14.0	14.4
脂質エネルギー比率	25.1	25.4	25.2	25.9	23.9	24.2	24.3
炭水化物エネルギー比率	60.3	60.3	60.3	60.0	61.8	61.8	61.1

行事食 表-8

行事		メニュー	
4月	誕生会	昼食	松花堂弁当
		間食	ねりきり
5月	誕生会	昼食	松花堂弁当
		間食	ねりきり
6月	合同誕生会	昼食	松花堂弁当
			ねりきり
7月	七夕	昼食	そうめん
	誕生会	昼食	松花堂弁当
		間食	ねりきり
8月	誕生会	昼食	松花堂弁当
		間食	ねりきり
9月	敬老祝賀会	昼食	お祝い膳
	誕生会	昼食	松花堂弁当
		間食	ねりきり
10月	誕生会	昼食	松花堂弁当
		間食	ねりきり
11月	誕生会	昼食	松花堂弁当
		間食	ねりきり
12月	誕生会	昼食	松花堂弁当
		間食	ねりきり
	冬至	昼食	かぼちゃのそぼろ煮
	クリスマス	昼食	パン、鯛のアクアパッツァ、バジルパスタ
			ポークビーンズ、カリフラワーのスープ、メロン
大晦日	夕食	年越しそば	
1月	新年祝賀会	昼食	お祝い膳
	誕生会	昼食	松花堂弁当
		間食	ねりきり
2月	節分	昼食	恵方巻、いわしの塩焼き、五目豆、すまし、いちご
	誕生会	昼食	松花堂弁当
		間食	ねりきり
3月	ひなまつり	昼食	散らし寿司、鯖の照り焼き、菜の花のお浸し、いちご
		間食	三色花ゼリー
	誕生会	昼食	松花堂弁当
		間食	ねりきり

令和3年度

藤井寺デイサービスセンター実績報告書

●利用者数の確保について

(目標) 年間実績一日平均ご利用者数 30名/日の確保

その為に

新規利用者月3名以上獲得し、登録者数100名を達成させる

(取り組み内容)

・毎月実績を FAX せず直接持っていき、特に他事業所 新規事業所を中心に営業行い、体験利用を増やした

・おやつイベント 行事の宣伝を行い、臨時のお誘いをスタッフ一丸で行った。

・スタッフの得意分野に特化したクラブ活動の開発と実施。

○賀光寮の畑をレンタルし利用者と玉ねぎづくり開始

○毎月 2~3 回おやつ作り

○毎月の体重測定

(結果)

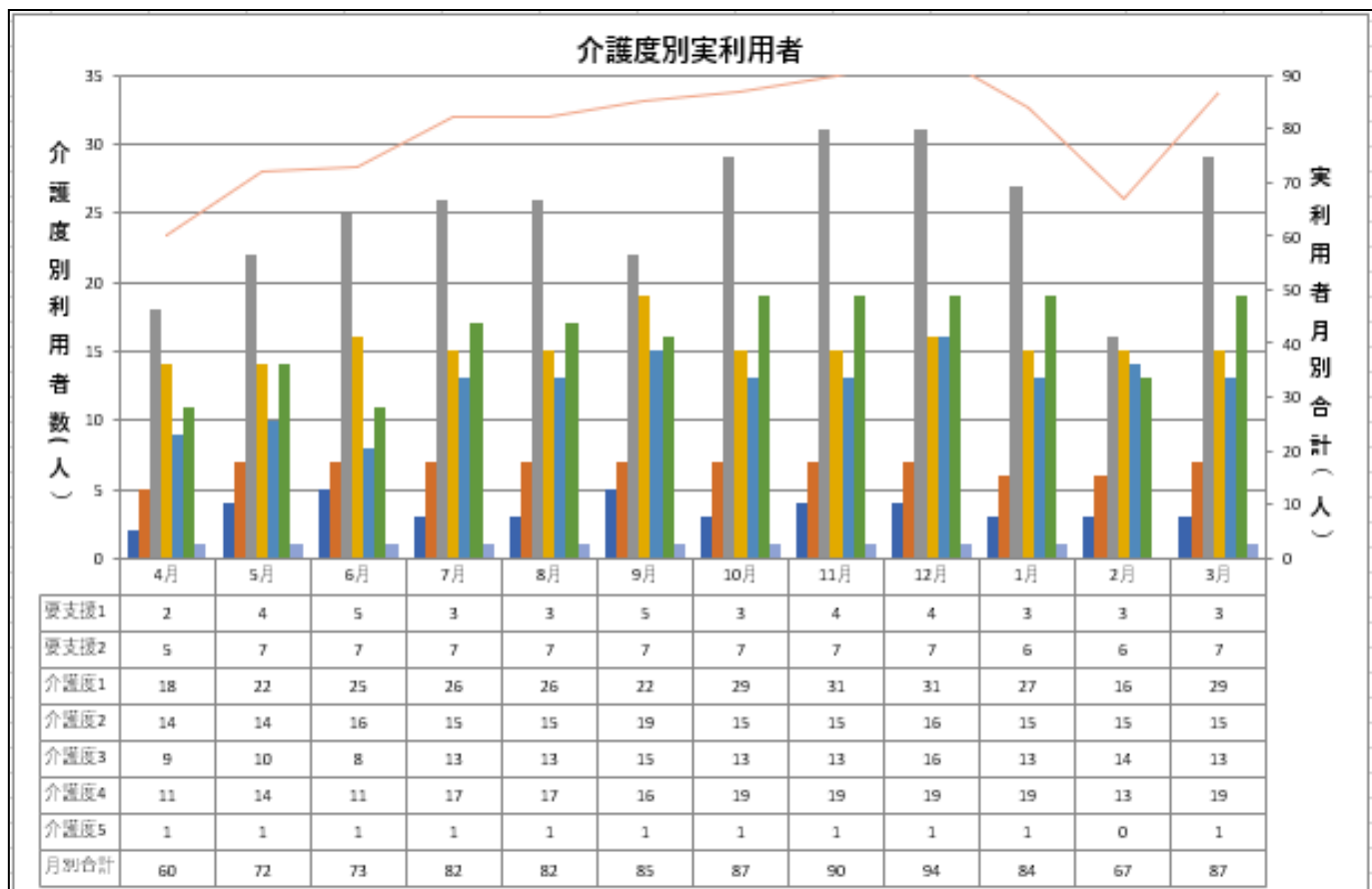
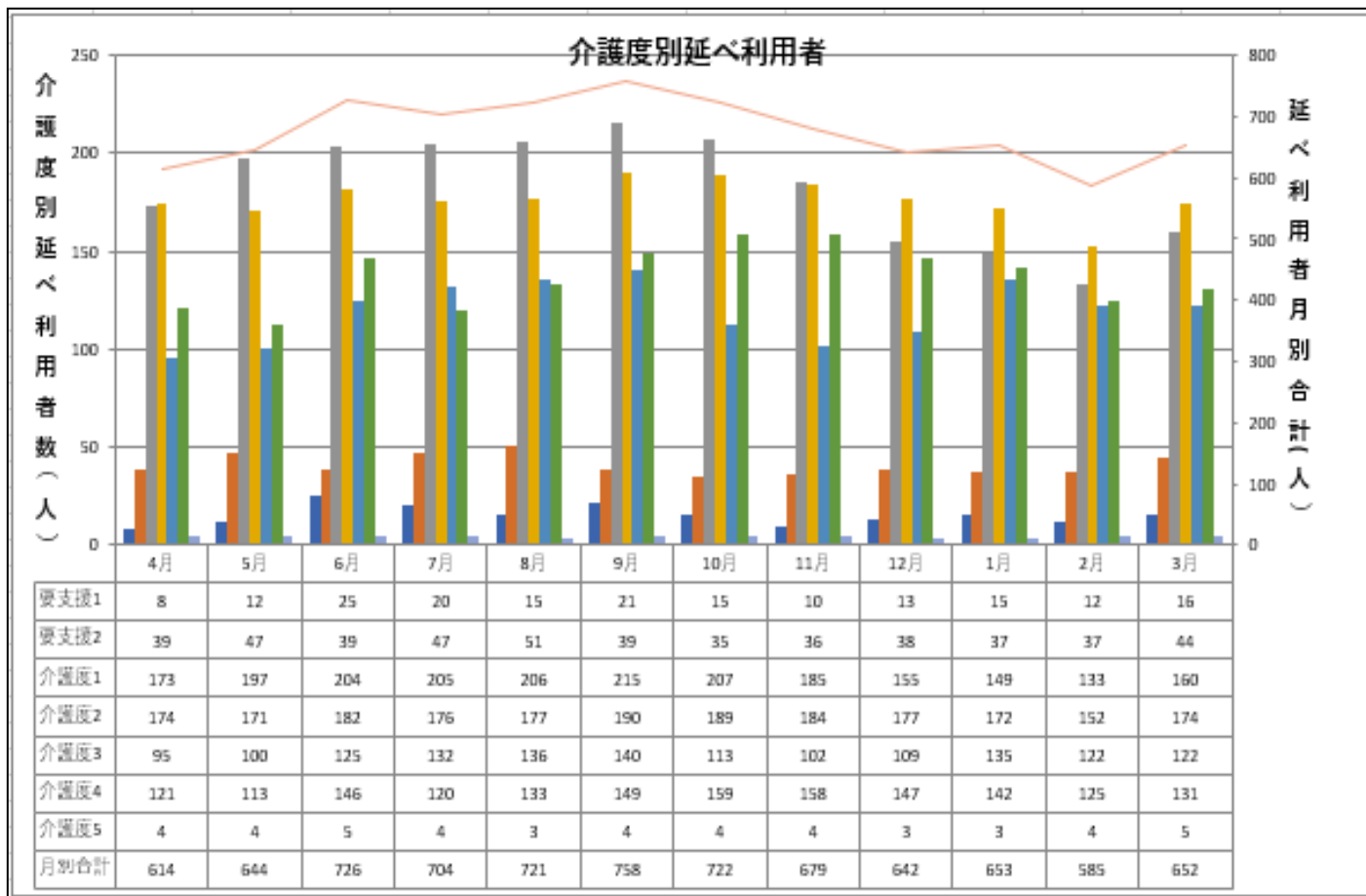
※R3年4/1 → R4年3月末集計

・年間実績 一日平均利用者数 22名/日 → 27名 (実稼働率 63% → 80%)

・年間新規利用者数 15名/年 → 50名 (月平均4名)

・登録利用者数 60名/年 → 92名 (実利用者 53名 → 84名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3.1月	2月	3月	合計
登録者数	61	72	76	78	83	85	87	85	92	87	82	84	972
活動日数	26	26	26	27	26	26	26	26	25	24	24	27	309
利用者定員	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	
延べ利用者数	619	734	728	717	721	759	727	735	737	656	592	675	8400
1日平均利用者数	23.8	25.1	28	26.6	27.7	29.2	28	28.3	29.5	27.3	24.7	25	26.9
実稼働率	70.0%	73.8%	82.4%	81.1%	81.6%	85.9%	82.2%	83.1%	86.2%	80.4%	72.5%	73.5%	79.4%
介護給付請求額	5,331,163	5,313,372	6,498,074	6,123,967	6,236,352	6,207,016	6,102,537	6,526,137	6,135,015	5,824,303	5,060,078	5,505,221	70,863,235
処遇改善加算額	330,726	329,228	485,254	379,491	386,713	385,587	379,002	405,395	459,335	361,240	312,176	330,899	4,545,046
特定処遇改善加算額	67,252	66,917	78,686	73,779	78,611	78,404	77,078	82,430	77,581	73,397	63,462	67,330	884,927
処遇改善加算差引額	5,067,689	5,051,061	5,934,134	5,670,697	5,771,028	5,743,025	5,646,457	6,038,312	5,675,680	5,389,666	4,684,440	5,106,992	65,779,181
前年度(令和2年)	4,312,863	4,363,553	4,656,817	4,311,646	4,456,340	4,328,823	4,941,650	4,619,322	5,025,586	4,932,650	4,966,005	4,966,005	55,881,260
月別新規獲得者数	2名	13名	6名	2名	6名	3名	3名	1名	6名	2名	1名	5名	計50名
うち自法人	1	7	4	0	4	1	1	1	1	0	0	1	21



●利用者サービス向上について

(目的)

ご利用者にとって最善なことは何か、を常に考えサービスの向上を進める。

(取り組み)

- ・ 昨年に引き続き利用者が気持ちよく入浴して頂ける環境作りに変化をもって継続。
- ・ 入浴イベントと新たに足湯も追加した「利用者満足度向上イベント」を毎月実施。
- ・ マンネリ化したレクリエーションを改善するために、スタッフの得意分野に特化したレクリエーションの開発と実施。

(結果)

- ・ 入浴については寒暖差を感じさせないよう室温調整は入浴開始の1時間前から管理。
また、浴室内では換気扇のオン・オフで室温を常に管理し、利用者に不快な思いをさせることなく介助を実施できている。
- ・ 温泉ツアー、変わり湯、足湯イベントも好評で継続実施。追加利用もコンスタントに獲得できた。
- ・ スタッフ個々に考案したレクリエーションを手持ち無沙汰になる時間に実施したり14時レク、15時レクに追加など試行錯誤で継続中。
- ・ 感染症対策でボラ受け入れがなくなったため、新たにおやつレク（目前調理）も月に2～3回実施。

(次年度の目標)

コロナ過における感染予防対策の実施及び、環境整備また、「利用者ファースト」を常に実践し満足度を向上させ、「また来たい」と思えるサービスの提供を行う。

●認知機能の維持について

(目標)

スタンディングデスクを活用した潤脳チャレンジを継続的に実施し、認知機能の維持と共に身体的にも元気になっていただく。また、潤脳チャレンジ活動報告をご本人・ご家族にフィードバックし意欲向上を促す。

(取り組み)

グループを適宜適切に更新していくことで利用者同士のコミュニケーションの向上や、やる気向上を促す。また、活動についてのフィードバックを実施する。

(結果)

利用者様同士でのコミュニケーションが、潤脳以外でも多くなった印象を受けた。
また、学習活動自体を純粋に楽しまれている方が多い印象を受ける。

(次年度の目標)

「継続して取り組むことが認知機能を維持するのに重要なことである」事への理解を深め、楽しみながら認知機能を維持できる“学習活動”が藤井寺デイサービスセンターの重要なコンテンツとして機能していけるよう実施していく

●今年度の事例

(利用者情報)

氏名：I様 年齢：92歳 女性 要介護2 家族構成：息子夫婦と同居（独居）

既往歴：アルツハイマー型認知症・高血圧

認知症日常生活自立度：IIb 日常生活自立度（寝たきり度）：A2

氏名：Y様 年齢：78歳 女性 要介護2 家族構成：息子と同居（息子が夜の仕事の為夜間独居）

既往歴：アルツハイマー型認知症・骨粗しょう症

認知症日常生活自立度：IIb 日常生活自立度（寝たきり度）：A2

(取組前の様子)

利用前より 施設の近くを二人で歩かれて 道に迷い訪ねて来られることや、道で転倒され保護することあり。I様は藤井寺在住ということもあり藤井寺プランとなり、令和元年一時利用するも、拒否のため、しばらくまた二人で出かけていることを見受けられた。Y様は羽曳野在籍ということもありご家族に現状を報告し、羽曳野包括に届け出藤井寺のプランとなり令和2年8月より ヘルパー デイ利用w/2となる。

(取り組み内容)

安全確保 清潔保持 ADL、認知症維持

(結果)

お二人が仲が良いのが功を制し お出かけ気分でデイに通い入浴、リハビリ、学習、VRを利用、デイに通っていない状況でもケアマネ、ヘルパー、デイスタッフからの報告で安全を確保できるようになり大きなアクシデントには至らず、お二人の生活の一部になることができている。

現在は道に迷っても 福祉用具のGPS付きのシューズで存在確認も行えるようになり、利用日以外も安全確保を行えている。

(次年度の目標)

「利用者ファースト」でサービスの質の向上、また利用者の生活の一部になり、一人一人の居場所を提供できるサービスを行い、I様Y様のような事例を増やしていく。

(次年度の目標)

- ・登録者数 100名 年間実績 一日平均ご利用者数 32名/日以上を達成する。
- ・ケアカルテを活用、業務改善 を行っていく
- ・フロアリニューアルに伴い 新たなイベントの企画 営業、新規獲得を行う

令和3年度

藤井寺ヘルパーステーション実績報告

令和3年度（年間実利用者 869名、延べ訪問時間数 8059.5時間、身体・身体生活割合平均 84.4%）

令和2年度（年間実利用者 764名、延べ訪問時間数 8209.5時間、身体・身体生活割合平均 81.1%）

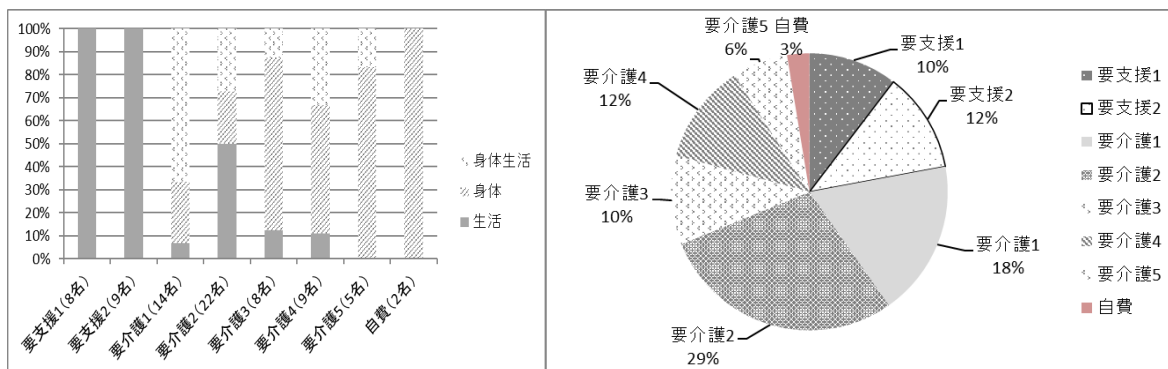
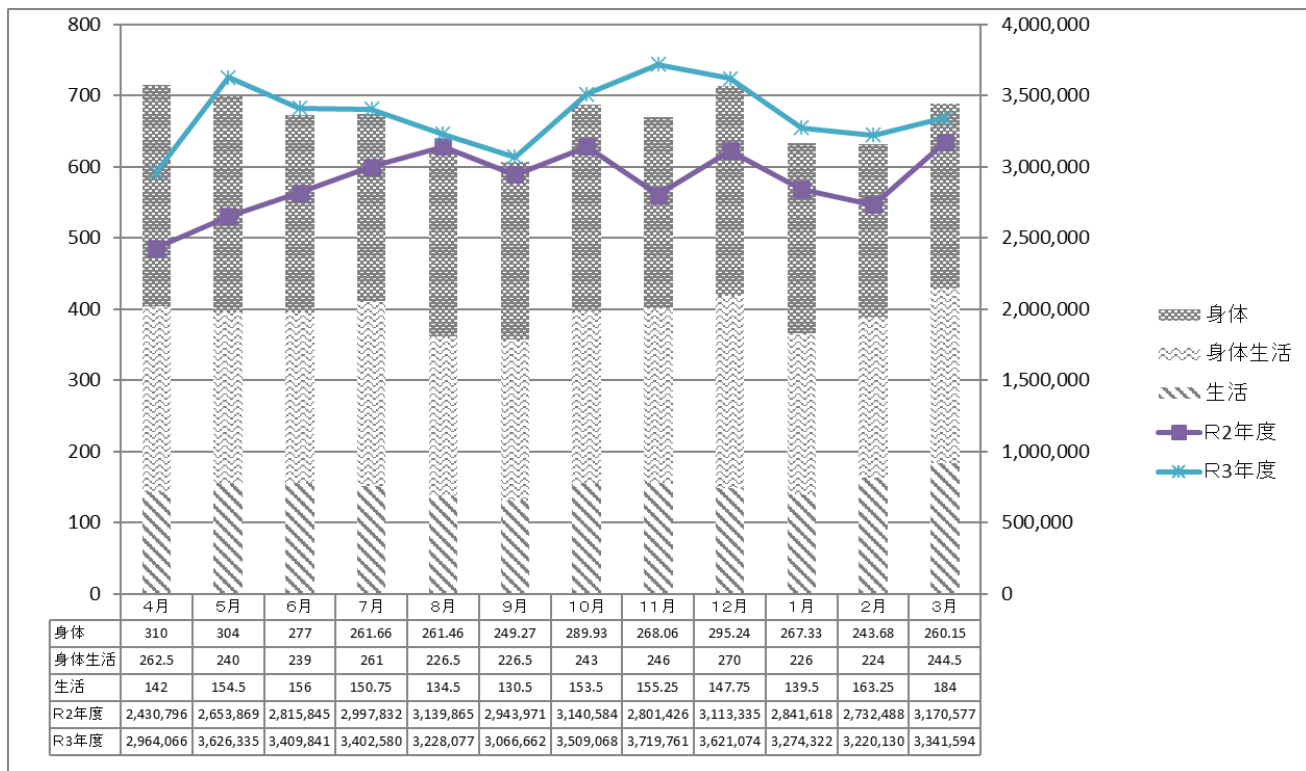
毎日訪問していた3名が8月に終了、営業活動が遅れ総時間数減少したが、特定事業所加算Ⅱ、夜間早朝訪問を積極的に受けた為、身体介護の割合と報酬、新規プランセンター7件増加。

ターミナルの方13名を受け入れ、7名が本人の希望を叶え自宅で永眠できた。

保険外サービスは6名利用、通院付き添いが5名、身体介護・夜が1名。内1名はサービス付き

高齢者向け住宅入所者。訪問回数20回、62,720円の収入。

【介護保険利用者】



【事例紹介】 「 自宅で最期を迎えたい本人の希望が叶えられた事例 」

(基本情報)

Iさん 要介護4 91歳。室内4点杖を使用し数メートル歩くと休憩が必要。物忘れによる勘違いから支援者に強い口調で訴える事もある。

(支援経過)

70歳頃から家政婦を利用、3人の子供は遠方に在住、月に1回は訪問していた。H30年、左上腕骨折後からヘルパー利用開始。房室ブロックによる徐脈、いつ心臓が止まってもおかない状態の為、医師からペースメーカーを勧められるも拒否。延命は望まない、薬も副作用があるからと拒否。家族も本人の意向を尊重し同意。訪問時ケアマネジャー、往診医、訪問看護、家政婦、家族、ヘルパーで情報共有を密に支援行う。本人の生活スタイルには拘りがあったが、少しずつ話し合いを続けながら、毎日訪問し生活リズムが出来ていった。

【考察】

家政婦と関係がうまく作れず、変更しながら利用されていた。ヘルパーも限られた人数で、本人の特徴など話し合いながら支援行った。極力、自分の事は自分でしたいと自立心高く、身体状況に合わせて介助量を変更し対応。

緊急時対応をケアマネジャーや往診医などと共有し、訪問するヘルパーに精神的な負担がかからないよう対応した。

普段通り、テレビを観る椅子に座ったまま眠るように最期を迎えられた。前日18:00ヘルパー訪問時、食事も完食、会話中笑顔も多くありNHKの大河ドラマを楽しみしされていた。自由に外出できない等の制限はあったが、前日まで普段通りの生活が出来た。

苦しまず住み慣れた自宅で最期を希望する方は多いと思うが、医療、福祉などのサービス利用、家族の理解と協力があれば可能だと感じた。コロナの影響もあり、自宅で最期を迎えたいというニーズが増えると思われる為、今後もターミナル期の方への訪問は事前に対応方法を決め、受け入れていきたい。

令和3年度 行事委員会活動報告

【活動内容の振り返り】

今年度も新型コロナウイルス対策として外出自粛や他者との交流を減らすことが求められたため、遠足や1泊旅行、ご家族に参加いただく行事などは全て中止することとなった。そのため、毎月の誕生会、お花見、夕涼み会（手持ち花火）、七夕祭り、敬老祝賀会、クリスマス会、新年祝賀会、初詣、もちつき、節分などをフロア単位や少数グループで実施することで、コロナ禍でも楽しんでいただけるよう工夫をしながら行った。例年と比較し、イベントが少ないため、このような行事の時はご利用者の反応が良く、楽しまれている感想が多く聞かれた。

【次年度へ向けて】

ご家族との交流がline通話や窓越し面会などに限られてしまうため、現状は小規模な形で行事を継続実施し、ご利用者の生活にハリが出るように取組みを行う。職員も普段とは違う出し物にチャレンジしており、ご利用者の反応も良いので引き続き新しい出し物を考案したり、ご利用者といっしょに楽しめるようなものを行っていく。事前に参加職員で打ち合わせをし、イメージができてスムーズに行えた。避難誘導は自分を守りながら、避難することも大切である。

令和3年度 広報委員会活動報告

【今年度の内容】

○みささぎ新聞発行 年3回（7月、11月、1月）

○写真販売 ご家族の来所が制限されており、実施できていない。

○ホームページリニューアル、各部署に写真撮影や文章作成を依頼。

【来年度について】 ご家族の面会などが制限されている状況が続いているため、みささぎ新聞で日頃のご利用者様の様子を発信できるように写真の整理に努めていく。

令和3年度 環境衛生防災委員会活動報告

(活動内容の振り返りと次年度に向けて)

・大掃除について 毎月第三水曜日に、各フロアーでエアコンと加湿器のフィルター掃除、居室内の 普段できない部分の掃除を実施。

エアコンの洗浄については、業者に依頼。 ・防災訓練について 避難訓練を2回実施(内、1回は夜間想定) 事前に参加職員で打ち合わせをし、イメージができてスムーズに行えた。 避難誘導は自分を守りながら、避難することも大切である。

・花壇の手入れ 職員のボランティアにより、花壇の水やりや草引きなどを手入れしている。

・環境委員では、除草剤を使用し、施設周辺の雑草を除去。

【活動の目的】

ご利用者の希望を反映させた給食の提供が出来るようにする。食事だけでなく、嗜好品やおやつ
の改善も積極的に取り組む。

【活動内容】

給食について、個別にご利用者、職員から意見、希望をいただき、取組み改善行う。天ぷらな
どのリクエストが多い中で、その中でも好きな具材が人それぞれなので、月ごとで反映させなが
ら、違いを楽しんでいただくことができた。マグロが食べたいという声があり、チラシ寿司にマ
グロを載せる形での提供を行った。

【まとめ】

令和 3 年度は、感染対策を行いながら調理レクも少しずつ再開することが出来た。コロナ
禍で普段の生活の中でも楽しみが減っているので、食事イベントなどで喜んでいただける時間を
作っていただけるよう、また好きなご飯をおいしく食べていただけるようヒアリングをたくさん
行っていく。今後、調理場の工事に伴い、食事の提供が外部からのお弁当になるが、おいしく食
事を召し上がって頂けるよう、業者との調整や現場の声を業務に反映させていきたい。

藤井寺特別養護老人ホーム

令和3年度 ボランティア委員会活動報告

○新型コロナウイルスの感染拡大により、今年度もボランティア活動は中止とした。

令和3年度 リスクマネジメント委員会活動報告

(目標)

- ・ アクシデント・インシデント対策
情報収集・分析・対策・周知・再発予防

(活動・実施内容)

- ・ 定期的にあクシデントの集計・分析を行い申し送り、フロアー会議等で周知した。
- ・ 腰痛予防対策としてスライディングボード使用の普及。

(結果 反省点)

- ・ 骨折を伴うような大きな事故はなかったが、年間30件の事故があった。内半数が転倒による事故であった。見守り方法や職員同士の声掛け等事故後の対策を徹底した。
- ・ スライディングボードについては活用場面が増え、ご利用者、職員共に安全な状況で使用することができ、お互いの負担が軽減され、効果が表れている。
- ・ コロナ禍で、集まって活動する機会が減少したが、危険予測訓練等個人ワークでもできるよう工夫して来年度に実施できるようにしたい。

(次年度目標)

- ・ ご利用者の事故予防を徹底する。
- ・ 事故の分析、周知を行い事故の件数を減らす。
- ・ 危険予測訓練等個人ワークでも取り組めるように工夫する等して、研修を実施する。

(目標)

- ・安全に吸引を行えるよう吸引に関するスキルを向上させる
- ・医師および看護職員と介護職員の連携

(認定特定行為業務従事者等の人数)

- ・ 名 (令和4年3月末時点)

(介護職員が喀痰吸引等を提供している利用者数)

- ・平均 1名

(活動・実施内容)

- ・喀痰吸引等の実施手順、方法等に関する事、急変時の対応体制、対応方法等に関する事、医師、看護師等との連携体制に関する事等を毎月の委員会で検討。
- ・フォローアップ研修で、看護職員による指導を半年に1回実施。
- ・アクシデントを防ぐ為、指さし確認や声出し、利用者への声かけ等説明しながら作業を確認するよう周知、徹底した。
- ・医師および看護職員と介護職員の連携では、朝・夕の申し送りで見守り職員と情報を共有。医師への報告は、看護職員が行っている。
- ・痰の量、出血の有無等は記録に残し情報を共有した。

(次年度目標)

- ・引き続き吸引に関する技術を向上させる。
- ・ヒヤリハット、アクシデントが生じた時は再発防止策を徹底させる。

令和3年度 実習報告書

今年度も、新型コロナウイルス感染症による影響で、学校側での実習中止や実習延期が相次いだ。また、施設としての感染症対策により、実習生の受け入れを制限せざるを得ず、少人数になった。

今年度は実習から就職へ繋がることはなかったが、実習から就労へ繋がるように、より丁寧に指導していき、就職やアルバイトの声かけを積極的に行う。また、外国人学生の受け入れに関しては、慎重に行う。

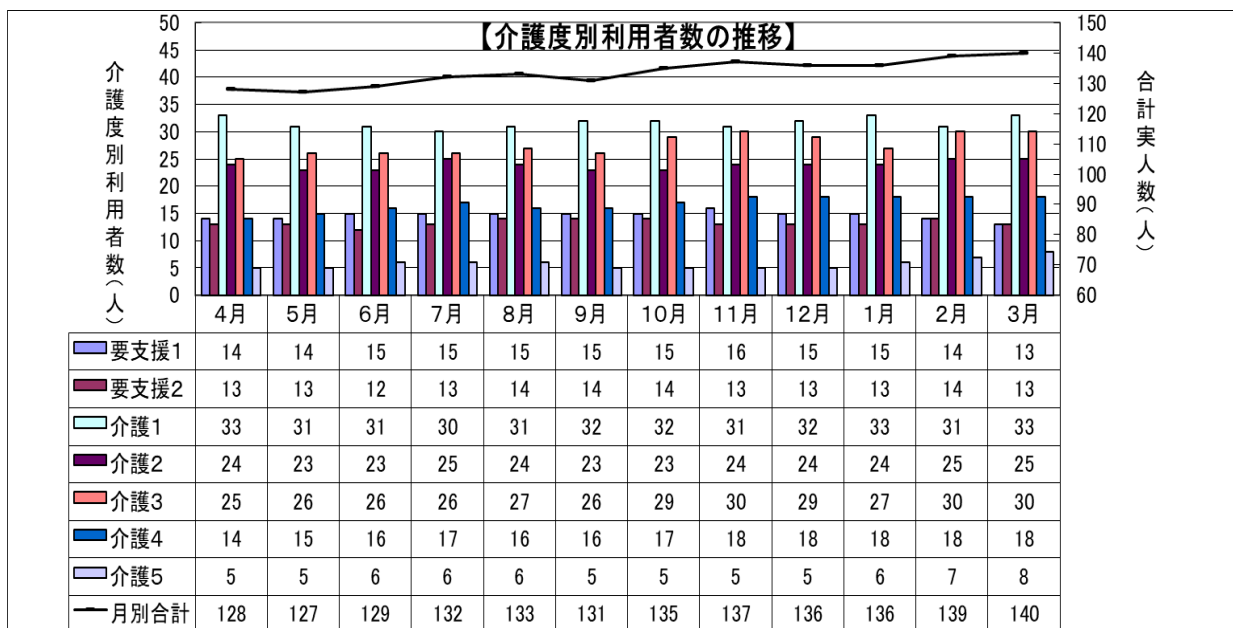
	学 校 名	実人数	延人数
施設・在宅	関西社会福祉専門学校	0	0
	大阪健康福祉短期大学	0	0
	四天王寺大学短期大学部	5	77
	大阪国際福祉専門学校	0	0
	北大阪福祉専門学校	0	0
	大阪人間科学大学	0	0
	日本メディカル福祉専門学校	1	5
	関西福祉科学大学	0	0
	大原学園	0	0
	同志社大学	0	0
	佛教大学	0	0
	大阪府社会福祉協議会(教員免許:介護等体験)	0	0
小計		6	82
1日平均		0.22	
訪問介護	四天王寺大学短期大学部	3	15
	大阪健康福祉短期大学	0	0
	北大阪福祉専門学校	0	0
	大阪国際福祉専門学校	0	0
	大阪人間科学大学	0	0
小計		3	15
1日平均		0.04	
その他	羽衣国際大学(インターンシップ)	0	0
	職業体験(中学生)	0	0
	職場体験(社会人)	0	0
	介護体験(高校3年生)	0	0
	フィールドワーク	0	0
小計		0	0
1日平均		0.00	
総合計		9	97
1日平均		0.27	

和3年度

ケアプランセンターみささぎ実績報告

<令和3年度数値目標に対して>

年間平均実績件数は133件（前年平均129件）。年間の新規の利用者は37件。新規利用者数は前年度より5件増加している。今年度は下半期に実績向上見られ、3月時点で年間目標の140件に到達する事が出来た。



<新規>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5	1	2	2	2	1	5	5	3	5	3	3	37

<抹消>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5	2	1	0	1	3	1	2	2	6	1	2	26

内、5件がどうホール特養に入所

<考察>

新規の依頼は年間37件（前年度32件）。昨年と件数はあまり変わりはないが、抹消者が昨年37件と新規依頼を上回っていたが今年度は26件と少なかった為実績増に繋がっている。新規のうち10件が診療所からプランの依頼あり。医療との連携を深めていくために今後も、市内の診療所と連携強化出来るよう関わりを深めていく。

<業務内容について>

・ケアプランの作成（介護・予防）

新規の依頼に対しては速やかに訪問し、サービスへとつなげた。すでに利用されている方に対しても、毎月のモニタリングを通じ、必要に応じて随時プランの見直しを行った。また毎週の情報共有会議の場を通じて、他のケアマネからの意見も出してもらい、利用者の変化に応じたケアプランが作れるように取り組んでいる。特に状態変化の可能性が高い利用者に関しては、プラン内容に対してサービス提供を行い、どう変化があったのか等も合わせて確認・共有するようにしてより現状に合ったサービスを提供出来ているのか把握するようにしている。

・サービス担当者会議

新規、認定更新、区分変更、サービス内容変更時は都度サービス担当者会議の開催を行った。
今年度も新型コロナウイルス流行に伴い、感染予防の視点で事業所から照会に対応する事も多かった為、各事業所とは電話等で情報を共有する事を意識して行った。

・モニタリング

毎月自宅を訪問し、ケアプランが適切であるか常に見直しているが、今年度も新型コロナウイルス流行に伴い、感染予防の視点にて家族の意向を確認した上で電話にて聞き取りを行う事も多かった。サービスの利用を自粛される方もおられる為、状態に変化が無いか、変化がある時は事業所にも相談をして対応方法を検討する等、訪問・電話とコロナ感染者状況に応じて支援を行っている。

・介護認定調査

調査件数は年間1件。(コロナ流行により、調査の実施を控えている)

・申請代行

要介護認定の有効期間が満了する前に申請手続きが終了出来るよう、都度必要な支援を行っているが、今年度も新型コロナウイルス流行に伴い、対面での調査に不安がある方に関しては臨時的取り扱いでの申請の案内を都度行った。

・記録

運営基準上、必要とされる文言が適切に各書面に(支援経過・アセスメント・モニタリング用紙・ケアプラン・担当者会議録等)記載されているか見直しを行い、記録の取り方についてプランセンター内で定期的に共有を行った。

・在宅会議

毎月一回、施設長と在宅サービス提供者にて会議を実施。

利用者の事例を通じて、サービスの介入方法や関わり方等を検討する事、他部署の事でもアイデアを出しあい、部署の壁なく協力して対策等考える事が出来る環境になっている。

また、実績を維持・向上させる為に数値の目標と現状把握・改善方法の検討を定期的に行う事で、意識付けとなる事が出来ている。

今後も自身の部署にも置き換え、取り組みを行う事でより研鑽出来るようにしていきたい。

事例『脳疾患により麻痺状態になられた若年の方への自立に向けた支援について』

〈氏名〉Y・Nさん 50歳 女性 要介護4

〈利用サービス〉ヘルパーステーションつどうホール(週4回)、藤井寺ヘルパーステーション(週1回)、K訪問看護ステーション(リハビリ)、A通所リハビリ、訪問マッサージ、ガイドヘルパー、福祉用具貸与、退院時に住宅改修実施

〈病歴〉脳梗塞(R2年10月21日 田辺脳神経外科入院、同年11月13日リハビリ目的で青山病院へ転院)

〈ADL〉R2年10月21日、脳梗塞発症し右上下肢に麻痺が残り、高次脳機能障害、感覚機能障害、感情失禁等あり。移動には車いすが必要。感情失禁がかなり強く、精神が不安定で病院転院後リハビリがなかなか進まない状態だった。

〈家族状況〉かなり前に離婚されており、本人と娘3人で暮らしている。子供は皆学生であり、身体的な介護は見込めない。市内に弟がおり、手続き系・受診付き添い等協力あるも、本人母も状態が不安定で弟の支援が必要な為常時の協力は難しい。

〈概要〉R3年1月に本人知人から、脳梗塞によりリハビリ目的で入院しているが、自宅へ帰る時に介護サービスが必要な為ケアマネになって欲しいとプラン依頼を受ける。

R3年1月19日病院にて初回面談。車椅子自走にて移動され、歩行は後方からの介助が必要。車いすへの移乗や排泄は自力で可能。本人、『復職出来るようになりたい』と目標を持っておられる。3月末の退院を目指して病院にてリハビリを継続される事になる。

R3年2月20日家屋評価に病院担当療法士・福祉用具業者と同行訪問。退院時に独歩歩行まで改善出来る見込みが無い為、車椅子を自走し安全に生活出来るよう福祉用具の提案を実施する。

R3年3月24日退院前カンファレンスを病院にて実施。歩行はT杖歩行見守り軽介助レベル、段差昇降も見守りレベルにまで改善。改めて本人と退院後の生活に対する思いを確認すると、『娘達の為にご飯を作ってあげたい』『洗濯も出来るならしたい』と話あり。4月1日に退院が決定し、退院後3か月間は病院で担当していた療法士が訪問リハビリで対応する事が可能との事だった為本人希望で対応して頂く事になる。

R3年4月1日退院されサービス利用開始。ヘルパーは本人が入院中から希望されていた『ごはんが作れるようになりたい』という目標を達成出来るよう家事援助の自立支援で対応。ただ、麻痺側に加え、それをフォローする健側に負荷がかかりしんどさあり。訪問リハビリでは筋力・能力アップの為にリラクゼーションでなくリハビリをしっかりしてもらいたいからと医療保険での訪問マッサージ利用を希望。市役所に併用利用が可能か確認した上で利用出来るよう調整を行う。

退院1か月後、『本人より洗濯物を外に干せるようにしたい』という希望あり。訪問リハビリ利用日に合わせてレンタル業者と訪問し、一緒に方法を検討。リビング窓外に据え置き型手すりと屋外用車椅子・カーポートに物干し台を設置し、訪問リハビリ時に何度か動作評価をして頂く事で一人洗濯物を外に干す・中に取り入れるという一連の動作を行う事が出来るようになった。

病院からの訪問リハビリ終了前に本人・事業所からもリハビリ継続の必要性を確認し、本人の希望を聞きながら事業所を選定。継続して訪問リハビリを利用出来るように調整する。

感情失禁は引き続きみられ、長女・次女が本人の障害受容がなかなか出来ず言い合いになってしまう事も度々あり、その都度精神的不安定さあり涙される事も多くみられた為、各事業所と情

報共有を行い、本人への精神面フォローを依頼する。弟や子供達の協力が無い時の事をかなり不安に思われていた為、介護保険だけでなく障がい福祉サービスで活用できる物については本人に都度説明。ガイドヘルパーを利用し、小学6年生だった3女の運動会・卒業式・中学の入学式と子供の為に学校行事へ参加する事が出来、本人もかなり喜ばれた。

退院時自宅内は車椅子自走し移動されていたが、現在はリビング内・リビング～トイレや風呂場まで等伝い歩きで移動が可能になっておられる。また、ヘルパーの支援に関しても、自身で揚げ物をするのをヘルパーが見守り・一部介助する等と徐々に変化がみられ、先日は本人より「ヘルパーさんに人参とか固い物は前日に切ってもらったけど、退院して初めてタケノコを一人で切って母と娘の為に炊き込みご飯を一人炊いてあげる事が出来て本当に嬉しかった」と涙ながらに話された事あり。

ただ、前回病院受診時に医師から『これ以上の機能回復が見込めないかもしれない』と言われた事で精神的な落ち込みもあり今後も本人の思いを受容しながら、本人が出来るようになりたい事を拾い上げ各事業所と共有しながら方法を検討し、達成出来るよう支援を継続していく。

〈考察〉50歳と若くして障害を抱え、子供も皆学生で今後の不安もある中、介入当初は焦る気持ちが強く、『復職出来るようになる』と目標をかなり高く持たれていた。感情失禁も強い為、本人の思いを潰さないよう気を付けながら、事業所と情報共有を繰り返し、達成出来る目標設定を本人と一緒に立て、達成した時の喜びを繰り返し感じる事で日々の不安を少しでも解消出来るように支援を継続している。今後、ゆくゆくは本人が介入当初に掲げられた『復職出来るようになる』という目標に少しでも近づけるよう障がい者就労支援の情報収集も行い支援をしていきたい。

《令和3年度の目標》

1、利用者の主訴を実現する。

利用者の主訴を把握する為、居室担当者を中心に家族様やご本人様に積極的に希望の聞き取りを行った。言葉で表現が困難な方に対しては表情変化の観察や生活歴から主訴の汲み取りを行った。主訴を実現した事例をいくつか紹介する。

【事例紹介】

●事例1-① M・Y様（要介護4・障害自立度B1・認知症自立度Ⅲa）

（本人の様子）

毎日の日課を『スケジュール』『ゲーム』と言われ、時間毎に鉛筆やペンで丸付けをしながら、ゲーム感覚で楽しまれている。認知症による混乱はあるが、スタッフの顔と名前も複数記憶しており、日中はトイレ介助で立位も安定している。次男様が病気で他界されたが、家族様の希望で本氏には伝えておらず、いつも次男様の近況を気に掛けておられる。余暇時間は塗り絵やスケジュールを見ておられる。

（主訴の内容）

『お祝いに、おはぎときつね寿司が食べたい！』

（実施の様子）

本氏の担当職員を中心に、百寿を迎える本氏の誕生日会を企画する。毎日使う色鉛筆に、『祝百寿』を印字した物を発注し、誕生日会の飾りつけや横断幕も手作りで作成。家族様はコロナ禍で誕生日会に参加できないが、誕生日前に洋服のプレゼントをお預かりし、市からのプリザーブドフラワーと首相からの表彰状と銀杯もお届けいただく。また、お祝い膳も栄養士が本氏の希望である、『おはぎときつね寿司が食べたい！』を叶えるため、安全な大きさと固さも調整して準備。当日は本氏もお祝い膳とプレゼントを大変喜ばれ、終了後は家族様からのプレゼントの洋服も着用して頂き、誕生日会の写真とともに本氏が手書きで書いたお手紙も添えて、家族様に郵送した。

（振り返り）

百寿のお祝いは、今までも出来る限り利用者の希望を叶えられるよう準備していたが、今回は介護士と栄養士も連携し、コロナ禍で会えない家族様の力添えも借りながら、本氏の思いを尊重した誕生日会が行えた。百寿で自分の意思を伝えられる方も少ないが、生活歴も含めてその方の人柄が見えるような企画・プレゼントの準備が出来るようにしていきたい。

2、積極的なターミナルケアの実施

つどうホールでは、今年度5名のターミナルケアを実施している。全員がホームで看取りをさせて頂いた。家族様や医療機関との連携など、看取りを実施するまでの過程について報告する。

●事例2—① N・Y様（要介護4・障害自立度B1・認知症自立度Ⅲb）

（本人の様子）

食事は自力摂取が可能だが、嚥下状態の著しい低下により、食事摂取量が減少し、家族様と相談のもと、ターミナルケアへ移行となる。もともと食べるのがお好きで、『本当に美味しい物を少しずつ』を習慣に在宅の頃も楽しまれていた。

（主訴の内容）

『Sちゃん（長女様）に会いたい！』

（実施の様子）

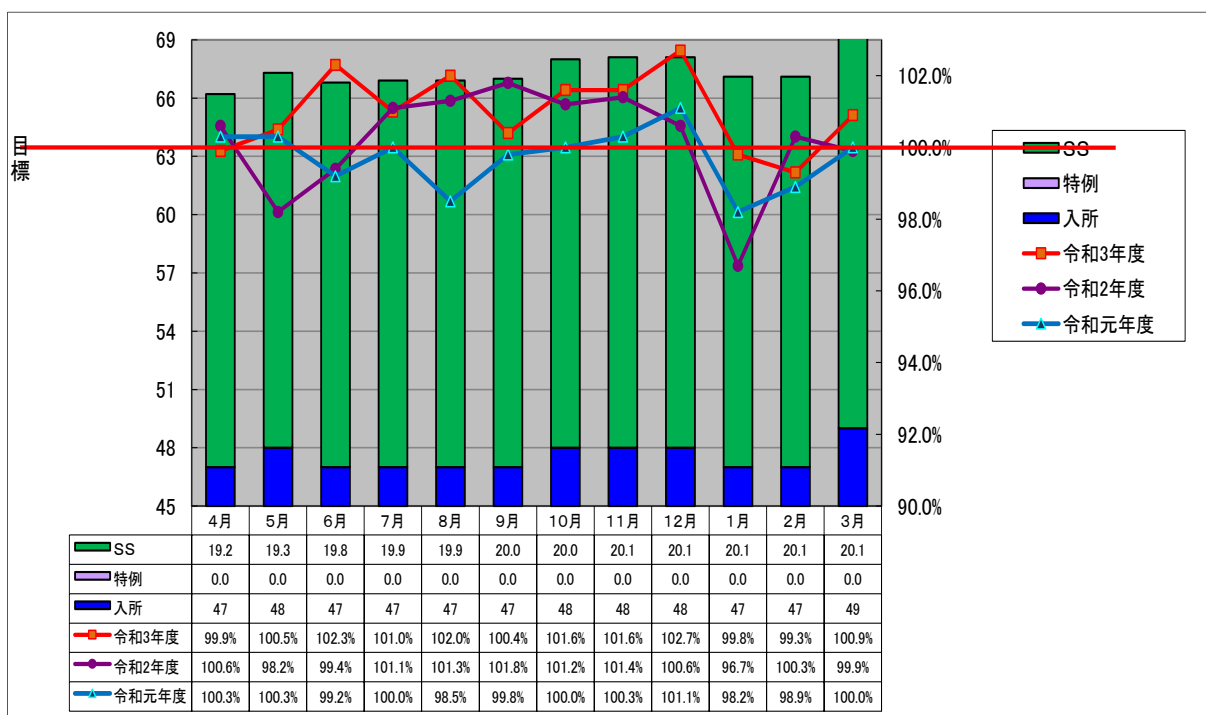
長女様は四国在住だったが、月に一度は来阪され、本氏の自宅整備や施設での面会も対応して下さっていた。長女様も本氏の事をとても大切にされており、体調変化がないか定期的に電話も下さっており、居室担当のスタッフも長女様と密に連絡を取り合っていた。食事摂取量が減少し、反応も鈍くなってきたため、遠方でご負担をかけることも承知で、ご存命の間に来阪できるか連絡をすると、長女様夫妻でその日のうちに来阪して下さい、少しの間だったが、本氏と過ごして頂くことができた。長女様が来られて数時間後に永眠される。

（振り返り）

長女様はスタッフに対して感謝を伝えて下さり、なかでも誕生日祝いで、本氏が好きなワインを準備し、楽しんで頂いた事を今でもよく覚えて下さった。スタッフにとっても、思い出深いターミナルケアとなり、今後も家族様との連絡を密に行い、心もこもったケアができるようにスタッフ間で協力していきたい。

○年間実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
入所実人数	47	48	47	47	47	47	48	48	48	47	47	49	570
新規入所者数	2	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	2	9
退所者数	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	0	6
延べ入所者数	1416	1468	1417	1457	1471	1399	1464	1413	1488	1437	1282	1460	17172
障害ss延べ人数	17	17	12	21	23	17	16	16	14	16	16	17	202
緊急一時利用者延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延べショート	576	602	627	620	625	602	630	614	632	619	564	618	7329
入所1日平均	47.2	47.4	47.2	47.0	47.5	46.6	47.2	47.1	48.0	46.4	45.8	47.1	47.0
特養1日平均	66.9	67.3	68.5	67.7	68.3	67.3	68.1	68.1	68.8	66.8	66.5	67.6	67.7
稼働率(定員50名)	94.4%	94.7%	94.5%	94.0%	94.9%	93.3%	94.5%	94.2%	96.0%	92.7%	92.0%	94.2%	94.1%
稼働率(定員67名)	99.9%	100.5%	102.3%	101.0%	102.0%	100.4%	101.6%	101.6%	102.7%	99.8%	99.3%	100.9%	101.0%



年間稼働率は101.0%で年間目標は達成。コロナ禍でショート利用自粛や面談がスムーズに実施できない難しさはあったが、緊急ショートや定期ショートからの臨時利用で空床稼働を行い、稼働率が維持できた。年間の入院者数が少なく、退所者も6名のうち5名はターミナルケアでの看取りであった。

日頃より感染予防対策を実施し、細やかな体調面の観察と、必要時は早目の受診対応により、体調維持に繋がったと考えられる。入所実人数は年間で50名満床を確保できず、次期入所者の準備不足が反省である。入所者の状態が安定している時期にこそ、今後の準備を進めるタイミングであることを認識し、面談予定をプランセンターと連携しながら準備を行う。

項目	男性	女性	合計	備考
年齢	65歳未満	0	0	最高齢 104歳
	65～69歳	1	0	男性 87歳
	70～79歳	2	4	女性 104歳
	80～84歳	2	8	最若齢 66歳
	85～89歳	5	8	男性 66歳
	90～94歳	1	13	女性 71歳
	95～99歳	0	3	平均年齢 86.8歳
	100歳以上	0	2	男性 82歳
合計	11	38	49	女性 88歳
要介護度	要介護 1	0	0	平均介護度 4.0
	要介護 2	1	0	
	要介護 3	3	7	
	要介護 4	5	20	男性 3.7
	要介護 5	2	11	女性 4.1
	合計	11	38	49
在所期間	1年未満	3	6	平均在所期間 3.9年
	1年以上3年未満	5	12	
	3年以上5年未満	0	11	
	5年以上10年未満	1	6	男性 3.5年
	10年以上15年未満	2	1	女性 4.1年
	15年以上	0	2	
	合計	11	38	49

ADL状況

	視力			聴力		言語		食事		移動方法		移乗		入浴		着脱		排泄					認知症																				
	普通	弱視	全盲	普通	やや難聴	難聴	普通	軽度障害	重度障害	自立	要介護	全介護	補助具使用	車イス使用	要介護	全介護	自立	要介護	全介護	昼間			夜間			トイレ誘導	重度	中度	軽度														
																				トイレ		ポータブル		トイレ						ポータブル													
																				自立	要介護	自立	要介護	自立	要介護					自立	要介護												
2階	10	5	0	9	4	2	2	1	8	3	4	0	0	4	11	3	6	6	0	3	12	2	7	6	2	7	6																
3階	16	1	0	13	3	1	12	5	0	14	2	1	2	1	5	9	5	7	5	3	5	9	4	10	3	5	5	1	0	1	0	5	4	2	0	2	1	0	8	5	0	8	9
4階	11	6	0	8	9	0	13	1	3	12	2	3	3	1	14	1	1	8	8	1	6	10	3	6	8	3	6	1	0	0	1	7	3	2	0	1	0	0	11	1	7	7	3
合計	37	12	0	30	16	3	37	8	4	34	7	8	5	2	23	21	9	21	19	4	14	31	9	23	17	10	18	3	0	1	1	17	9	5	0	3	2	0	30	6	9	22	18
(男性)	9	2	0	8	3	0	6	4	0	8	0	0	3	1	5	3	5	2	3	4	4	3	7	1	4	3	0	0	1	0	3	4	1	0	1	0	0	4	2	0	5	6	
(女性)	28	10	0	22	13	3	31	4	4	26	7	8	2	1	22	16	6	16	17	1	10	27	6	16	16	6	15	0	0	0	1	14	5	4	0	2	2	0	26	4	9	17	12

退所者状況

帰宅	他施設入所	病院に入院	死亡	その他	合計
0	0	1	5	0	0

入浴状況

	対象者数	開設回数	一日あたりの人数	一人あたりの回数(週)
一般浴	5	0	1.6	2
チェア浴	19	18	8.7	
特浴	0	0	0.0	
リフト浴	24	27	8.4	

理容状況

実施回数	延べ利用者数	月平均利用者数
23	257	11.2

面会・外出状況

		24回以上	23～12回	11～6回	5～3回	2回	1回	なし	一人平均	延べ回数
面会状況		0	8	11	7	2	4	15	4.9	244
外泊状況		0	0	0	0	0	0	0	0	0
外出	家族	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ホーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0

見学者状況

見学	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		1	1	0	0	3	0	3	1	0	0	0	0

レクリエーション・クラブ活動状況

	川柳	カラオケ	スポーツ	手芸	おやつ作り	フラワーアレンジメント	書道	外気浴・散歩	創作	その他	ワーク	計
開催状況	月1回	/	/	月1回	月1回	月1回	月1回	/	/	/	/	/
延べ活動回数	0	11	88	0	6	12	12	167	72	188	657	1213
延べ参加人数	0	64	644	0	97	171	168	523	192	1377	2294	5530
平均参加人数	0.0	5.8	7.3	0.0	16.2	14.3	14.0	3.1	2.7	7.3	3.5	4.6

ボランティア活動状況

	手芸	理美容	フラワーアレンジ
実人数	0	3	0
活動日数	0	23	0
延べ人数	0	257	0

地域交流

コロナウイルス感染予防対策のため、地域交流は中止。

年間行事

4月	1～8日	ベランダ花見	7日	書道	14日	フラワーアレンジ
	21日	大掃除	23日	美容	24日	胸部レントゲン撮影
	27日	理美容				
5月	3～5日	菖蒲湯	5日	書道	11日	ドリフ鑑賞会
	12日	大掃除	19日	フラワーアレンジ	23日	時代劇鑑賞会
	25日	理美容	26日	避難訓練	28日	美容
6月	5日	書道	9日	フラワーアレンジ	16日	大掃除
	22日	2階食事会 (お好み焼き)	24日	3階食事会 (お好み焼き)	25日	4階食事会 (お好み焼き)
	25日	美容	29日	理美容		
7月	7日	七夕まつり	10日	書道	11日	3階歌謡祭
	14日	フラワーアレンジ	21日	大掃除	21日	2階食事会(揚げたて 天ぷら・ざるうどん)
	22日	3階食事会(揚げたて天 ぷら・ざるうどん)	23日	4階食事会(揚げたて天 ぷら・ざるうどん)	23日	美容
	27日	理美容	28日	避難訓練		
8月	4日	フラワーアレンジ	7日	書道	11日	2階夏祭り(うな井・さ るそば・屋台)
	18日	大掃除	21日	3階夏祭り(うな井・さ るそば・屋台)	25日	4階夏祭り(うな井・さ るそば・屋台)
	27日	美容				
9月	4日	フラワーアレンジ	8日	不在者投票	11日	書道
	12日	3階歌謡ショー	15日	敬老祝賀会	16日	2階おやつ作り (フォー)
	17日	美容	18日	3階おやつ作り (フォー)	22日	大掃除
	22日	4階おやつ作り (フォー)	27日	2階食事会 (オムライス)	28日	4階食事会 (オムライス)
	28日	理美容①	29日	4階食事会 (オムライス)	29日	理美容②
10月	13日	フラワーアレンジ	16日	書道	20日	大掃除
	22日	美容	25日	2階食事会 (ピザ・たこ焼き)	26日	3階食事会 (ピザ・たこ焼き)
	26日	理美容	27日	4階食事会 (ピザ・たこ焼き)	27日	不在者投票
11月	3日	インフルエンザ 予防接種	10日	フラワーアレンジ	12日	秋の風船バレー大会 (2階)
	13日	書道	14日	秋の風船バレー大会 (3階)	15日	M様 百寿誕生会
	17日	大掃除	20日	秋の風船バレー大会 (4階)	24日	避難訓練
	26日	美容	30日	理美容		
12月	1日	書道	8日	フラワーアレンジ	11日	4階忘年会
	11日	イルミネーション鑑賞 (2階)	12日	イルミネーション鑑賞 (3階)	14日	イルミネーション鑑賞 (4階)
	15日	大掃除	15日	3階忘年会	20～22日	ゆず湯
	22日	2階忘年会	23日	クリスマスランチ	24日	美容
	28日	理美容	30日	餅つき エアー餅つき	31日	年越しそば
1月	1日	新年祝賀会	1～3日	初詣動画鑑賞 館内初詣	4日	初風呂
	5日	書き初め	12日	大掃除	12日	フラワーアレンジ
	20日	4階食事会 (うな井・にゅうめん)	25日	理美容	25日	2階食事会 (うな井・にゅうめん)
	26日	劇団KOZAWA	27日	避難訓練	28日	美容
	29日	3階食事会 (うな井・にゅうめん)				
2月	2日	書道	3日	節分(鬼退治)	9日	フラワーアレンジ
	10日	バナナスムージー作 り(2階)	13日	バナナスムージー作 り(3階)	16日	大掃除
	20日	バナナスムージー作 り(4階)	22日	理美容	24日	2階食事会 (ちゃんこ鍋)
	25日	美容	25日	3階食事会 (ちゃんこ鍋)	26日	4階食事会 (ちゃんこ鍋)
3月	2日	書道	3日	ひなまつり	9日	フラワーアレンジ
	12～19日	作品展示会	16日	大掃除	22日	2階目前調理 (だし巻き卵)
	24日	3階目前調理 (だし巻き卵)	25日	4階目前調理 (だし巻き卵)	25日	美容
	29日	理美容				

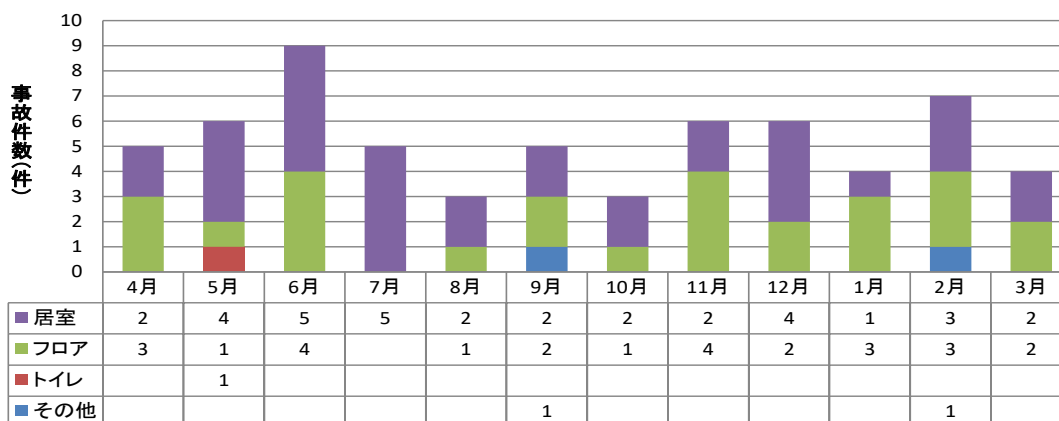
※避難訓練

… 月1回

令和3年度 特別養護老人ホーム つどうホール 生活支援部 アクシデント状況

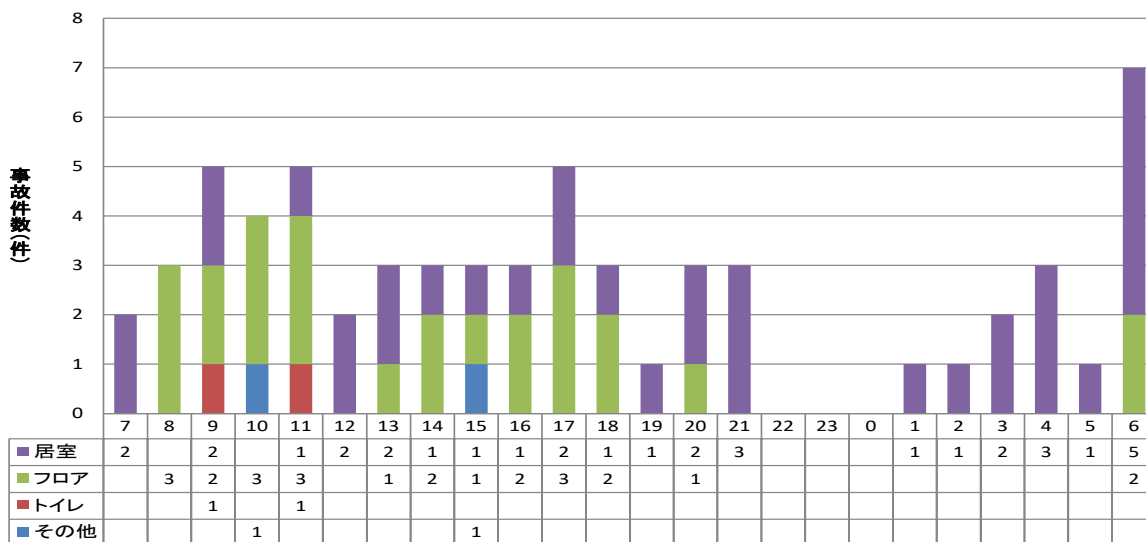
	氏名	フロア	日時	場所	状況	症状
1	K・S 様	4F	4月4日 4:30	居室	ベッド脇に尻もちをつかれる	外傷、痛みなし
2	I・T 様	2F	4月5日 6:50	フロア	支持物なしで歩かれ、尻もちをつかれる	外傷、痛みなし
3	N・H 様	2F	4月17日 8:05	フロア	他利用者様の薬を同時に持ち、利用者を間違え誤薬する	状態の変化なし
4	O・Y 様	3F	4月18日 21:30	居室	扉前で転倒	左腰部痛あり
5	H・H 様	2F	4月20日 6:55	フロア	左側臥位で転倒	顔に裂傷、出血。(田辺脳神経外科)3針縫合、CT異常なし。
6	H・R 様	3F	5月4日 5:00	居室	ベッド横で転倒	外傷、痛みなし
7	H・R 様	3F	5月11日 18:55	居室	ベッド横で転倒	外傷、痛みなし
8	T・E 様	2F	5月21日 9:15	トイレ	トイレでポリマーで滑り転倒	外傷なし
9	T・T 様	3F	5月26日 4:17	居室	トイレに行こうと伝い歩きし転倒	外傷・痛みなし
10	K・J 様	3F	5月29日 11:30	フロア	車椅子より立ち上がり転倒	外傷・痛みなし
11	K・S 様	4F	5月31日 5:00	居室	ベッド前ポータとPアームの間に座りこみ	外傷・痛みなし
12	N・K 様	3F	6月1日 12:50	居室	一人でベッドへ移乗しよとして尻もちをつかれる	外傷・痛みなし
13	N・Y 様	3F	6月1日 17:50	フロア	誤薬(配薬者⇒食事介助者に2名の薬を渡す)	状態変化なし
14	K・J 様	3F	6月2日 10:00	フロア	食事席から立ちあがり後方へ転倒	外傷なし・後頭部に痛みあり
15	M・C 様	3F	6月8日 6:20	居室	ベッドからタンスまでの間を歩き滑り転倒	後頭部2センチ程の裂傷。訪看・Dr診察 様子観察指示
16	H・R 様	3F	6月12日 6:30	居室	一人でトイレに行き移乗失敗され車椅子よりずり落ち	外傷・痛みなし
17	T・E 様	3F	6月13日 9:20	フロア	ソファへ座り損ねる	外傷・痛みなし
18	Y・A 様	3F	6月15日 8:14	フロア	食前薬服用忘れ	薬局に連絡、食後薬と一緒に服用指示あり服用
19	J・M 様	3F	6月18日 3:10	居室	ポリマー異食	体調変化なし
20	M・S 様	4F	6月27日 12:20	居室	尻もち	外傷・痛みなし
21	J・M 様	3F	7月4日 21:50	居室	ベッドからずり落ち	外傷・痛みなし
22	I・S 様	3F	7月5日 19:21	居室	ベッド横で座り込み	両膝赤み・痛みなし
23	H・R 様	3F	7月13日 11:40	居室	トイレ内で転倒	外傷・痛みなし
24	Y・M 様	3F	7月14日 17:35	居室	一人で歩いて移動され転倒	外傷なし。臀部に痛み訴え
25	F・T 様	4F	7月22日 2:00	居室	一人で歩いて移動され転倒	左顔より出血7針縫合
26	Y・I 様	4F	8月9日 17:00	フロア	一人で歩いて移動され転倒	外傷なし
27	O・M 様	4F	8月13日 20:20	居室	車椅子よりずり落ちた	外傷なし
28	N・K 様	3F	8月16日 6:40	居室	ベットからずり落ち	外傷なし
29	T・T 様	3F	9月19日 16:30	フロア	転倒	右股関節種骨骨折で入院
30	K・T 様	3F	9月21日 10:30	医務室	転倒	膝の痛みあり、外傷なし
31	K・S 様	4F	9月21日 20:30	居室	転倒	外傷なし 腰痛あり
32	H・H 様	2F	9月25日 8:20	居室	尻もち	外傷なし
33	N・T 様	4F	9月26日 14:30	フロア	転倒	外傷なし
34	Y・M 様	3F	10月21日17:00	居室	尻もち	背中右に1センチの線状の擦過傷
35	M・S 様	4F	10月25日 1:50	居室	転倒(自己報告)	腰痛あり 外傷なし
36	M・S 様	4F	10月27日 13:15	フロア	転倒	外傷なし
37	A・F 様	4F	11月4日 17:00	フロア	車椅子からのずり落ち	外傷なし
38	T・S 様	4F	11月6日 9:50	居室	車椅子から転落	右目上 切傷
39	J・M 様	2F	11月27日14:14	フロア	転倒	外傷なし
40	N・T 様	4F	11月16日9:40	フロア	転倒	左後頭部 赤み
41	O・M 様	4F	11月4日21:35	居室	車いすからのずり落ち	外傷なし
42	I・H 様	3F	12月1日16:15	居室	ベッドからずり落ち	外傷なし
43	Y・M 様	3F	12月2日11:40	居室	車椅子からずり落ち	外傷なし
44	M・K 様	2F	12月2日03:55	居室	ベッドから転落	外傷なし
45	N・M 様	4F	12月27日15:00	2Fフロア	車イスからずり落ち	左前腕剥離、左肘内側皮下出血
46	T・T 様	3F	12月28日08:50	フロア	転倒	後頭部打撲
47	I・T 様	2F	01月01日07:15	居室	座り込み	外傷なし
48	I・T 様	4F	11月29日16時30分	フロア	車椅子からずり落ち	外傷なし
49	H・M 様	3F	01月20日20:10	フロア	車椅子から転落	顔に裂傷、右手背、右手首内出血
50	Y・M 様	3F	12月8日13:30	居室	車椅子よりずり落ちた	外傷なし
51	W・T 様	3F	1月7日11:30	フロア	椅子より立ち上がり尻もち	左後頭部擦り傷 病院受診CT検査異常なし
52	K・S 様	4F	1月25日11:40	フロア	手押し車で移動、転倒	左膝腫脹熱感あり病院受診、膝血内側にヒビ
53	M・K 様	3F	2月19日18:30	フロア	転倒	左大腿骨頭部骨折で入院
54	Y・M 様	3F	2月19日18:30	フロア	転倒	外傷なし
55	S・C 様	2F	2月14日10:10	フロア	転倒	外傷なし
56	H・H 様	2F	2月23日04:22	居室	転倒	右頬と右前額部に擦り傷
57	M・S 様	4F	2月16日14:00	居室	転落	外傷無し
58	K・S 様	4F	2月15日15:00	居室	転倒	外傷無し
59	Y・A 様	3F	2月25日15:00	浴室	転落	外傷無し
60	K・S 様	4F	3月09日06:00	居室	転倒	外傷無し
61	S・K 様	2F	3月24日13:10	フロア	転倒	外傷無し
62	I・T 様	2F	3月30日10:10	フロア	転倒	痛み訴えあるが外傷なし。
63	A・F 様	4F	3月30日07:30	居室	転倒	痛み・外傷なし

【月別・場所別 事故発生状況】

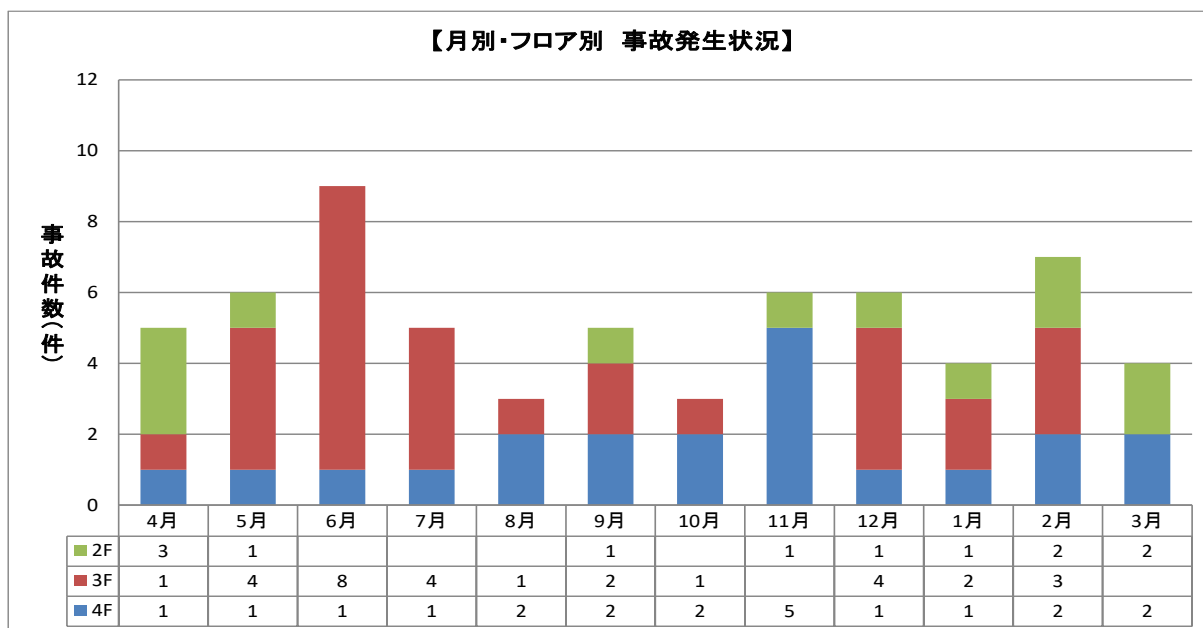


事故の総件数は63件、前年度比で16件減。発生場所の内訳は、居室が34件(53.9%)、フロアが26件(41.3%)、トイレが1件(1.6%)、その他が2件(3.2%)。総件数のうち6件は単発ショートで、うち5件は転倒、1件は食前薬の配薬忘れ。食前薬の配薬忘れは、配薬担当者が曖昧で責任の所在が明確でなく、改めて時間毎の担当者を整理し、目視でも確認できるよう、掲示物を作成した。単発ショート利用者のアクシデントは昨年比で10件減少。新規利用者のアクシデントはなく、初回利用前のアセスメント強化と確実に現場へ周知することがアクシデント予防に繋がったと思われる。

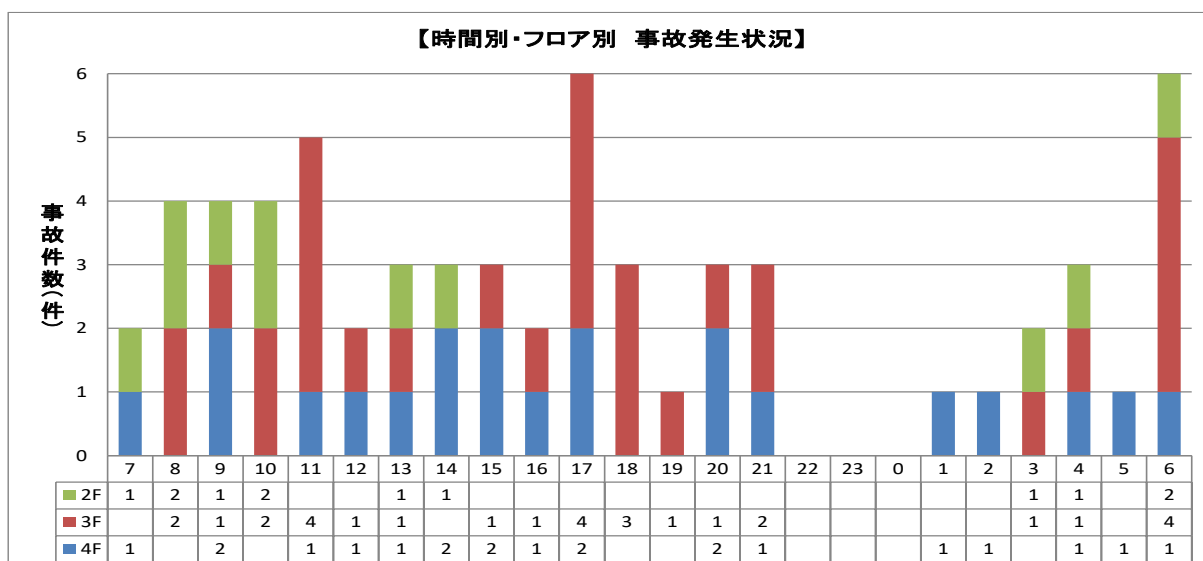
【時間別・場所別 事故発生状況】



時間別では、申し送り前後と早朝の転倒が多い。申し送り前後のアクシデントはフロアが5件で見守りが不十分で発生している。利用者を見守る場所で待機するだけでなく、転倒リスクの高い利用者が死角になってしまう場所の把握に努める必要がある。早朝のアクシデントは居室が5件で、早出の出勤前で夜勤者が一人に対応しており、センサー反応やコール対応が重なり、対応が遅れたことにより、動き出しに間に合わずアクシデントに至っている。センサーの優先順位を整理しながら、居室で支持物を増やすなど、安全に過ごせるよう環境整備を行っている。



月別の事故件数は、2階フロアが12件、3階フロアが30件、4階フロアが21件。3階フロアは単発ショート利用者の出入りと併せて、入所者も中等度～重度の認知症の方が多く、危険認識が低い事から、見守りを必要とする利用者が多く、同時の動き出しへの対応が困難な場合もあり、他フロアと相談し、転倒リスク者の居室変更も実施しながら、事故予防に努めている。



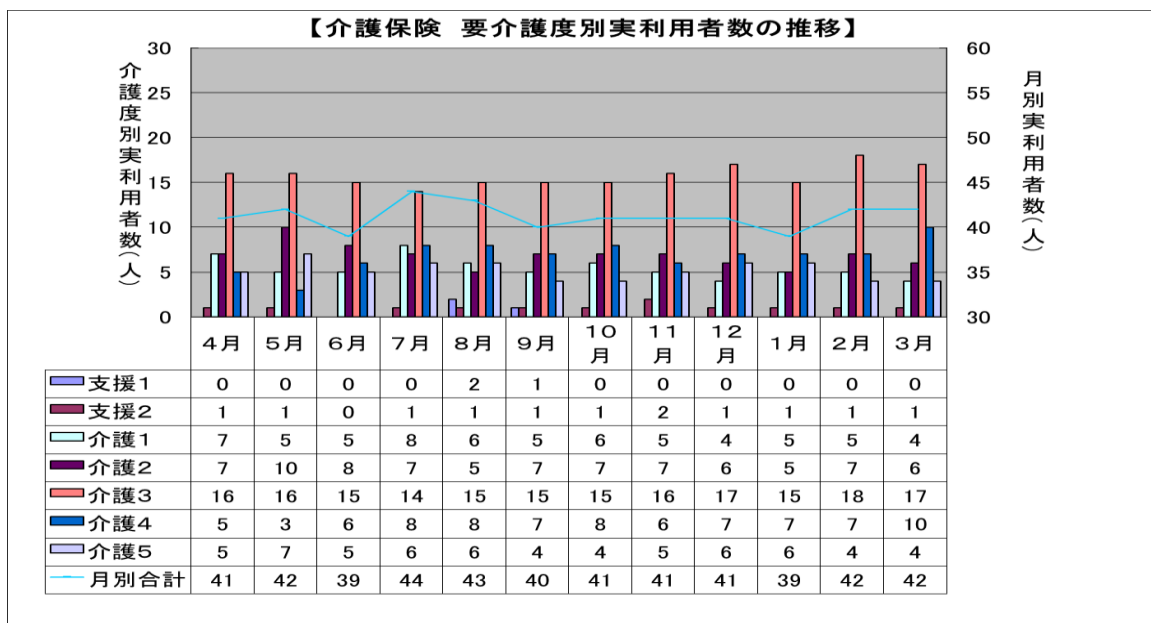
フロア別の事故件数は、2階が12件(19.1%)、3階が30件(47.6%)、4階が21件(33.3%)。上記のフロア別の分析と同様、転倒リスク者の分散対策と併せて、夜勤者が一人で対応している早朝の時間帯に加えて、11時・17時の件数が多い。11時はスタッフの休憩に入るタイミングで、1名は体操も実施しながら、もう1名は待機とコール対応をしているため、連携不足で見守りが不十分になる事もあり。お互いにフロアを離れる際は必ず声掛けと返事を確認後に離れるよう、基本の報連相を確実にやっていく。17時も申し送り後でスタッフが交代する時間帯であり、同様にスタッフ同士の連携が課題である。業務分解で仕事内容は明記しているので、臨機応変さは必要だが、同じ仕事を複数で行うことのないよう、無駄なく時間を有効活用できる業務分解の見直しを定期的に行っていく。

令和3年度 ショートステイ実績報告書

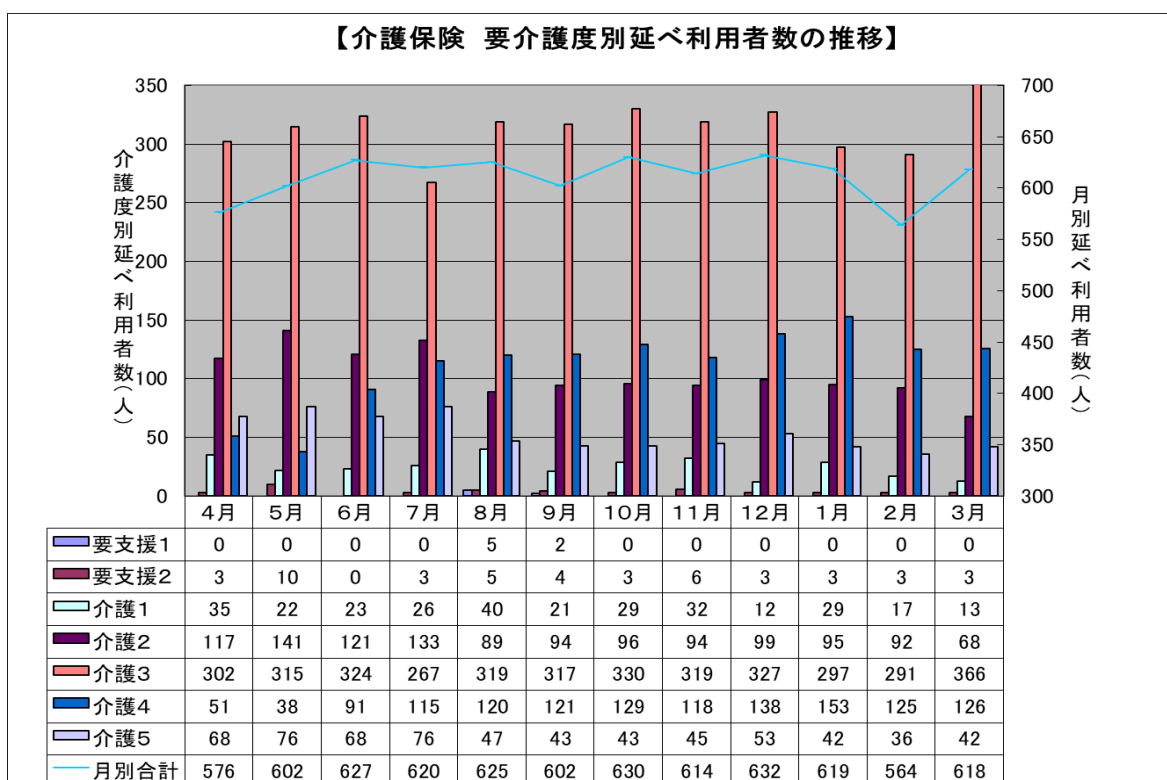
ショートステイ(介護保険・障がい)月別利用実績集計表【2021年4月～2022年3月】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
介護保険	41	42	39	44	43	40	41	41	41	39	42	42	495
延べ人数	576	602	627	620	625	602	630	614	632	619	564	618	7329
1日平均	19.2	19.4	20.9	20.0	20.2	20.1	20.3	20.5	20.4	20.0	20.1	19.9	20.1
稼働率(15床)	128%	129%	139%	133%	134%	134%	135%	136%	136%	133%	134%	133%	134%
障害	2	3	2	3	4	2	2	3	3	2	3	2	31
延べ人数	17	17	12	21	23	17	16	16	16	16	16	17	204
1日平均	0.57	0.55	0.40	0.68	0.74	0.57	0.52	0.53	0.52	0.52	0.57	0.55	1.10
稼働率(2床)	28%	27%	20%	34%	37%	28%	26%	27%	26%	26%	29%	27%	55%
SS稼働率(17床)	116%	117%	125%	122%	123%	121%	123%	124%	123%	120%	122%	120%	121%
特養空きベッド数(延べ)	84	82	83	93	79	101	86	87	62	113	118	90	1078
空きベッド利用者数(延べ)	83	92	129	114	121	109	119	120	121	108	104	108	1328
空きベッド稼働率	98.8%	112.2%	155.4%	122.6%	153.2%	107.9%	138.4%	137.9%	195.2%	95.6%	88.1%	120.0%	123.2%

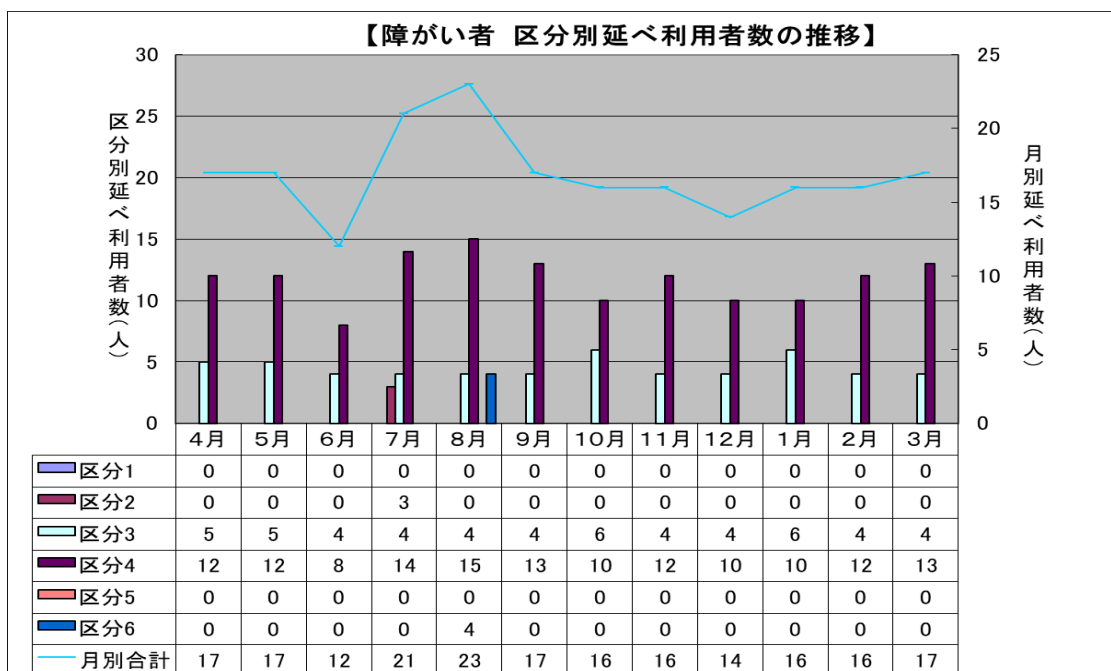
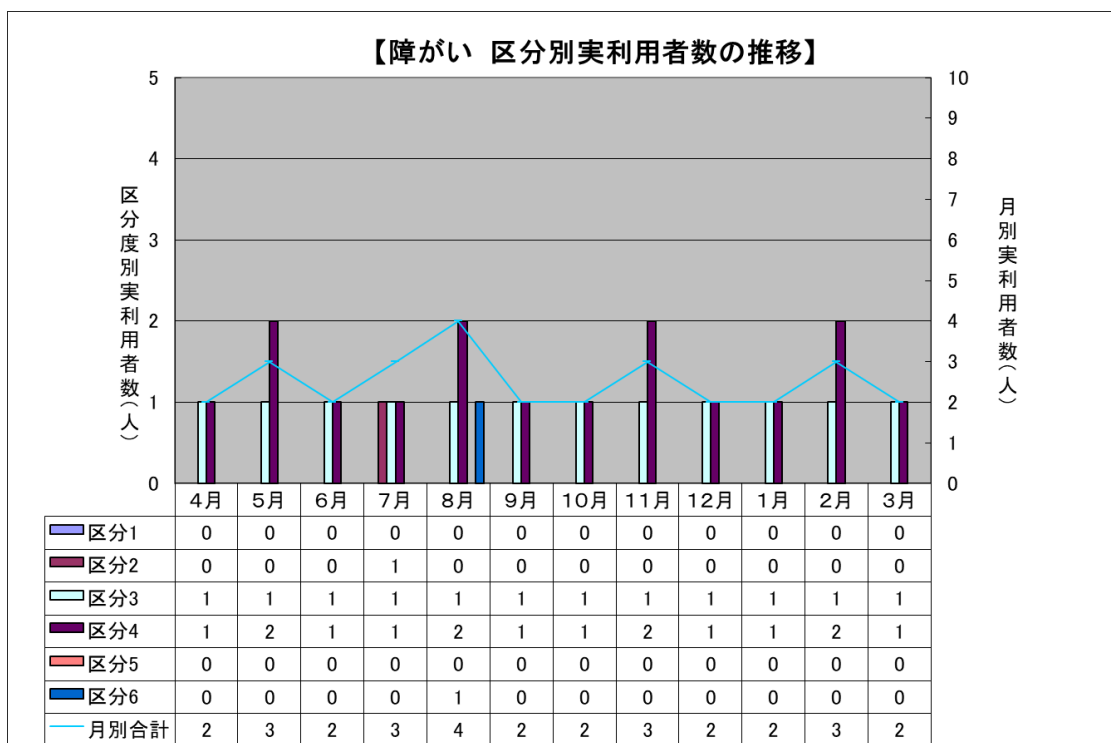
○ショートステイの年間平均稼働率は121%(17床)、介護保険新規利用者数は30件(内、13件はみさぎ会)、障がい新規利用者数は1件だった。昨年度に引き続きコロナ禍の影響もあつたが新規の依頼自体が少なかった。年間通して利用者様のADL変化が著しかったり、家族の介護負担が増大したりという理由からショートを受け入れにくいという状況は変わらなかった。平日の定期利用を希望される方も増加した。特養入所者の空きベッドに対する年間稼働率は123.2%と昨年度に利用頻度が増えた方が非常に多かった。既存の利用者様の利用延長を促すことで入退所件数を抑えつつ実績の確保をすることができた。来年度も引き続き特養入所者が退所後、一週間以内に次の入所の方を案内できるように常に常に待機者を最低5名を確保しておく。



介護度別実利用者の内訳は、要支援1は0.5%、要支援2は2.2%、要介護1は11.7%、要介護2は14.7%、要介護3は34%、要介護4は14.7%、要介護5は11.2%だった。要介護4・5の方は施設に入所される方が多いため、要介護3の方の利用が多い傾向があった。



介護度別延べ人数の内訳は、要支援1は0.1%、要支援2は0.6%、要介護1は4.1%、要介護2は16.9%、要介護3は51.5%、要介護4は18.1%、要介護5は8.7%だった。要介護3はロングショートを含めた利用者が多い為か、半数以上の割合を占めている。



昨年同様、藤井寺市・羽曳野市・松原市より利用されている方が多い。利用が定期的になれば将来的に長く利用して頂けることが多いので、ケアマネがついている方はケアマネから、そうでない方は家族から自宅での様子やニーズを聞き取り、ショート利用時に反映していきたい。

<業務計画に対して>

1. 利用者の日常的な健康状態の把握と健康保持への援助

【取り組みと結果】

・日々の申し送りやカンファレンスで介護士・ケアマネ・相談員・栄養士・機能訓練スタッフと積極的に情報を交換し、課題の共有や役割の認識に努めた。

2. 急変時の迅速な対応

【取り組みと結果】

・予測に基づいた積極的な情報提供や念の為の早期の受診、体調の変化についての家族様へのこまめな連絡を行った事で急変時の迅速な対応ができた。

3. 利用者の定期健康管理

【取り組みと結果】

・半月毎の健康診断、2ヶ月毎の採血、毎月の体重測定、ケアプラン作成更新時のMMSE・BPSD採取、希望者のインフルエンザ予防接種を実施した。特養インフルエンザ感染者なし。コロナワクチン接種3回目まで終了した。感染予防に力を入れたおかげで入所者の入院者が少なかった。

4. 事故防止と感染予防

【取り組みと結果】

・コロナウイルス感染防止に全力を注ぐ一年となった。職員の定期的なPCR検査行い、感染予防に注意し特養入所者コロナ感染なし。引き続き感染防止に努める。
・8月と2月に水質検査を実施した。(異常なし)

5. 職員の健康管理

【取り組みと結果】

・4月と11月に職員の健康診断、調理に携わる職員の毎月の検便の実施、全職員の年3回の検便を実施した。

6. 他部署との連携

【取り組みと結果】

・生活支援部やグループホームでの食事介助や待機業務、各委員会活動に積極機に関わった。

7. 機能訓練

【取り組みと結果】

・館内の散歩や生活動作の評価、ベット上での可動域訓練を実施した。

8. ユマニチュード技法の徹底

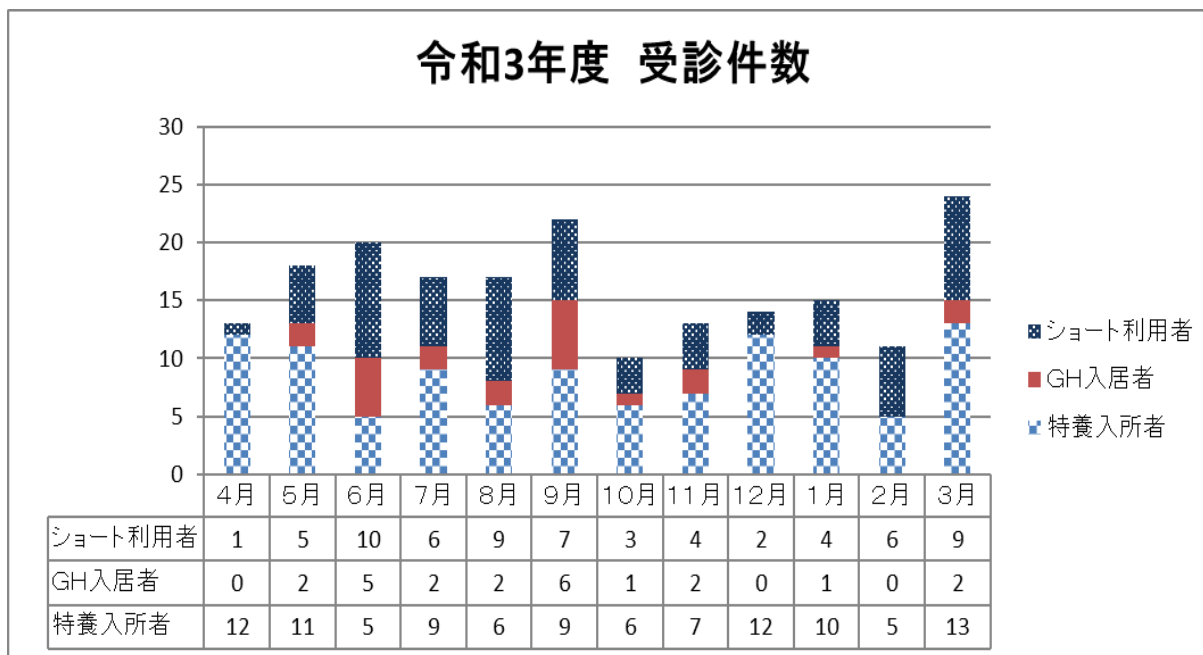
【取り組みと結果】

・基本技術(見る・話す・触れる)を意識しながら介護職と一緒に取り組んだ。

<数値目標に対して>

・レセプト請求16万点/月の数値目標に対して、月平均15.6万点で未達成。
引き続きカルテの記入漏れを防ぎ、適切に請求していく。

<入所者受診状況…194件>



<受診先内訳> 194件

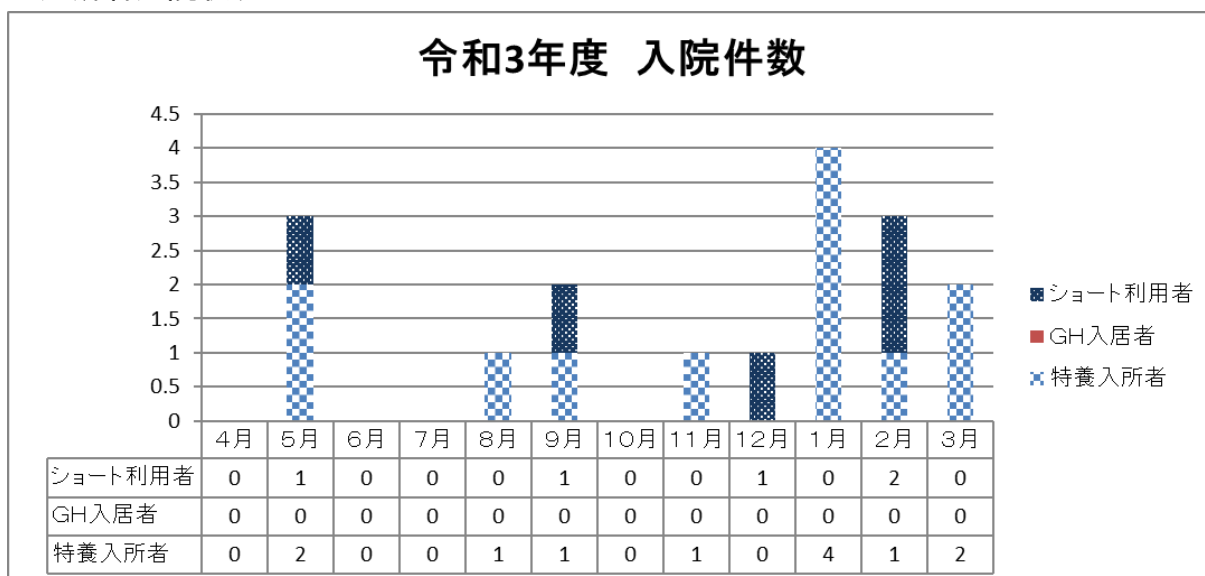
受診先	受診件数
医真会総合病院	9 件
医真会クリニック	12 件
城山病院	21 件
田辺脳神経外科	25 件
藤井寺市民病院	11 件
高村病院	28 件
よしおか泌尿器科	35 件
青山病院	12 件
数尾診療所	4 件
島田病院	5 件
ときよしクリニック	3 件
柏原市民病院	3 件
ふくはら内科	3 件
葭矢皮膚科	2 件
白川医院	2 件
李クリニック	2 件
急性期医療センター	2 件
近大病院	2 件

受診先	受診件数
羽曳野医療センター	1 件
松田クリニック	1 件
にしごり眼科	1 件
八尾徳洲会総合病院	1 件
内本診療所	1 件
長崎医院	1 件
歯科大	1 件
かわざし内科	1 件
ナワタクリニック	1 件
富永病院	1 件
八尾こころのホスピタル	1 件
PL病院	1 件
りんくう総合医療センター	1 件
	件
	件
	件
	件
	件

<来所Dr診察日数と延べ人数>

	延べ日数	入所老人	グループホーム
内科	314日	699人	109人
精神科(土)	48日	2449人	432人
訪問歯科(火)	48日	診察 953回	
		ケア 1290人	

<入所者入院状況>



<入院先内訳>

入院先	受診件数
医真会総合病院	1 件
城山病院	1 件
高村病院	3 件
藤井寺市民病院	5 件
青山病院	2 件
りんくう総合医療センター	1 件
	件
	件
計	13 件

主な疾患	受診件数
肺炎	2 件
骨折	5 件
感染性胃腸炎	1 件
尿路感染症	2 件
胆嚢炎・膵炎	1 件
腎盂腎炎	1 件
幽門狭窄	1 件
その他	4 件
計	17 件

<令和3年度 死亡状況一覧>

	月/日	年齢	性別	死亡原因	入院期間	在所期間	死亡場所
1	4/10	104	女	老衰	ターミナル	11年10ヶ月	ホーム居室
2	4/25	83	女	胆管癌	ターミナル	10日	ホーム居室
3	6/29	81	男	不明	0日間	7年9ヶ月	医真会八尾総合病院
4	9/15	97	女	老衰	ターミナル	1年5ヶ月	ホーム居室
5	11/6	100	女	老衰	ターミナル	2年2ヶ月	ホーム居室
6	1/10	80	男	不明	3日	2年6ヶ月	市立相原病院
7	1/25	89	女	胃癌	ターミナル	9ヶ月	ホーム居室
8							

<入所者検査>

		採血	血糖	スケール	体重	尿	SPO2	便	MRSA	心電図	喘息	インフルキット	XP
4月	特養(ロングショート)	49		2	59		9			19			
	GH	9		1	9		9						
5月	特養(ロングショート)	8		12	58		3			15			
	GH	2		1	9		9						
6月	特養(ロングショート)	34		4	57		2						
	GH	1		3	9		8			8			
7月	特養(ロングショート)	29		15	58		1			20			
	GH	3		1	9								
8月	特養(ロングショート)	42		2	58		3			20			
	GH	2			9								
9月	特養(ロングショート)	24		11	61		6			16			
	GH	4		2	9								
10月	特養(ロングショート)	55		3	55		2						
	GH	9		2	9		10			9			
11月	特養(ロングショート)	9		12	62		2			19			
	GH	1		1	9		10						
12月	特養(ロングショート)	44		6	60		1			20			
	GH	1		3	9								
1月	特養(ロングショート)	24		13	58		2			17			
	GH	9		1	9		9						
2月	特養(ロングショート)	43		2	59		1						
	GH	1			9					9			
3月	特養(ロングショート)	23		13	59		5			23			
	GH	7		2	9								

<入所者健康診断>

R3年 4/24 特養46名 Ls10名 GH9名 実施

<職員健康診断>

R3年4/24 胸部レントゲン 83名 実施
R3年5/17~5/29 92名 実施(6月入職5名)

<夜勤者・宿直者健康診断>

R3年11/8~11/20 35名 実施
(胸部レントゲン 11/20 39名 実施)

<浴室水質検査>

R3年 8/16~8/17 7ヶ所異常なし
R4年 2/7~2/8 7ヶ所異常なし

<職員検便>

R3年 6/1~6/15 96名 実施
R1年 10/1~10/15 97名 実施
R4年 2/1~2/15 99名 実施

<入所者インフルエンザ>

R3年11/2 GH 9名、11/3 入所者 58名
11/12 2名、11/26 数尾診療所にて 1名 実施

<職員インフルエンザ>

R3年 10/25~10/30 48名
11/2 1名
11/3 2名、11/8 2名 実施

<コロナワクチン>

R3年 5/12~7/26 特養入所者 55名、GH 9名、職員86名 2回終了
R4年 1/26~3/4 " 職員89名 3回目

<機能訓練・日常動作訓練実績報告>

個別療法

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
実人数	48	48	48	46	47	46	45	46	46	453	46	47	46.50
延人数	63	114	86	109	93	89	106	89	89	89	90	92	92.41
開設回数	6	7	6	7	5	6	7	6	6	6	6	6	6.16
平均人数	20.75	22.4	22	21.4	24	22.75	21.8	22.75	22.75	22.75	23	23.5	22.48

個別機能訓練

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
実人数	47	47	47	45	46	45	44	45	45	44	45	46	45.5
延人数	320	309	303	331	311	297	302	307	301	271	280	269	300.08
開設回数	21	20	20	22	21	21	21	21	20	19	19	18	20.25
平均人数	15.23	15.45	15.15	15.01	14.8	14.14	14.38	14.61	15.05	14.26	14.73	14.94	14.81

〈事業計画に対する取り組みと結果〉

新型コロナウイルス感染予防の徹底

職員のワクチン接種・PCR 検査なども積極的に取り組み、対面防止・定期的な換気・仕切り・飲食事以外のマスク着用、使い捨て手袋の使用、消毒、職員と職員の家族の健康管理に注意を払い入所者への感染予防に努めた。

やわらか食の提供

肉・魚類に酵素の使用は継続しつつ、ミキサー食・キザミ食の方には市販のムース食を活用し、主菜は形のあるムース食を提供するようにした。

ユマニチュード技法の徹底

昼食時のミールラウンドを強化し、目を見てゆっくり話しかけ、お年寄りに対して丁寧に接するよう心掛けた。

褥瘡ゼロの継続

ケアカルテの導入により日々の情報収集が簡易になり、定期的に開催されるカンファレンスで多職種との連携、栄養ケア計画作成時に活用し、低栄養リスクの改善に努めた。

エプロンゼロの継続

主菜ソフト食の導入によりキザミ食で自力摂取される方の食べこぼし減少。食事介助が必要な方にもゆっくりと丁寧に介助を行い、エプロンゼロ継続している。

利用者にあったアクティビティサービスの提供

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染防止に全力を注ぐ1年となり、外出・面会も制限される中、施設内でもできるだけ階をまたぐ移動を避けフロア毎に行事を催すこととなった。食事会や松花堂弁当にはその月の誕生者に聞き取りを行い、希望されるメニューを取り入れ、楽しく食事して頂けるよう尽力した。松花堂弁当は15日に固定することで毎月実施することができた。11月15日に100歳を迎えられた利用者には手作りの稲荷ずし・おはぎ・バースデーケーキでお祝いし喜んで頂くことができた。

〈食数〉

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
入所	朝食	1414	1466	1418	1457	1466	1398	1462
	昼食	1383	1436	1388	1426	1438	1368	1433
	夕食	1410	1466	1418	1457	1438	1398	1464
ショートステイ	朝食	526	555	577	583	585	561	578
	昼食	589	616	635	641	649	618	648
	夕食	525	553	578	581	581	558	581
デイサービス	昼食	995	973	947	1014	976	968	1002
グループホーム	朝食							
	昼食	117	63	33	32	42	36	45
	夕食	117	63	33	32	42	36	45
合計		7076	7191	7027	7223	7217	6941	7258
平均		233	234	237	236	238	234	238

		11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
入所	朝食	1411	1488	1439	1281	1457	17157	1430
	昼食	1384	1459	1405	1254	1431	16805	1400
	夕食	1413	1488	1436	1282	1458	17128	1427
ショートステイ	朝食	569	580	582	520	579	6795	566
	昼食	636	643	634	575	636	7520	627
	夕食	571	583	581	521	581	6794	566
デイサービス	昼食	992	956	875	735	942	11375	948
グループホーム	朝食			36			36	
	昼食	36	36	72	36	36	252	21
	夕食	36	36	72	36	36	252	21
合計		7048	7269	7132	6240	7156	84778	7064
平均		237	239	232	225	228	2811	234

〈食事形態〉

(%)

入所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
普通	21	20	20	21	17	19	19	19	19	19	19	19	19.3
一口大	19	19	19	20	21	22	21	22	25	26	25	25	22.0
やわらか食	19	19	23	21	22	23	22	23	23	22	20	21	21.5
やわらかキザミ食	33	34	29	27	26	23	25	23	21	19	21	19	25.0
ミキサー食	6	6	7	9	12	11	11	11	10	12	13	14	10.2
濃厚流動食	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.0

ショート

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
普通	49	40	39	50	69	73	67	65	64	72	76	74	61.5
一口大	28	37	40	28	14	10	17	15	13	8	6	12	19.0
やわらか食	1	3	2	4	7	8	8	11	11	11	6	6	6.5
やわらかキザミ食	14	14	13	12	9	9	8	9	12	9	11	8	10.7
ミキサー食	8	6	6	6	1	0	0	0	0	0	0	0	2.3
濃厚流動食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

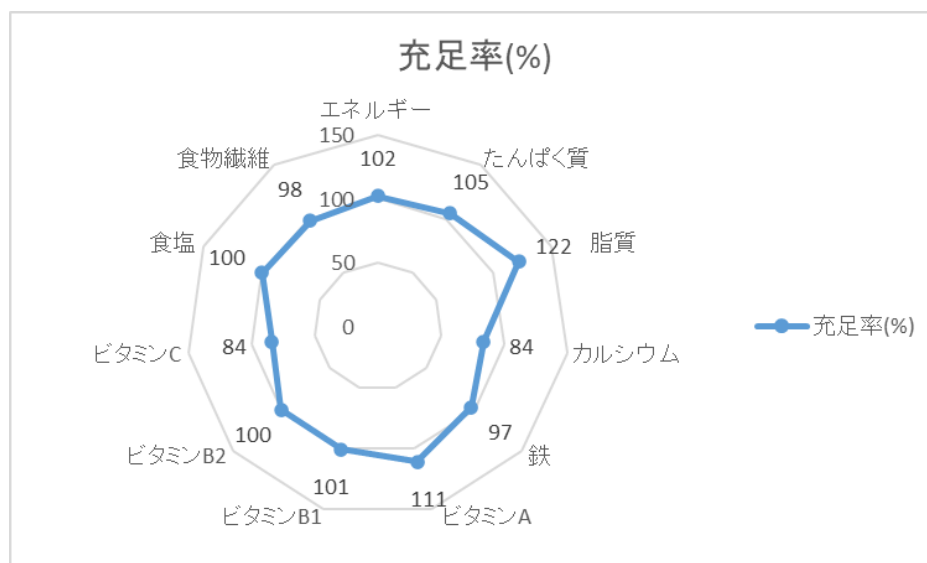
デイサービス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
普通	76	76	78	80	80	79	77	75	77	77	77	77	77.4
一口大	8	8	7	7	8	10	11	12	11	10	9	8	9.1
やわらか食	12	13	12	11	10	9	10	11	10	11	13	14	11.3
やわらかキザミ食	2	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0.5	1	0.8
ミキサー食	2	3	3	2	1	1	1	1	1	1	0.5	0	1.4
濃厚流動食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

<給与栄養量>

	単位	目標量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
エネルギー	kcal	1500	1558	1495	1482	1513	1491	1515	1537
たんぱく質	g	60	62.9	62.8	61.1	60.8	62.5	62.9	63.8
脂質	g	37	47.4	45.8	45.4	48.6	45.9	44.2	37
カルシウム	mg	600	506	504	502	497	501	510	504
鉄	mg	7	6.8	6.5	6.7	6.6	6.6	7.1	6.8
ビタミンA	μg	450	497	507	489	536	506	423	503
ビタミンB1	mg	0.8	0.73	0.82	0.76	0.84	0.74	0.87	0.82
ビタミンB2	mg	1	0.98	0.92	0.98	0.99	0.96	0.94	0.99
ビタミンC	mg	100	78	81	79	77	100	85	83
食塩	g	7	6.6	7.1	6.9	7.2	7.3	7	7
食物繊維	g	15	13.3	14.2	14.6	14.8	14.2	14.3	14.7

	単位	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	充足率(%)
エネルギー	kcal	1513	1573	1559	1567	1580	18383	1532	102
たんぱく質	g	63.2	63.2	64.8	64	64.9	756.9	63.1	105
脂質	g	42.4	47.4	44.5	46.9	46.8	542.3	45.2	122
カルシウム	mg	496	523	494	494	507	6038	503	84
鉄	mg	6.7	7.3	6.7	7	7.2	82	6.8	97
ビタミンA	μg	469	515	502	538	526	6011	501	111
ビタミンB1	mg	0.81	0.82	0.86	0.82	0.88	9.77	0.81	101
ビタミンB2	mg	0.94	0.97	0.96	0.98	1.01	11.62	1.0	100
ビタミンC	mg	76	85	73	79	79	975	84	84
食塩	g	6.9	7	6.9	6.9	6.9	83.7	7.0	100
食物繊維	g	15.8	15.2	14.5	15.2	15.8	176.6	14.7	98



<エネルギー比率> (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
たんぱく質エネルギー比率	16.1	16.8	16.6	16	16.8	16.6
脂肪エネルギー比率	27.4	27.6	27.4	28.9	27.6	26.3
糖質エネルギー比率	56.5	55.6	56	55.1	55.6	57.1

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
たんぱく質エネルギー比率	16.6	16.7	16.1	16.6	16.4	16.4	16.5
脂肪エネルギー比率	26.1	25.2	27.1	25.7	26.9	26.8	26.9
糖質エネルギー比率	57.3	58.1	56.8	57.7	57.8	56.4	56.7

〈療養食〉

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
糖尿食	対象者数	1	1	1	1	1	1	6
	利用日数	30	31	30	31	31	30	183

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
腎臓食	対象者数	1	1	1	1	1	1	6
	利用日数	30	19	30	31	25	30	165

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
糖尿食	対象者数	1	1	1	1	1	1	12
	利用日数	31	30	31	31	28	31	365

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
腎臓食	対象者数	1	1	1	1	1	1	12
	利用日数	31	30	31	31	28	31	347

〈行事食〉

		行事	メニュー			行事	メニュー
4月	15日	松花堂弁当	ちらし寿司・松花堂弁当・茶わん蒸し	11月	15日	松花堂弁当	ちらし寿司・鮭の塩焼き・卵豆腐・すまし汁
					22日	3階目前調理	とんかつおろし煮
5月	15日	松花堂弁当	豆ごはん・煮込みハンバーグ・南瓜のあんかけ・卵スープ		25日	4階目前調理	ラーメン
					26日	2階目前調理	クリームシチュー
6月	15日	松花堂弁当	ちらし寿司・はもの湯引き・卵とうふ・焼きナス・すまし汁	12月	8日	DS 忘年会	一人鍋「すき焼き」
	22・24・25日	食事会	お好み焼き		11・15・22日	特養忘年会	一人鍋「すき焼き」
					23日	クリスマス	ケチャップライス・グラタン・ポテトサラダ・スープ
7月	7日	七夕	稲荷ずし・ぶっかけそうめん・筑前煮		30日	餅つき	おしるこ
	15日	松花堂弁当	ゆかりご飯・サバの塩焼き・夏野菜の炒め煮・みそ汁	1月	1日	新年祝賀会	赤飯・おせち料理・雑煮
	22・23・24日	食事会	ざるうどん&揚げたて天ぷら		7日	七草粥	七草粥・だし巻き・牛乳
			11日		鏡開き	おしるこ	
			15日		松花堂弁当	鮭のタルタルソース・れんこんひじき炒め・スープ	
8月	15日	松花堂弁当	ちらし寿司・アジの香り焼き・茄子の揚げびたし・冬瓜スープ		20・25・29日	食事会	うな丼&にゅう麺
	11・21・25日	食事会	うな丼&ざるそば				
9月	15日	敬老祝賀弁当	松茸ご飯・敬老祝膳・茶わん蒸し	2月	3日	節分	巻き寿司・大豆煮・つみれ汁・フルーツ
	27・28・29日	食事会	オムライス・ポテトサラダ・フルーツ・ポタージュ		15日	松花堂弁当	炊き込みご飯・アジの梅しそ焼き・ひじきサラダ・みそ汁
					24・25・26日	食事会	一人鍋「ちゃんこ鍋」
10月	15日	松花堂弁当	山菜ご飯・太刀魚の塩焼き・茄子の煮浸し・すまし汁	3月	3日	ひな祭り	ちらし寿司・炊き合わせ・菜の花のお浸し・すまし汁
	25・26・27日	食事会	ピザ&たこ焼き		15日	松花堂弁当	から芋ご飯・手作りさつま揚げ・さつま汁
					22・24・25日	食事会	目前調理「だし巻き卵」

令和3年度

デイサービスセンターつどうホール実績報告

1日平均利用者数37.3名、月平均実利用者数115.5名、年間新規利用者数41名（月平均3.4名）。新規利用者は24名→41名と大幅に増えるも1日平均利用者、月平均利用者、実稼働率も75%と前年度とほぼ同じ。上半期の新規は11名で月平均1.8名。10月に蔓延防止法解除されてからは新規問い合わせが徐々に増え3月までで新規30名。月平均5名となる。2月からは要支援の方でも入浴可能を打ち出すと入浴希望の利用者も増える。下半期は認知機能低下から家族が音を上げ、ショート利用増からロングショートへの移行や転倒骨折から在宅復帰することなく利用終了するなどの利用者が増加した。新型コロナウイルス感染による事業休止で、ご利用者やご家族にご迷惑を掛ける事がないよう、引き続き感染予防対策を実施していく。

(取り組み内容)

○新型コロナウイルス感染予防の実施

利用時のマスク着用。送迎時は乗車人数を制限。食事時はテーブルに飛沫防止パネルを正面と隣に設置。カラオケは1曲ごとにマイク消毒をしている。入浴やレク時は隣との間隔を空けて対応している。

○身体機能の維持

理学療法士は2名体制。療法士の機能評価を基に「移動時は車イスでなく歩行器を使用する」「車イスから木椅子に移乗する」等、残存機能を活用できるよう努めた。個別リハビリだけでなく昼の集団体操、NSによるバランストレーニングなどを行った。またリハビリに積極的な利用者に対して自主トレメニューを提案。自宅での取り組み進捗状況を確認している。

○入浴

デイ利用の大きな目的の一つの入浴は毎月『変わり風呂』を実施。柑橘系風呂は香りが良く、米ぬか風呂は乳白色、コーヒー風呂は茶色で見た目にも好評であった。体調不良者や入浴拒否者に対して無理に入浴する事がない様、また個人やご家族の希望に応じて入浴できるように努めた。浴後に処置が必要な方、皮膚疾患等の異常を発見した際はご家族、ケアマネに報告し連携を図る。

○食事

コロナ感染防止としてマスクを外す昼食時とおやつ時は飛沫防止パネルを設置し感染予防に努める。ご飯をなかなか食べない方は食事形態を変更し栄養摂取を優先。またお茶を好まない方にはアクエリアスを持参するのど、個々の嗜好や嚥下状態に注意して食事形態の変更を実施する。

○アクティビティ

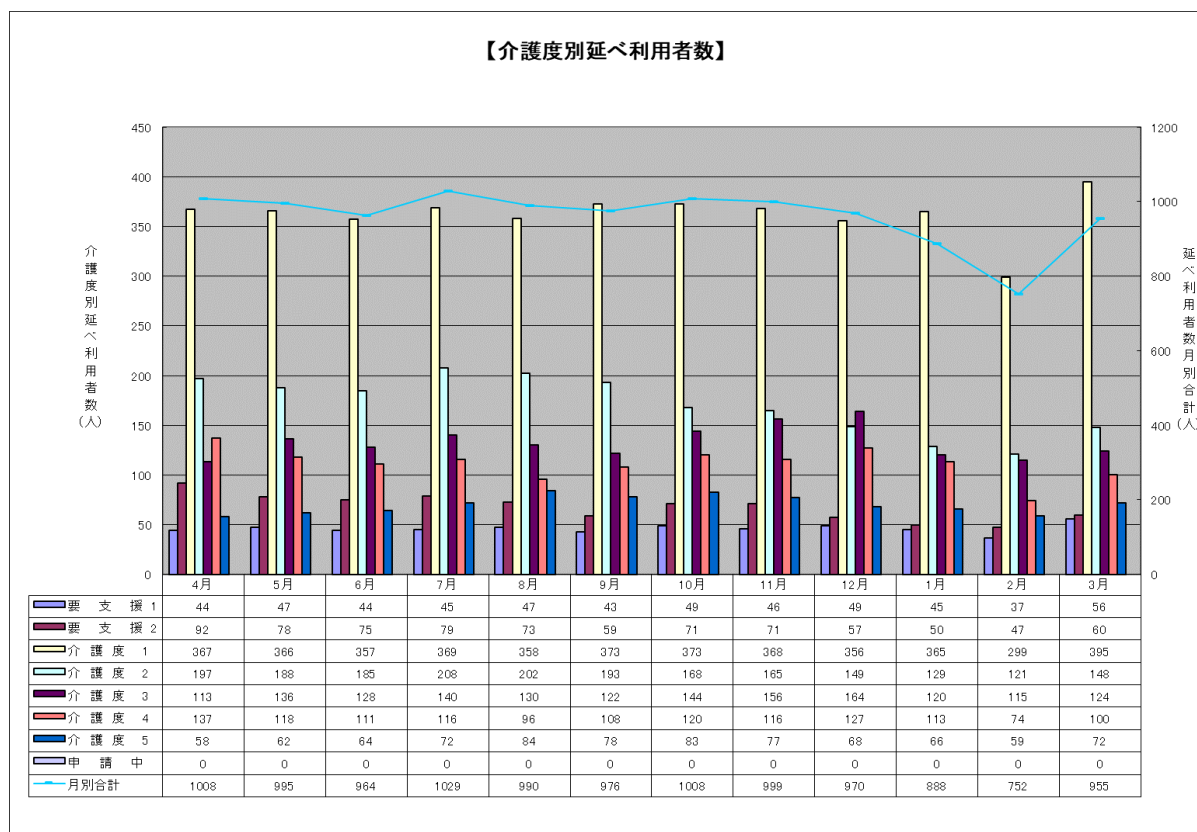
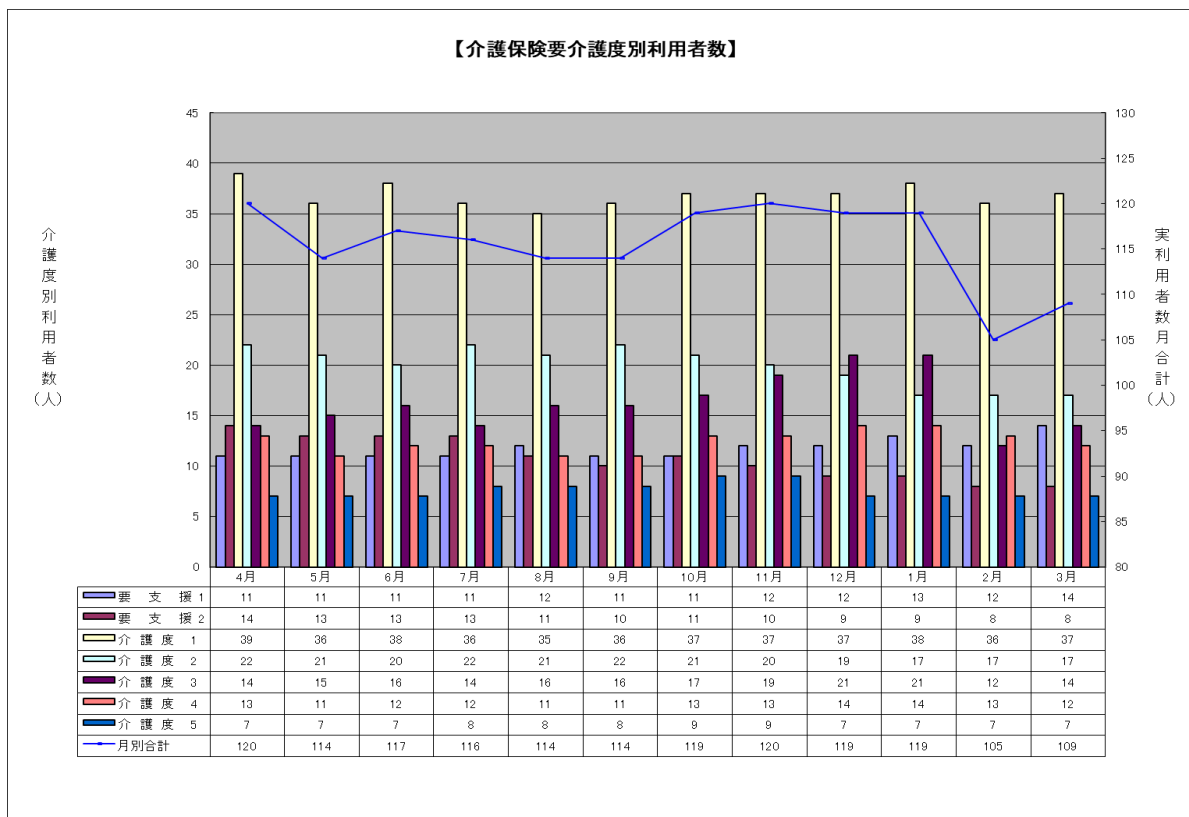
クラブ活動は園芸・書道・絵画・麻雀・将棋・製作とも毎月楽しくご利用いただいている。書道は月2回に増やし「カラオケをもっと歌いたい!」という希望に月1回『おもいきりカラオケ』の日を設け歌う時間を増やし好評をえている。

【 令和3年4月 ~ 令和4年3月 】

【 令和3年4月 ~ 令和4年3月 】

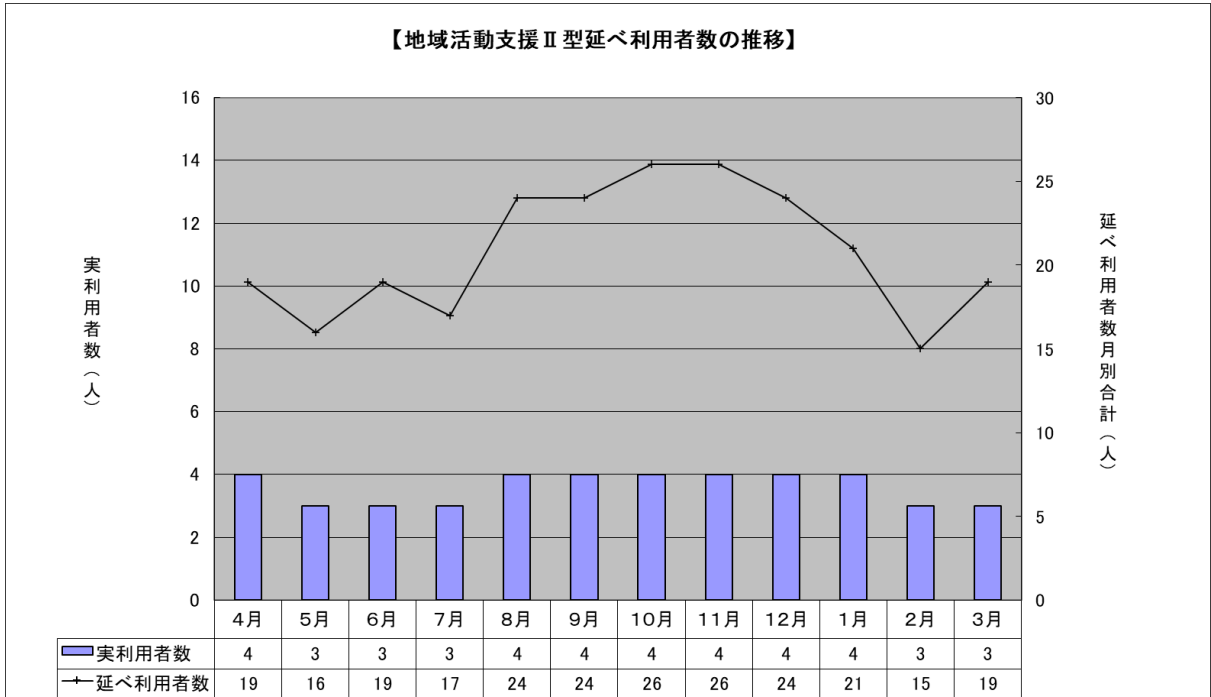
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計										
開所日数	26	26	26	27	26	26	26	26	25	24	24	27	309日										
新規登録者数	3	0	1	1	3	3	4	5	6	5	3	7	41名										
登録廃止数	3	3	3	3	3	2	1	2	4	4	5	3	36名										
月末登録者数	120 (25)	114 (24)	117 (24)	116 (24)	114 (23)	114 (21)	119 (22)	120 (22)	119 (21)	119 (22)	105 (20)	109 (22)	-										
要支援1	44	47	44	45	47	43	49	46	49	45	37	56	552										
要支援2	92	78	75	79	73	59	71	71	57	50	47	60	812										
介護度1	367	366	357	369	358	373	373	368	356	365	299	395	374,346										
介護度2	197	188	185	208	202	193	168	165	149	129	121	148	2,053										
介護度3	113	136	128	140	130	122	144	156	164	120	115	124	1,592										
介護度4	137	118	111	116	96	108	120	116	127	113	74	100	1,336										
介護度5	58	62	64	72	84	78	83	77	68	66	7	72	843										
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
利用者数(延べ・実)	1,008	995	114	1,029	990	976	1,008	999	970	888	752	955	11,534										
1日利用定員	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	-										
1日平均利用者数	38.8	38.3	37.1	38.1	38.1	37.5	38.8	38.4	38.8	37.0	31.3	35.4	37.3名										
定員に対する稼働率	77.5%	76.5%	74.2%	76.2%	76.2%	75.1%	77.5%	76.8%	77.6%	74.0%	62.7%	70.7%	74.6%										
加算別人数(延べ・実)																							
入浴介助加算	687	74	702	71	678	71	712	70	681	69	715	79	682	82	595	74	732	73	8,301				
運動機能向上加算	128	24	116	23	112	22	102	22	102	22	98	21	108	22	98	21	95	22	79	20	104	22	1,253
個別機能訓練加算11	222	66	218	67	183	62	196	55	227	65	209	56	246	71	135	46	146	59	207	64	238	59	2,438
個別機能訓練加算12	405	79	453	73	447	77	493	77	473	74	472	81	446	81	603	86	538	84	323	69	424	73	5,542
認知症加算	264	29	269	28	245	28	280	28	268	29	229	27	249	27	242	27	181	26	169	20	200	23	2,848
送迎減算	25	5	22	4	24	5	28	7	24	3	24	3	19	3	19	5	24	2	23	3	23	5	279

トータル延べ人数は前年対比 101.2%。各介護度別では総合（要支援 1. 2）の述べ人数は前年度対比で 95.9%。要介護全体の延べ人数は前年度対比で 101.8%。新規利用者は 24 名から 41 名に増えるも単月利用で終わることもあり年間通して実人数が前年度に比べ少ない。また複数回利用者の利用中止や有料老人ホームへの入居からの利用回数減があげられる。



地域活動支援Ⅱ型 月別利用実績集計表【令和3年4月～令和4年3月】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	22	21	22	22	21	22	21	22	21	20	20	22	256
新規登録者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
登録廃止数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末登録者数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	-
延べ利用者数	19	16	19	17	24	24	26	26	24	21	15	19	250
1日平均利用者数	0.86	0.76	0.86	0.77	1.14	1.09	1.24	1.18	1.14	1.05	0.75	0.86	0.97



1日平均利用者数0.97名。新規利用者0名。コロナ感染と棒自肅1名。

年間行事

4月	29・30日	変わり湯（バラ）	10月	6日	おやつレク（小倉トースト）
				9日	つどろシネマ（鯉小路きみまる①）
				19日	運動会
				22日	つどろシネマ（鯉小路きみまる②）
5月	3・4・5日	菖蒲湯	11月	27・30日	変わり湯（ぬか）
	26日	誕生会（ゴマ団子）		9日	大麻雀会
				10日	つどろシネマ（男はつらいよ2）
		17日		誕生会（餃子作り）	
				24日	おやつレク（紅芋スイートポテト）
6月	10日	おやつレク（ベビーカステラ）	12月	26・29日	変わり湯（緑茶）
	16日	つどろシネマ（男はつらいよ1）		7日	麻雀大会
	21日	おやつレク（ミニアメリカンドッグ）		8日	忘年会
	29・30日	変わり湯（ぬか）		13日	誕生会（子供遊び）
				15日	おやつレク（ごった煮）
				21・22日	ゆず湯
7月	8日	おやつレク（パンケーキ）	1月	23日	クリスマス会
	14日	つどろシネマ（美空ひばり）		27日	つどろシネマ（男はつらいよ2）
	21日	おやつレク（フレンチトースト）		4・5日	書初め
	28日	つどろシネマ（鯉の母）		19日	おやつレク（ぜんざい）
30・31日	変わり湯（しそ）	24日		おもいっきりカラオケ	
				26日	誕生会（たこ焼き）
8月	6日	つどろシネマ（てなもんや三度笠）	2月	28日	つどろシネマ（青い山脈）
	12日	おやつレク（ピザ）		27・29日	変わり湯（松の湯）
	18日	つどろシネマ（やすきよ漫才）		3日	つどろ節分会
	25日	夏祭り		22日	つどろシネマ（上を向いて歩こう）
27・30日	変わり湯（緑茶）		23日	変わり湯（ぬか）	
9月	3日	つどろシネマ（花笠若衆）	3月	28日	おもいっきりカラオケ
	8日	おやつレク（どら焼き）		3日	ひな祭り
	15日	敬老祝会		16日	誕生会（余興）
	23日	つどろシネマ（釣りバカ日誌1）		28日	つどろシネマ（伊豆の踊子）
28・30日	変わり湯（ヒノキ）		28・29日	変わり湯（緑茶風呂）	
			31日	おもいっきりカラオケ	

※ボランティアの受け入れは中止

令和3年度

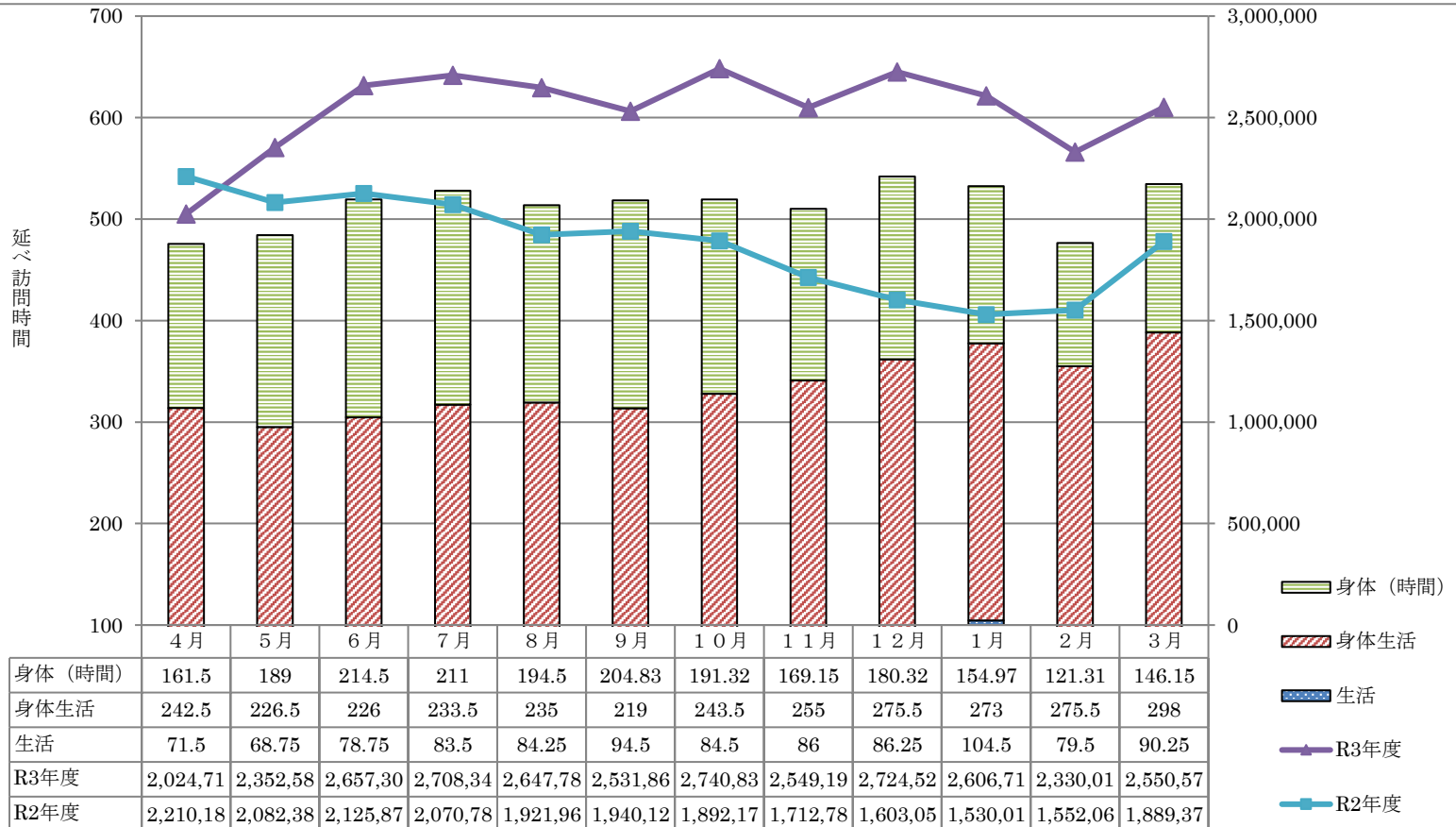
ヘルパーステーションつどうホール実績報告

令和3年度（年間平均実利用者 52 名、延べ訪問時間 8,101 時間、延べ訪問件数 8,855 件）

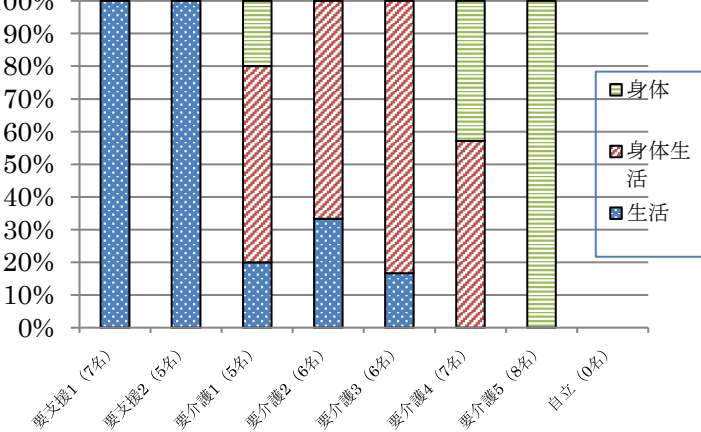
令和2年度（年間平均実利用者数 41 名、延べ訪問時間数 6,800 時間、延べ訪問件数 9,008 件）

6 月より特定事業所加算Ⅱの算定。新規利用者相談時に藤井寺ヘルパーとの併用利用を勧め、不測の事態に備えた。また新規の事業所も 5 事業所増えた。

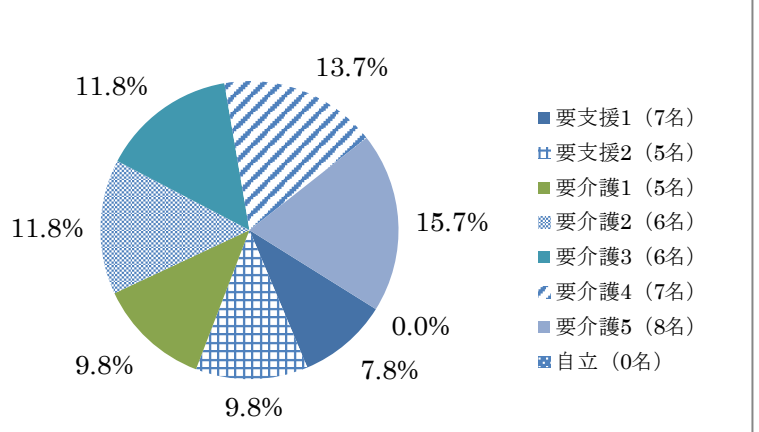
【介護保険利用者】



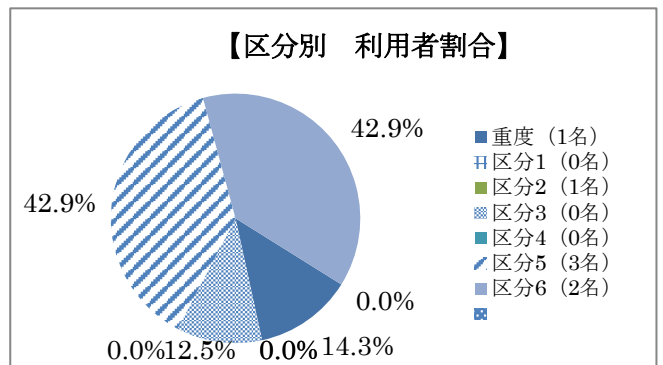
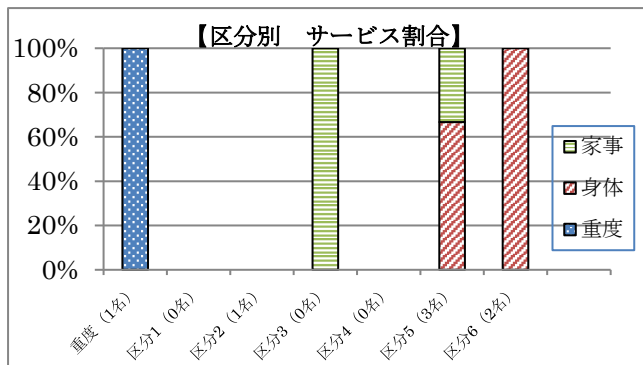
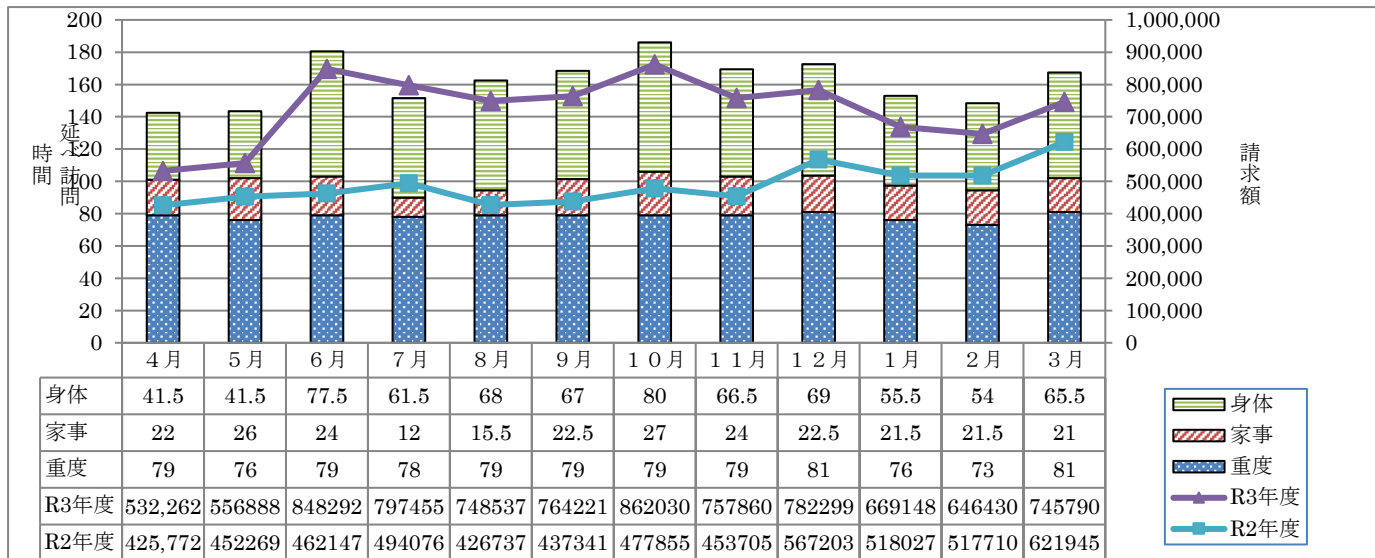
【介護度別 サービス割合】



【介護度別 利用者割合】



【障がい利用者】



【事例紹介】 「独居で認知機能低下、施設入所を促した事例」

(基本情報)

Aさん(女性) 要介護2 87歳

独居で夫には先立たれている。

近所に息子はいるも就労している為、頻繁には訪問出来ず。

身体生活支援でHH訪問。自立支援で調理や買い物同行を行っていた。

(支援経過)

コロナ渦でデイサービスを自粛しており、他者との関りが減っていた。

HH訪問時に意欲低下や幻聴、排泄の失敗など確認。服薬忘れや食事量の低下みられ始め、その頃から首の前屈が悪化。転倒見られるようになる。

デイ再開するも意欲低下や鍋を焦がしたり悪徳業者に騙されそうになる、転倒が増え始め在宅での生活は限界にきていると家族に何度も説明するも、在宅での生活を継続されていた。

家族が訪問した際に打撲痕や表皮剥離発見し家での生活は限界と判断され入所する運びとなった。

各事業所とケアマネが連携し、本人の現状と在宅生活を継続する事でのリスクを繰り返し伝える事で、家族の意識が変わり本人の安全が確保された。施設入所の促しについては慎重に行う必要があるが、今後も他事業所やケアマネと連携しながら本人にとっての利益を最優先に考えていきたい。

令和3年度

グループホームつどうホール実績報告

《基本方針》

利用者それぞれがその人らしい生活を実現することができるよう生活歴を把握し、学習活動やアクティビティを通して認知機能の維持・向上を目指し利用者の自立を支援する。

上記の基本方針に沿って、各取組みを振り返る。

《数値目標》

年間平均稼働率は100%。令和3年8月に看取りで死去された方がいたが、事前に待機利用者の家族とは密に連絡をとり合う事により、翌日には速やかに新入所で繋げることができた。また関係ケアマネジャー等と連携を図り、空床時の待機者確保にも努めた。

ユマニチュード技法の徹底

ユマニチュード（見る・話す・触れる）実践で、職員が無意識のうちにユマニチュード技法を用いて、利用者と話す際に活用し利用者との信頼関係を築く事ができた。今後もユマニチュードを実践し、利用者に安心感を与え、安定した生活と残存機能の維持・向上に努める。

利用者にあったアクティビティサービスの提供

ベランダでは季節のお花を育て、利用者と一緒に花の水やりを行う事で気分転換を図れた。畑では数種類の農作物を育て、収穫後には調理し、利用者にも食して頂き、喜んでもらった。今後も園芸や農作業を通して、自然とふれあい、見る、香る、味わう等、五感を刺激し、日常生活の中での活力となるように継続していく。また、コロナで今年度も外出は控えた為、グループホーム内で行事を行う際は飾り等で雰囲気演出し、少しでも季節感を感じてもらえるような工夫も行った。

やわらか食の提供

引き続きコロナの影響により、ヨシケイの食材配達を活用して食事を提供。食材配達を継続する事により、コロナ禍での食材の買い出しも最小限に減らす事ができた。利用者には食べやすく、美味しい食を目指し、肉類は調理前に酒に漬け込み、食材は隠し包丁を入れ、揚げ物はあんかけをからめる等して、食して頂いた。咀嚼の状態に合わせて、魚の骨を取り除き、一口大にし、個別でお粥の提供も行った。誕生会には好きな食べ物を聞き取りし、メニューに取り入れる事で喜んで頂けた。

褥瘡ゼロの継続

重度の方で褥瘡リスクのある利用者に対しては、ポジショニング技法を研修で学んで実践してきた。皮膚トラブルを発見した場合は、職員間ですぐに情報共有を行い、速やかに改善を図れるようなケアを実践してきた。

エプロンゼロの継続

食事は椅子に座って食してもらうのが基本だが、椅子への移乗が困難である利用者は、その方に合った車椅子を手配し、そのままでも安定した姿勢で食事できるようにした。他にもシーティング技法を学び、その方に合った椅子・机を調整して正しい姿勢を保てるようにし、ご自身で食べやすい食器の選定も行った。食べこぼしで服が汚れても、すぐに着替えを行う配慮を行った。

認知機能の維持・向上。生活行為への汎化

学習活動の実施により、脳の活性化の良い機会となっており、主にS様とG様が参加している。S様は非常に意欲的に取り組まれ、作業も今のところ特に問題なくこなされているが、G様

は集中力が続かない場面が多く見られるようになってきている。毎朝の体操に関しては継続する事ができた。見当識への働きかけを目的に、体操中に季節や日時に関する話を毎日継続して行ってきたが、答えられる方が限られてきたのが現状である。学習以外にも、作品制作、書道、パズル、スクラッチアート、レクリエーション、言葉遊び等、個別での取り組みも行い、認知機能の維持・向上を図った。他にも短時間でもベランダに出る機会を設け、外気浴を行う事により季節を感じてもらえた。重度の方で、取り組みが困難であっても、普段から職員がユマニチュード技法で接する事により、少しでも日常生活の中でコミュニケーションを図る事を継続できた。

地域との連携を図る

コロナ感染拡大により、今年度も運営推進会議は実施出来ず。また、地域の小学生や幼稚園児との交流も同様に残念ながら控える事になった。

利用者の希望を実現する

コロナにより外出はできなかったが、食事会では旬の野菜を食して頂き、季節感を味わってもらった。また、誕生会では対象となる利用者に食べたい物を聞いて、それを提供する事で喜んでもらえた。今年もケーキは凝ったデコレーションを施し、フルーツ満載で作成し、利用者も驚かれていた。

利用者の有する能力を発揮して頂く

日常生活の中での取り組みとして、テーブル拭きや洗濯物たたみ、毎日の献立書き、ベランダの水やり等、利用者の能力に応じて出来る事を見つけ出した。職員と共に作業を分担して行って頂く事で、生活の中での役割が持てるような取り組みの提供を行い、残存機能の維持・向上に努めて支援できた。コロナ禍である為、感染予防対策を徹底した上で、盛り付けやお盆拭きも行ってもらった。

事例作成を認知症予防プロジェクト室と共同で行う

今年度も利用者のスケール測定を中心に連携を図った。デュアルタスクは心理士が中心となってO様・G様・S様が参加されて取り組まれた。

介護計画の作成

ケアプラン作成にあたり、利用者の主訴、趣味活動や日常の家事活動を盛り込んだ内容になるように心掛けた。利用者が楽しみや生きがいを感じる事ができて、主訴を実現できるようなケアプランを本人・家族・職員で協力して作成してきた。

家族との信頼関係を構築する

コロナ禍では iPad での LINE 電話での面会や、ビニールシート越しの面会を継続し、利用者の顔を見てもらう事で安心して頂いた。また、各居室担当者から毎月家族に電話で利用者の近況報告を行い、日々のグループホームでの様子を知って頂くように努めた。各居室担当者による直筆の手紙も送付し、コロナ禍でも家族との信頼関係構築の為、積極的なコミュニケーションを図った。

【行事】

5月9日	母の日	母の日に感謝の気持ちを込めて、男性利用者からカーネーションを女性利用者にプレゼントして頂いた。女性利用者皆さん喜ばれた。
5月26日	食事会 (旬の食材)	5月の旬の食材をお重箱に盛り付けて提供。メロンも提供され、利用者は喜ばれていた。
6月20日	父の日	父の日に感謝の気持ちを込めて、女性利用者よりお花と感謝状を男性利用者に渡して頂いた。
6月22日	食事会 (バイキング)	フロアを梅雨仕様に飾りつけ。梅ジュースやスイカも提供し、涼しげで印象も良かった。
7月7日	七夕	昼食は天の川に見立てたそうめんを提供。午後より七夕の劇を行って楽しんでもらった。
9月15日	敬老祝賀会	豪華な食事、新人職員による出し物、敬老のプレゼント等、盛り沢山の内容で、利用者の長寿を職員一同で心を込めてお祝いした。
10月16日	運動会	昼食は5階屋上にて運動会弁当を提供。午後から赤・白に分かれて3種目の競技を楽しまれた。
10月28日	食事会 (喫茶店風)	昔懐かしい雰囲気のカフェ店をコンセプトに実施。雰囲気・食事共に利用者も喜ばれていた。
11月12日	食事会 (秋の食材)	コロナで遠足が困難である為、食事会を実施。旬の食材で食事を提供し、秋を感じて頂いた。
12月16日	忘年会	今回は夕方に実施。ひつまぶしを始め豪華な夕食を提供し、喜んでもらった。夕食後、職員の出し物を行い楽しんでもらった。
12月24日	クリスマス会	クリスマスランチを提供、皆さん美味しいと喜ばれた。午後より職員がサンタに扮してクリスマスカードとプレゼントを渡し、記念撮影。
12月31日	年越しそば	大晦日の夕食に年越しそばを食べ、利用者皆で一年を振り返った。
1月14日	初釜	新年初め職員全員が着物を着て、雰囲気をつくり、和菓子と抹茶を食して頂き、喜ばれた。
2月3日	節分	調理した恵方巻きを昼食に提供。午後より豆まきを行い、鬼が登場すると利用者皆で豆を投げて楽しまれた。
2月18日	観梅	外出できない為、フロアに梅の花を飾り、スクリーンに梅の鑑賞動画を投影。梅のお菓子も提供。
3月3日	ひな祭り	昼食に散らし寿司、おやつに三色ゼリーを食して頂く。お雛様との記念撮影も実施。

※年6回 避難訓練実施

【アクシデント報告】

R3年度 グループホームつどうホール アクシデント状況						
	氏名	日時	場所	項目	状況	症状
1	M・M様	5/22 PM18:45	フロア	誤薬	本人の薬と思ひ込み、配薬係以外が名前見ずに服薬。	薬局指示で様観
2	H・T様	6/8 AM11:40	フロア	転倒	職員が他利用者を介助中、背後で転倒発見。	第一腰椎圧迫骨折
3	T・I様	6/16 AM10:25	フロア	転落	ソファから床に右側臥位で転落。	額右側腫れ
4	B・T様	7/21PM17:20	廊下	転倒	居室の古新聞を持参時、転倒。	左大腿部痛み
5	T・T様	11/8 PM22:40	居室	転倒	トイレに行かれる時に寝ぼけて転倒。	下肢に内出血
6	G・A様	12/14 AM9:00	フロア	尻もち	職員付き添い時、フラつき支えた状態で尻もち。	外傷、痛み無し
7	O・F様	12/17 AM11:55	トイレ	転倒	排泄後、ズボン上げた際にバランス崩し転倒。	外傷、痛み無し
8	N・K様	1/28 P17:30	居室	転倒	職員介助中、バランス崩し怪我させてしまう。	額腫れ
9	O・F様	3/12 AM8:00	トイレ	転倒	排泄後、床に落ちた便を自身で拭こうとして転倒。	外傷、痛み無し
						事故件数 9件

【入居者状況】

(定員 9 名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所 延べ人数	270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279	3285
SS 延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全体 延べ人数	270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279	3285
開設日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
1日平均 人数	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
稼働率 (%)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

【要介護度】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護 1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1
要介護 2	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2
要介護 3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
要介護 4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3
要介護 5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

【入居・退居状況】

○入所者…S・F様

○退所者…H・T様

【現入居者】

	氏名	性別	生年月日	年齢	要介護度	入居日
1	G・A様	男	S21.12.17	75	3	H30.6.5
2	B・T様	男	S16.12.4	80	1	H30.6.23
3	T・T様	女	S5.7.20	91	3	H28.9.8
4	H・T様	女	S15.1.3	82	4	H30.9.17
5	O・F様	女	S1.1.12	94	2	R2.6.18
6	N・K様	女	S2.8.29	94	5	H27.2.17
7	S・F様	女	S18.4.27	78	2	R3.8.16
8	M・M様	男	S5.11.22	91	4	H29.3.13
9	T・I様	女	S10.3.31	87	4	H30.10.29

【面会者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 合計	1日 平均
面会者数	5	12	44	32	35	13	10	11	11	27	10	12	222	0.61
1日 平均人数	0.17	0.39	1.46	1.03	1.16	0.43	0.32	0.37	0.35	0.87	0.38	0.39		

【事例紹介】

●事例 【積極的なターミナルの実施】

H・T様 女性（要介護4 障害自立度A2 認知症自立度Ⅲa）

<本人の様子>

食欲がなくなり、水分と柔らかいゼリー等を数口食される日々が続いた。訪問看護と連携し、日々の体調変化を観察していた。

<主旨の内容>

楽しい事が好き。大好きな娘や施設長とお話して過ごしたい。

<実施の様子>

平成28年9月入所。誰かのお役に立ちたいと、人の為にお世話するのが好き。盛り付けや洗濯たみ等、家事のお手伝いをして下さったり、近隣の小学校や幼稚園交流会ではいつも代表で挨拶されたりと、何事にも積極的な方だった。施設長とお話するのが好きで、よく職員に会いたいと希望され、定期的にお話する時間を設け、会話を楽しんでいた。令和3年4月より体調変化が見られ、徐々に食欲が低下し、歩行も困難となっていく。令和3年5月よりターミナルに移行となる。ほぼ水分が摂れない状態が暫く続いたが、コロナ禍でも大好きな娘と面会できるように、ベランダから直接居室へ入れるようにした為、幾度も娘夫婦が会いに来られ、不安を感じる事なく過ごす事ができた。体調が良好であれば、行事にも参加して頂き、食欲がない中、仲の良い利用者と席を並べて、笑顔でそうめんを食される事もあった。「嬉しい、美味しい、楽しい」と言われた時、仲の良い利用者と涙ぐまれたのが印象的だった。

<振り返り>

ターミナルケアに移行してからも、本人が寂しい思いをする事のないように、居室のテレビに楽しかった思い出の写真をスクロールして見て頂いた。また職員もこまめに訪室を心がけ、会話できる時間を設けるように努めた。家族の度重なる面会や配慮もあり、最後まで多くの充実した時間を過ごす事ができた。娘は最後まで愛情を注がれ、職員に対しても何度も感謝の言葉を頂き、「お母さんは幸せな人でした」と言って下さった。これからも利用者の気持ちを汲み取り、丁寧な介助や会話を心がけ、不安を少しでも解消できるような安心できるターミナルケアを目指していきたい。

令和3年度 行事委員会活動報告

〇7/7 七夕 担当 小澤

→コロナウイルス感染予防のため、流しそうめんは中止。各階に笹の飾りつけと当日に七夕物語の紙人形劇を各階ごとに行う。

〇7/11 歌謡祭 担当 富田

→職員が扮装して歌唱し歌謡祭の雰囲気を楽しんでいただく。利用者もリクエストでカラオケを行い楽しめる。

〇8/11 /21 /25 夏祭り 担当 笠井

→コロナウイルスの影響で納涼祭の代わりとして各階ごとに日にちを分け開催する。午前中に食事会（うな井、ざるそば）午後からフロアに屋台（射的、ボーリング、魚釣り、かき氷）を設置し利用者を楽しんでいただく。お祭りの雰囲気がでていた。殆どの利用者が屋台を楽しめた。

〇9/12 敬老祝賀会 担当 田島

→コロナウイルス感染予防のため家族様は不参加、祝賀会は例年のように全体では集まらず各階ごとに新人の出し物を披露していく。各階飾り付けに力を入れ特別な雰囲気を感じていただけた。

〇12/11 /15 /22 忘年会 担当 佐藤

→コロナウイルス感染予防のため、各階ごとに実施。食事会と職員による余興を行う。

〇12/30 餅つき 担当 河野

→コロナウイルス感染予防のため、職員のみで行う。午後からエア餅つきのパフォーマンスを各階ごとに行い、利用者も掛け声で参加され餅つきの雰囲気を楽しまれる。

〇1/1 新年祝賀会 担当 市川

新年の飾り付けを行い正月の雰囲気を味わっていただく。各階ごとに獅子舞を披露し健康を祈る。

〇1/1~1/3 初詣 担当 藤井

→コロナウイルス感染予防のため初詣と初日の出の映像をプロジェクターで映し気分を感じて頂く。伊勢神宮の映像を見て昔を思い出されていた。又4階南フロアにスタッフが手作りで神社を作成し、手を合わされたりおみくじを引かれたりと初詣気分を味わっていただけた。

〇2/3 節分 担当 小澤 各階フロアにて豆まきを行う。

〇3/3 ひな祭り 担当 河野 4階と1階に雛人形を飾る。

〇3/13~3/20 作品展示 担当 阪本

→コロナウイルス感染予防のため、各階にて展示する。各階利用者作品展見学し写真を撮っています。

【1年間の振り返り・反省点】

本年度もコロナウイルスの感染拡大の影響があり、昨年と同様に遠足や納涼祭等の行事を中止としました。感染予防に取り組みながらも、できる限り利用者様に楽しめるように体験型の行事を開催しています。

引き続きコロナウイルスの影響が続くと思いますが、感染予防を続けながら利用者の笑顔が溢れる行事を企画してもらいたいと思います。

つどうホール

令和3年度 広報委員会活動報告

令和3年度の委員会目標

- 1 ご利用者の日々の様子をご家族に知っていただき、思い出作りのサポートを行う。
- 2 みささぎ新聞等を通して、法人の活動や取り組みをより多くの方に知っていただく。

○ 委員会開催日

5月21日（木）17:30~18:00

5月の委員会以外はコロナウイルス感染予防の観点から、委員長・副委員長が話し合い、各委員と個別で打ち合わせを行う。みささぎ新聞の掲載記事、かわら版の制作スケジュール等を確認した。

○ みささぎ新聞発行

掲載する写真について、同意書を確認し使用可能か細心の注意を行った。

3施設共通の題材ということで、つどうホールの特色が出せる記事を目指したが、他施設とよく似た内容になり工夫が足りなかった。

写真を多く使用し、読んで状況が伝わってくる文章作りを心掛けた。

○ かわら版

春・夏・秋・冬の年4回作成し掲示を行った。

面会に来られた家族様に見て頂けるよう、面会場所壁面に設置。

掲載する写真を増やすことで、より多くの方に特養入所者様の日々の様子を知っていただくことにつながった。

昨年度作成した掲示用フレーム使用により、きれいな状態で掲示することができた。

○ 写真販売・管理

今年度の写真販売はなし。

写真販売実績

	平成29年 度	平成30年 度	令和元年 度	令和2年 度	令和3年 度
枚数	96	116	71	0	0
金額	4,800	5,800	3,550	0	0

○ 活動 BLOG

瀬戸が担当。今年度はグループホームについての活動記事が多く、掲載内容に偏りがあった。来年度は各部署まんべんなく日々の様子をお伝えしたい。

コロナ禍で家族様が難しい状況の為、来年度は広報委員から、みささぎ新聞や活動 BLOG を通して利用者様の様子を多く発信していきたい。

令和3年度 環境衛生委員会報告

1. 大掃除実施状況

- ・ 4月21日（水）4階北フロアワックスと駐車場外周の草ひき実施。
- ・ 5月12日（水）溝掃除、草木伐採、北駐車場の溝実施。
- ・ 6月16日（水）3階北フロアワックス掛け実施。
- ・ 7月21日（水）2階フロアワックス掛け実施。
- ・ 8月18日（水）グループホームワックス掛けと全館モップ掛け実施。
- ・ 9月22日（水）4階北フロアワックス掛けと居室・モップ掛け全室実施。
- ・ 10月20日（水）3階北フロアワックス掛け実施。
- ・ 11月17日（水）グループホーム、2階排泄ケア室・フィルター掃除、換気扇実施。
- ・ 12月15日（水）グループホームワックス掛け・溝掃除、草抜き、靴箱実施。
- ・ 1月12日（水）4階北フロアワックス掛け 南フロアモップ掛け、排泄ケア室ワックス掛け実施。
- ・ 2月16日（水）3階北フロアと南フロア、全居室モップ掛け実施。
- ・ 3月16日（水）2階フロア・ケア室ワックス掛け実施。
- 空き時間を利用し清掃する事が出来るよう、掃除チェック表を作成。
- 外の大型ゴミボックス3台の清掃を各部署が協力して実施。

2. 毎月の避難訓練実施

- 5月26日（地震） 7月28日（浸水） 8月26日（自主訓練 日中） 9月3日（地震）
10月28日（地震） 11月24日（夜間想定） 1月27日（地震） 3月24日（自主訓練 夜間）
- 消防署立ち会いの避難訓練は新型コロナウイルス感染予防の為、自主訓練で実施。
 - 逃げ遅れ想定部屋の扉の手すりを赤のヒモ（ハチマキ）を結ぶ事で目印となるよう工夫。
 - 災害時に各階に連絡手順書が記入された袋を設置。
 - 訓練のマナーを防ぐ為、訓練が始まるまで火元を伏せた状態で訓練を実施。
 - 火災機器関係の取り扱い説明書の作成

3. 花壇管理

- ・ 季節に応じた苗や花を購入し花壇に植えた。水やりはヘルパー職員が中心に行った。
- ・ 職員用階段掃除は毎月環境委員のヘルパーが実施。

4. 次年度に向けて

- ・ 大掃除後の片付けを忘れないように計画書に担当者を記入する。
- ・ 空き時間で掃除ができるように清掃チェック表の作成を継続する。
- ・ 月一回、ゲストルームの掃除実施。

つどうホール

令和3年度 給食委員会活動報告

【活動内容】

- ・ 日頃から提供している食事内容について改善点や意見を話し合う。
- ・ コロナに関しての情報の共有と、実際に施設でコロナが確認されて際の施設の対応についての確認。
- ・ 各フロア内で行える食事会等の開催。
- ・ ソフト食の提供を実施し、今後献立に導入可能かの確認及び検討。

【委員会開催日】

第1回	R3.04/28	(水)	施設長	職員6名	テストィパル1名
第2回	R3.05/19	(水)	施設長	職員5名	テストィパル1名
第3回	R3.06/16	(水)	施設長	職員5名	テストィパル1名
第4回	R3.07/21	(水)	施設長	職員4名	テストィパル1名
第5回	R3.08/18	(水)	施設長	職員5名	テストィパル1名
第6回	R3.09/15	(木)	施設長	職員7名	テストィパル1名
第7回	R3.10/21	(木)	施設長	職員3名	テストィパル1名
第8回	R3.11/17	(水)	施設長	職員4名	テストィパル1名
第9回	R3.12/15	(水)	施設長	職員5名	テストィパル1名
第10回	R4.01/19	(水)	職員3名	テストィパル1名	
第11回	R4.02/16	(水)	施設長	職員5名	テストィパル1名
第12回	R4.03/16	(水)	施設長	職員4名	テストィパル1名

【食事会・行事】

毎月15日 松花堂弁当

お好み焼き 6月各フロアにて実施

ざるうどん・揚げたて天ぷら 7月各フロアにて実施

うな井・ざるそば 8月各フロアにて実施

敬老祝賀会 9/15

お誕生日メニュー(2階長井様) オムライス 9月各フロアにて実施

ピザ・たこ焼き 10月各フロアにて実施

お誕生日メニュー(2階松原様) 稲荷ずし 11月各フロアにて実施

目前調理 3階 とんかつ(11/22) 4階 ラーメン(11/25)

2階 クリームシチュー(11/26)

忘年会(すき焼き) 12月各フロアにて実施

クリスマス(クリスマスメニューの献立) 12/23

もちつき 12/30(ビデオ撮影して後で観賞)

年越しそば 12/31

おせち 01/01

ちゃんこ鍋 2月各フロアにて実施

お出したっぷりふわふわ卵焼き(目前調理) 3月各フロアにて実施

【変更点】

- ・給食委員会は毎月第3水曜日 15:30～ 4階南フロア
主任会終了後に実施 (固定)
- ・誤嚥リスクの軽減、食事に対する意欲向上、食事メニュー栄養価の向上を図る為に、10月より副食の食事形態がやわらか食・ミキサー食の利用者様を対象に主菜のメニュー(昼・夕)をソフト食に変更してお試し提供を開始する。
⇒嚥下状態、食事量等問題がないため来年度も提供・観察を継続する。
- ・介護報酬改善に伴い 週3回吉村栄養士が各フロア対象利用者の観察及び調整・相談支援を行う。委員会次第に毎月「GH利用者の栄養ケアについて」の項目を入れ、議事録にも検討した内容を記載する。

【改善点・課題】

○改善点

- ・4月 職員・利用者様のご飯の中に異物混入あり。(3回)
- ・6月 職員の小鉢の中から異物混入あり。
⇒厨房環境の改善及び清掃の徹底と予防を行う。
- ・06/27 配膳車の電源が切れており冷たいものを提供してしまった。
⇒毎回電源の入/切の入れ忘れが無いように確認を注意
- ・08/17のおやつ時キザミ・ペースト食の利用者様の方も全員あんみつで上がってきた。
⇒寒天は固く喉づめの可能性がある為今後はゼリーで提供を行う。
- ・02/01 卵の花でむせ込まれる利用者が多く見られた。
⇒既製品を使用しているので今後水分やトロミを使用して食べやすいよう調整
- ・02/15 アジの梅しそ焼きがパサパサで食べにくかった。
⇒加熱時間を調整して改善行う。
- ・カレーやハヤシライス時に盛り付けが早く、提供時に膜が張っていることがあった。
⇒盛り付け時間の調整を行う。
- ・主食のご飯が固い時がある。
⇒水の量を1.45倍から1.50倍に変更し対応。
- ・配膳時お盆が汚れている、汁物がこぼれていることがある。
⇒配膳時お盆の確認を行うと共に、今後新たに配膳者・お盆の購入を検討。

○課題

- ・今後も利用者がより美味しく安全に食事を楽しむ事が出来るよう栄養士を中心として、給食委員会から改善策の発信を行う事が出来るようにする。

令和3年度ボランティア委員会活動報告

【活動内容】

① 新規ボランティアの開拓

コロナ感染予防によるボランティア受入れ制限をしているなかで、新規ボランティアの開拓は出来なかった。

② クリーンボランティア(地域清掃活動)の定期開催

コロナ感染予防の為、不要不急の外出は避け実施はできなかった。

③ 納涼祭、茶話会の開催

コロナ感染予防の為、納涼祭や茶話会は実施できなかった。

【次年度に向けて】

・ワクチンの接種も進み、新しい生活様式の中でボランティアの受け入れをおこなっていく事も検討する必要性は感じている。感染予防対策を行いながら、オンラインなどを使った新しい形のボランティア活動の受け入れを考えていく必要があると思われる。去年度から川柳ボランティアでは、利用者がデイや自宅で作った川柳を職員がまとめ、先生にリモートで添削して頂き、プリントで発表するという形で実施した。利用者からは好評で、リモートでのボランティア活動での関わりの可能性は感じられた。他のボランティアでも検討したい。



令和3年度 リスクマネジメント委員会活動報告

<活動報告>

①アクシデントレポートについて、以下内容を実施

- ・アクシデントレポートのまとめ、表、グラフ入力（支援部報告書に別紙添付）
- ・各部署、各フロアへアクシデント後の対応、対策の周知。フロア会議にて周知。
- ・1週間後、実施した対策をフロアで話しあい、対策に不足や利用者の状況に変化があれば再度対策を考えアクシデントレポートに記入、主任・相談員に確認して頂き周知する。

②ヒヤリハットについて、以下内容を実施

- ・ヒヤリハットの書式は令和2年度の書式を使用。事例を各フロア一毎日出す事を促した。
- ・タの申し送りで報告、対策を発表することを1年間継続した。
- ・ヒヤリハットの集計について、委員が1か月分をまとめて集計。フロアでどのようなヒヤリハットがあったかを再認識し、フロアに注意点などを周知。

③重大事故についての振り返り、事故対策の見直し、再周知。

④リスクマネジメント内部研修

- ・リスクマネジメント委員で資料作成し、フロア会議（会議欠席者には個別に）にて写真を見てどういったリスクが考えられるかを話し合ってもらった。

⑤年間目標

- ・エレベーターの扉の閉まりきるまでの目視確認を全職員に周知行う。当初は気に掛ける職員が増えエレベーターが長時間フロアで空きっぱなしがなくなるメリットもあったが、年が明けたころには多くの職員が注意する事が減り目視せずに離れる場面増えている。

⑥月間目標

- ・各フロア持ち回りでその時に一番重要と思うリスクを考え目標と実施内容を決めリーダーに報告。フロア会議で周知する。啓発の為にポスターも掲示した。

⑤⑥を行う事で気を付けることで、防げる事故があると言う事に気付けた職員が増えた事は良かったが、一方では「リスク」と受け止めず注意事項を遂行しない職員もいる。今後も職員一人一人に啓発していく。

令和3年度 実習報告書

年間実習生の受け入れは、コロナ禍ではあるが、前年度比で実人数5名、延べ人数は50名増加。実習を行った学生に関しては、健康チェックを毎日行い、実習前2週間も体調変化がない事を確認した上で実習を行った。残念ながら、今年度の学生から法人採用はなかったが、オンライン実習など初めて試みている。四天王寺短期大学が、今春の2年生で学科を閉鎖するため、次年度が最終の実習生となる。実習生がどうホールでしか体験できないプログラムを作成し、現場スタッフと連携しながら、法人採用に繋がられるよう、実習生の気持ちや実習環境に配慮し、引き続き丁寧なコミュニケーションを行っていく。

(R3.4～R4.3 実習受け入れ実績)

	学校名	実人数	延人数
	大阪健康福祉短期大学	0	0
	四天王寺短期大学	5	77
	北大阪福祉専門学校	4	20
	関西福祉科学大学	1	1
	大阪国際福祉専門学校	0	0
	日本メディカル専門学校	1	9
	武庫川女子大学	1	24
	大阪人間科学大学	0	0
	平野高校	0	0
小計		12	131
1日平均		0.36	
訪問 介護	北大阪福祉専門学校	0	0
	四天王寺短期大学	3	15
	大阪健康福祉短期大学	0	0
	大阪国際福祉専門学校	0	0
小計		3	15
1日平均		0.04	
その他	職場体験(中学生)	0	0
	職場体験(社会人)	0	0
	大阪国際福祉専門学校(フィールドワーク)	0	0
	認知症実践リーダー研修	0	0
	認知症介護実践者研修	0	0
	介護等の体験(教員免許取得課程)	0	0
小計		0	0
1日平均		0.000	
総合計		15	146
1日平均		0.40	

大仙もずの音ケアプランセンター実績報告

<目標に対して>

○他事業所との信頼関係の構築

(評価)

包括を中心とした営業の実施、新規利用者依頼時の受け入れ、その他ケアマネ連絡会やケアマネ塾の参加を行い馴染みの事業所との関わりを持ち交流を図る。

○地域住民との関係づくり

(評価)

近隣の方からの相談、依頼に関してはすぐに対応、介護保険等の手続きやサービス等を手配し協力を行う。また必要に応じて間に入っている相談者へ経過報告を行い一方通行にならないよう対応を行なう。

地域住民の協力が必要な際は見守りや声掛けなどの出来る範囲での依頼も行い、双方にとってよい関係づくりが出来ている。

○民生委員と対面する機会を作る

(評価)

見守りが必要な認知症高齢者等の支援に地域包括を通じて民生委員と対面し、利用者の自宅で顔合わせや見守り、訪問の依頼を行いご利用者の異変等発生した際は連絡が取れる体制作りを行う。

○施設内の他部署との連携を強化する

(評価)

デイサービス、ショートステイのサービス事業所を中心にサービス依頼の相談を行い自法人サービス提供に向けた連携を図る。また営業やポスティングといった活動にも協力も行うことが出来ている。

○チーム力を高める

(評価)

毎日主担当を決め、中心となって動くことにより誰もが部署全体に関わることが出来るようにしている。また役割分担を決め各自役割を持って仕事をしていること、利用者の新規依頼時の受け持ち相談、受け持ち利用者の情報共有が必要な方の情報共有をし、担当ケアマネが不在時でも対応出来る協力体制で業務にあたっている。

○コロナ禍での対応

(評価)

ご自宅訪問の際はご利用者へのマスク着用の依頼、アルコール消毒、短時間での訪問を心がけ訪問後は手洗い、うがい、消毒の実施を行い感染予防に努める。

<請求について>

(目標値) 3月末までに1人40件。介護報酬145万

(実績) 3月末までの平均実件数 132.5件、1人平均 44.1件。新規は月平均3.8件であった。

(実績) 請求額毎月平均約123万円を請求。

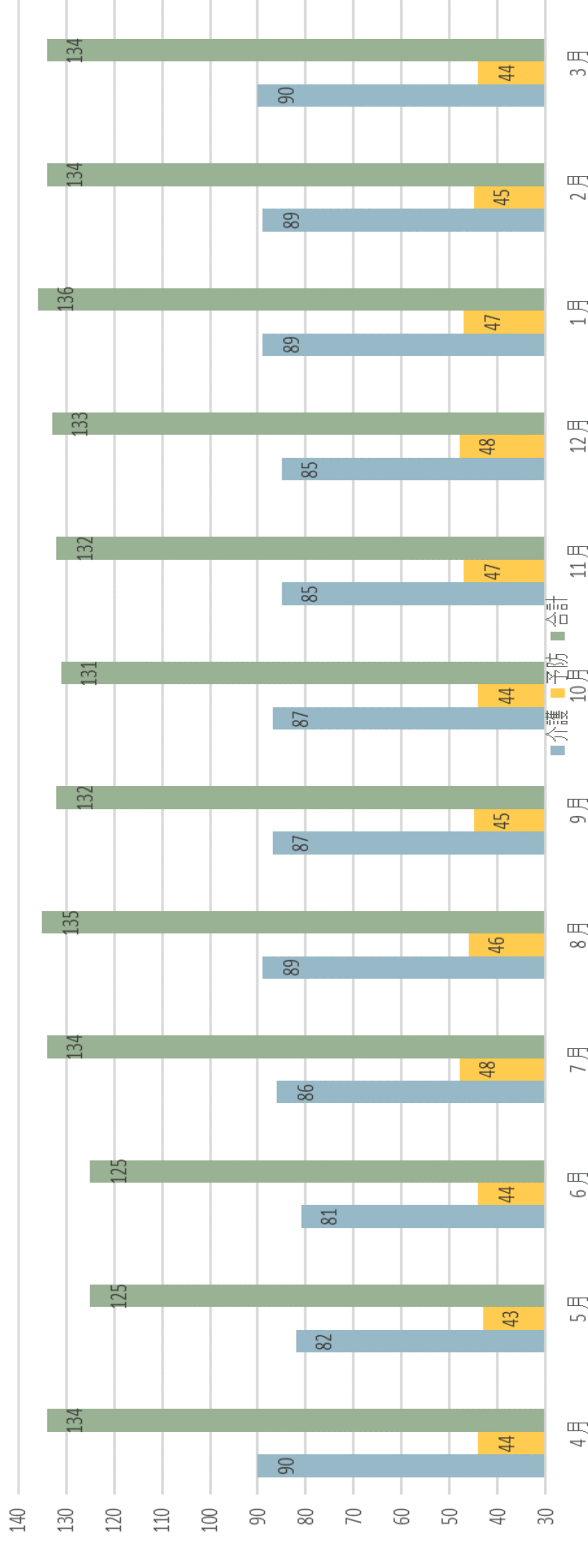
(評価) 新規依頼件数も月によっては差があるものの受け入れが出来ている。しかし終了者も毎月数件あることから総合的に見ると同じぐらいの数となっているため受け持ち件数の維持が出来ている。

<総括>

コロナ禍が継続し、積極的な活動というものが行われにくい中でも他事業所とオンラインでの関わりや近隣の方、民生委員といった方々とも昨年に比べると多く関わる機会が出来ていた。

また新規対応件数は昨年と変わらない数を受け入れ出来ており、持ち件数は常に40件以上、介護報酬についても6月以降は毎月目標値を達成出来ており、今年度は各目標値の達成、維持を意識することが出来ていた。しかし自法人サービスであるデイサービス、ショートステイの紹介率は達成出来ておらず、低迷している状態である。原因の1つとして、医療系サービス、運動が出来るサービスの依頼が多く、ADLの維持に目を向けたサービスの希望が増えている。自法人サービスの紹介についてはケアプランセンターだけで解決出来ない問題もあるため、今後は各部署ともどのような方向性でサービスの提供を実施していくか検討していく必要はある。

次年度も引き続き地域に貢献出来るケアプランセンターとして、新規対応は基本お断りすることなく対応を行い、利用者が希望するサービスの提供が円滑に提供出来るよう取り組んでいく。



列1	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	90	82	81	86	89	87	87	85	85	89	89	90	1040
予防	44	43	44	48	46	45	44	47	48	47	45	44	545
合計	134	125	125	134	135	132	131	132	133	136	134	134	1585
新規利用者数	5	5	1	3	6	2	3	4	6	2	5	3	45
介護請求金額	1114767	1118008	1023799	1074654	1267588	1118928	1198698	1109674	1079238	1122188	1175751	1236105	13639398
予防請求金額	188597	181761	192086	215092	185988	196313	189037	213914	208994	195863	195863	185548	2349056
特定事業所加算	0	0	335335	352744	418069	374444	375249	374619	365819	375105	387506	413630	3772520
合計	1303364	1299769	1551220	1642490	1871645	1689685	1762984	1698207	1654051	1693156	1759120	1835283	19760974

【事例紹介】

人の受け入れを警戒し、サービスの利用が困難であった認知症高齢者夫婦が施設入居するまで。

【名前】 ご主人：〇A様 奥様：〇A様

【利用サービス】

通所介護 せせらぎ優ゆ～デイサービス ご夫婦とも週1回
訪問介護 ケア21堺事業所 ご主人：週5回 奥様：週1回

【主治医】 ご主人：堺市立総合医療センター
奥様：なかしまクリニック

【家族構成】 二人暮らし
長女：兵庫県伊丹市在住
次女：堺市中百舌鳥在住

【ADL】 自立。

【移動】 自立。

「食事」 自立。自炊することなくお弁当など購入していた。

「排泄」 自立されているが排泄の失敗や不衛生な状態にも関わらず下着の交換は出来ていない状態。

「入浴」 数か月入浴出来ていない。

「掃除」 全く出来ておらず、自宅のキッチン、脱衣所、浴室に大量のゴミが散乱している。

長女様より2年前に堺第2地域包括支援センター（以下、包括）へ両親の物忘れについて電話相談されているがその後は連絡なし。その後コロナ禍であったこともあり長女・次女様ともに訪問は控えていたためお二人のご様子については把握出来ていなかった。

令和3年11月に地域ケア推進課より奥様が迷子になり警察に保護されたと包括へ連絡が入り、令和3年12月長女様から再度相談の電話が入り、介護保険の手続きを進めることとなった。またご主人の主治医である堺市立総合医療センターからも包括へ連絡があり、処方箋を薬局に出していなかったり服薬も出来ていない様子だと報告を受けている。

包括も自宅へ訪問しているが中には入れてもらえず、ご夫婦そろって受け入れの拒否が強い。娘様もしばらく自宅へ訪問を行っていなかったため、ご夫婦の様子の変化に気づかず、気づいた際は認知症の進行により身の回りの管理が出来なく、大量のゴミが自宅内に散乱し入浴も出来ていない、着替えも全く出来ず異臭がしている状態となっていた。

またご主人に関しては令和4年1月転倒により一時入院されていたが2度ほど病院より離院されている。

<支援経過>

(R4. 2. 1 電話相談)

堺第2地域包括支援センターM様より連絡あり。
田出井町在住のご夫婦について担当の依頼が入る。

ご主人⇒転倒により現在邦和病院に入院されている。来週ぐらい退院予定。
奥様⇒1人での生活が難しく緊急ショートまたは入院等検討中。
詳しいことわかり次第、再度連絡が入る予定。

(R4. 2. 1 2 電話相談)

長女様より連絡あり。
2/17(木)に訪問予定をしていたが先日自宅へ行った際にご主人が失禁をされていた。
今すぐにもでもヘルパーさんを入れて頂きたいとの依頼あり。
一度もお会いしたことがないため2/14(月)の午前中に訪問させて頂くことので承得る。

(R4. 2. 1 2 電話連絡)

堺第2包括M様へ訪問日程の変更に伴いご夫婦の情報を願うが以前、包括側は訪問の受け入れをご夫婦から拒否されておりご夫婦のADL等の情報が不明な状態となっている。

(R4. 2. 1 4 自宅訪問)

娘様から事前に人の受け入れを警戒されるため役所から来たということにしてほしいと依頼があり対応するとご夫婦は快く自宅へ招いて下さる。(娘様の同席はなし)
自宅内には至るところに大量のゴミが散乱しており、ご主人に関しては訪問時よりかなりの尿臭があり、上下衣類が尿と便汚染されておりお布団も便汚染が見られている状態である。
またご夫婦から聞き取りを行うが自身の家族構成も答えられない、状況の把握が出来ていない発言が目立つ。また訪問後は包括が手配したデイサービスの体験利用を予定しているが衣類汚染がありこのままではデイサービスへ行ける状態でないため、更衣をして頂いた。本人様、奥様ともにデイサービスの体験利用へ行くことは笑顔で了承され準備も済ませデイサービスが迎えにくる10分前に訪問終了とした。

(R4. 2. 1 4 電話連絡)

堺第2包括のM様より、本日デイサービスがお迎えに行くがご夫婦とも「そんなことは聞いていない、なぜそんなところにいかなくてはならないのか」と激怒されており体験利用は中止となったと連絡が入る。

(R4. 2. 1 6 訪問介護の依頼)

近隣のケア21堺事業所へ訪問介護の依頼を行う。
依頼内容としてはご主人の身の回りの管理、排泄の促し、汚染時は更衣の促しを行って頂きた

いと長女様からの希望である。

(R4. 2. 22 担当者会議)

翌日からサービス利用開始にあたり担当者会議の実施、また先日体験利用が出来なかったデイサービスへ再度体験利用を行ってもらい入浴をして頂くためデイサービスにも依頼を行い、ヘルパーの送り出しの対応の手配を行う。

(R4. 3. 2 デイサービス体験利用)

ヘルパーの送り出しによりデイサービスの体験利用をされる。入浴に関しては特に奥様の拒否が強く見られていたがデイサービス側も工夫を凝らしなんとか入浴をしてもらうことが出来た。またデイサービスへ様子を見に伺うがビンゴゲームをご夫婦で参加されており特に奥様のほうが楽しそうに参加されている。

(R4. 3. 16 デイサービス利用開始)

ご夫婦とも利用することは出来たものの奥様の入浴拒否が強く、ご主人に促してもらうが奥様が拒否の発言をするとすぐに諦められ入浴は行えず。

訪問介護については時々自宅に入れてもらえずサービスが提供出来なかったこともあり。

またサービスを実施しても奥様が常に目を見張っているご様子で、物に手を触れると自身で出来るから触らないでほしいとなかなかサービスが進まず。

(R4. 3. 17 電話連絡)

長女様より連絡あり。

3/27ぐらいに老人ホームへの入所が決まったと連絡が入る。

(R4. 3. 27 電話連絡)

老人ホームのサービス提供責任者より連絡あり。本日ご夫婦とも老人ホームへ入所される。

また施設入所に関しては全く本人様たちに話されることなく入所され、奥様は表情も厳しく、すぐに外へ出て行こうとされ、ご主人もスイッチが入ると関わりが難しく、紹介会社からの紹介であるが紹介会社側もこのような関わりが困難であることを娘様からは全く聞いていなかった、困難事例に該当するような方であると主張されている。

4月からは施設のケアマネジャーとなり担当交代となる。

<総評>

ご夫婦は人との関わりがなく、娘様たちともこの1~2年ほぼ関わりはなかった。

そのためご夫婦の生活状況の把握が行われず、気づいた際は認知症の進行もあり自宅や身の回りの管理も出来ず不衛生な状態となっていた。

今回の事例では人との関わりがなかったため様子の変化、対応の遅れが生じ、急遽介護保険サービスの利用や施設入居といった対応をおこなったがご夫婦とも自身の状況の把握が出来ないため受け入れに強い抵抗があり、今後認知症の専門外来の対応など認知症に対する支援が必要かと思われる。

生活支援部実績報告

〈令和3年度の目標〉

「ご利用者1人ひとりの個性や生活を尊重し、自分の思いや考えを選択しながら、個々の生活スタイルに合った、安心安全な暮らしを送って頂けるように支援する。」

「新型コロナウイルス感染症予防を徹底し、ご利用者に末永く健康な暮らしを送って頂く。」

〈数値目標〉 稼働率 99.0% 〈結果〉 稼働率 99.02%

令和2年度に続き、ご利用者が新型コロナウイルスに罹患されない事を一番に考え、感染症予防対策を続けた一年であった。職員の数名がコロナウイルスに罹患し、自宅療養を余儀なくされる事もあったが、ご利用者にコロナウイルスの感染が無かったことが幸いであった。

少しでも熱がある職員には速やかにスマホPCR検査を活用し、感染有無の早期確認に努めた。また、ご利用者とご家族が近距離で接する面会を避ける為に、ご家族に、フロア内に入る事を原則禁止させて頂く対応を今年度も取らせて頂き、施設のタブレット端末とご家族のスマートフォンを活用してのビデオ面会や、パーテーション越しでの面会を継続し、飛沫感染防止に努めた。キーパーソンのご家族に対し、約10日ごとの電話での近況報告も継続し、面会制限を取らせて頂いている中でも、少しでも安心して頂けるように努めた。

面会制限を取らせて頂き2年が経過したが、1年を通してご利用者のコロナウイルスの感染が無かったことは、ご家族のご理解とご協力があったの事だと思う。

令和3年度は、下記3つの重点項目を設け、取り組みを行った。

① 認知症高齢者が快適・安心して過ごせる環境を作る

PEAP（認知症高齢者への環境支援の指針）の考えに沿って、フロア、居室の住環境の見直しを行うこととした。3階フロアで取り組んだ、PEAPの見当識への支援、機能的な能力への支援、自己選択への支援の3つが相まった事例を紹介する。

3階フロアでは、生活にメリハリが生まれるように、食事席と余暇を過ごすスペースをフロア内で分ける事をテーマとして、しつらえを行った。余暇スペースには、ご利用者が気軽に、ご自身の意思で楽しんで頂けるように、本や雑誌、ぬり絵の用紙、漢字や計算問題集等の教材を準備し、手に取りやすい場所に設置した。ご利用者が、自身が興味のある教材を手に取り、好きな時間にぬり絵や計算問題等の活動に取り組まれる姿を見ることができた。今までは、職員のタイミングで、教材やツールを提供していたが、ご利用者の意思で、取り組む時間、取り組む教材やツールを選択する事ができる環境となり、自己選択への働きかけが成功したと思われる。

また、ご利用者のT・F様だが、食事以外はソファやリクライニングチェアに座って過ごして頂いているが、食事時間の為、余暇スペースから食事席へ移動し、椅子に座って頂くと、本氏よ

り「もうご飯か？」との発語が聞かれた。余暇スペースから、椅子に移り座った事で、食事の時間だと認識をされたと思われる。生活のメリハリが付いたことと、見当識への働きかけが上手く繋がったエピソードとなった。

ご利用者 S・Y 様に、食事時の日課として、フロアで炊いたご飯をよそって頂いている。写真の通り、2つのテーブルの間に炊飯器を設置し、S・Y 様はテーブルの間に立ち、「あんた、ご飯はこれくらいの量でいいか？」と、テーブルに座る他のご利用者にご飯の量を確認しながら、お茶碗を手渡す姿が見られた。2つのテーブルを挟んで炊飯器を設置しているだけだが、同テーブルのご利用者とのコミュニケーションも図りやすく、お茶碗を手渡す動作も容易であり、残存機能の活用と、日常生活におけるご利用者の役割の継続が成功した事例であった。

両フロアに鏡付きのパウダースペース設置し、車椅子の方でも顔を見て整容をして頂ける環境を整えた。ご利用者の U・S 様は、自ら車椅子でパウダースペースまで移動し、自身でヘアブラシを手に取り、髪の毛を整えられる姿が見られた。適切な環境を整えることで、ご利用者自身の力で整容され自立支援に繋がった。



②ケアプランを活かした、統一されたケアの提供

ご利用者一人ひとり、趣味や性格、生活スタイルに沿った個別的、具体的なケアプランを作成することを目指した。

2カ月程度の期間を設け、2回に渡ってフロアごとにケアプラン勉強会を実施した。

1回目の勉強会は、ケアプランの意義・目的の説明を行い、2回目の勉強会では、各フロアのご利用者お一人を選定し、人間の生活行為の基本である、環境・心理・機能の視点を基に物事を考え、アセスメントの作成・ケアプランの立案までを、職員で話し合いながら実施した。

ケアプランを立案するにあたり、ご利用者を深く知ることが大切である。ご利用者の情報を、できるだけ多く具体的にアセスメントすることを、参加者全員に宿題とした。2回目の勉強会の際に、具体的に作り上げたアセスメントシートを基に、ご利用者の課題・趣味や好きな事等、様々な情報を出し合いながらケアプランの立案を行った。

ケアプランの意義・目的、ご利用者の趣味・嗜好・ADL・生活背景を理解した上で、環境面・心理面・機能面から物事を捉え、ケアプランを立案することができ、ご利用者一人ひとりに添った、個性のある個別ケアプランが大切であるとの理解が職員間で深まった。

③『目標、1日10名ケア』を目標に業務プログラムを見直す

ユニットケアの理念では、職員とのなじみの関係を築いていく事の観点から、同じ職員が、同じユニットで業務に当たる事が大切であると言われている。しかしながら、各フロアの業務プログラムは、午前中は東フロア業務、午後からは南フロア業務を行うなど、1日の中でも両フロアを兼務するプログラムとなっている現実があった。

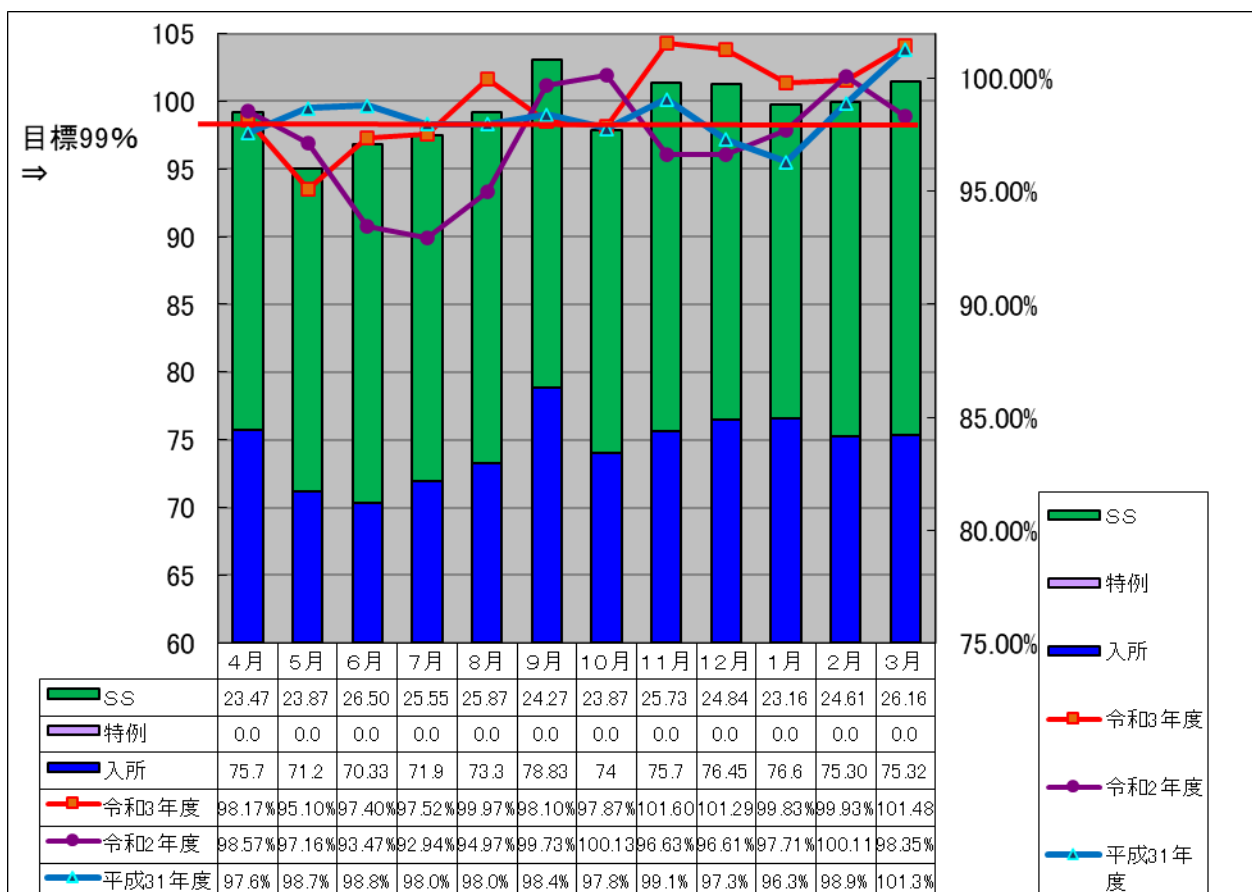
満遍なく、フロア20名のご利用者の事が理解できる反面、ご利用者にとっては、職員が入れ替わることで、混乱を招く可能性や、連続したケアが行えないとの側面もある。

フロアリーダーが、業務プログラムを整理し、片方のユニットで8時間連続した勤務になるように調整を行い、実践できているフロアもあれば、一部、両フロアを兼務するプログラムとなっているフロアも引き続き見られており、今後の課題として残った。

今後より一層、外国人労働者や高齢者の雇用・短時間勤務者の採用などあらゆる介護士の参入が加速することが予測される中、職員がご利用者の情報を整理して働きやすい環境を整えていくことが求められる。

○年間実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
入所実人数	80	76	78	78	78	77	78	81	79	80	80	79	944
新規入所者数	1	2	2	3	2	1	2	3	0	1	0	2	19
退所者数	2	3	2	2	3	1	1	1	1	0	0	3	19
延べ入所者数	2241	2208	2110	2231	2273	2215	2292	2271	2370	2376	2109	2335	27031
延べ措置入所	0	0	0	0	24	0	2	5	0	0	0	0	31
延べショート	704	740	812	792	802	728	740	772	770	718	689	811	9078
入所1日平均	74.7	71.2	76.0	72.0	73.3	73.8	73.9	75.7	76.5	76.6	75.3	75.3	74.1
特養1日平均	98.17	95.10	97.40	97.52	99.97	98.10	97.87	101.60	101.29	99.81	99.93	101.48	99.02
稼働率(定員80名)	93.3	89.0	87.9	89.9	91.6	92.2	95.5	94.5	95.5	95.7	94.1	94.1	92.8
稼働率(定員100名)	98.17%	95.10%	97.40%	97.52%	99.97%	98.10%	97.87%	101.60%	101.29%	99.81%	99.93%	101.48%	99.02%



○令和3年度) 実績99.02% (目標99.0%)

一時期コロナウイルス感染症予防対策に伴い、ショート利用者の受け入れ制限を設け実績が低下したが、通常運用後、急ショート利用の依頼はオキュペを活用し断ることなく受け続けた結果、実績目標を達成できた。

特養入居者の入院について、令和2年度の入院者数は36名。入院実日数は1562日。今年度の入院者数は43名。入院実日数は1585日。昨年度と比べて入院者数は多いが、入院実日数に大差は無かった。ショート利用者の延べ人数が、令和2年度は8021名。今年度は9061名であったことから、ショート利用者で空床ベッドをカバーできたことが分かる。

次の入所候補者の選定と、入院ご利用者の様子伺いをこまめに行い、引き続き、速やかな入所に繋がられるよう努めていく。

OADL 状況

	視力		聴力		言語		食事		移動方法			移乗入浴着脱					排泄					認知症																					
	普通	弱視	全盲	やや難聴	難聴	普通	軽度障害	重度障害	自立	要介助	全介助	自立			自立	要介助	全介助	自立	要介助	全介助	自立	要介助	全介助	昼間			夜間			トイレ誘導	重度	中度	軽度										
												補助具使用	車イス使用	要介助										トイレ	ホーグル	オムツ	トイレ	ホーグル	オムツ														
																																		自立	要介助	全介助	自立	要介助	全介助	自立	要介助	全介助	
2階	12	0	0	9	3	0	8	4	0	7	1	4	0	2	2	8	2	5	5	0	6	6	0	7	5	1	6	0	0	0	0	5	1	0	0	0	1	0	9	6	3	5	4
3階	17	0	0	14	3	0	12	3	2	11	2	4	3	1	3	10	4	4	9	1	9	7	2	8	7	3	6	1	0	0	0	7	2	2	0	0	0	0	12	9	3	4	10
4階	15	1	0	11	4	1	12	4	0	10	1	5	2	2	3	10	5	4	7	2	7	7	2	8	6	4	3	3	0	0	0	6	3	2	0	1	1	0	8	4	2	7	7
5階	10	2	0	10	1	1	7	3	2	6	1	5	0	2	1	9	0	4	8	0	5	7	1	5	6	1	6	0	0	0	0	5	1	1	0	0	0	0	9	4	3	3	6
6階	18	0	0	15	3	0	15	1	2	10	2	6	1	2	3	12	3	7	8	0	9	9	3	4	11	3	7	2	0	0	0	6	3	3	0	0	0	1	10	4	3	7	8
合計	72	3	0	59	14	2	54	15	6	44	7	24	6	9	12	49	14	24	37	3	36	36	8	32	35	12	28	6	0	0	0	29	10	8	0	1	2	1	48	27	14	26	35
(男性)	12	0	0	9	3	0	10	2	0	9	1	2	0	1	4	7	5	5	2	0	9	3	1	8	3	3	5	2	0	0	0	2	3	1	0	0	0	0	7	5	1	5	6
(女性)	60	3	0	50	11	2	44	13	6	35	6	22	6	8	8	42	9	19	35	2	27	33	3	24	32	9	23	4	0	0	0	27	7	8	0	1	2	1	41	22	17	21	29

○年齢・介護度別人口

	項目	男性	女性	合計	備考
年齢	60歳未満	0	0	0	最高齢
	60～69歳	0	1	1	男性 98歳
	70～79歳	1	7	8	女性 98歳
	80～84歳	4	8	12	最若齢
	85～89歳	3	17	20	男性 79歳
	90～99歳	5	33	38	女性 66歳
	100歳以上	0	0	0	平均年齢88歳
	合計	13	66	79	男性88歳 女性88歳
要介護度	要介護1	0	0	0	
	要介護2	1	3	4	平均介護度 4.1
	要介護3	0	5	5	
	要介護4	11	28	39	男性 3.9
	要介護5	2	29	31	女性 4.3
	合計	14	65	79	
在所期間	1年未満	5	13	18	
	1年以上3年未満	5	21	26	平均在所期間 1255日
	3年以上5年未満	3	11	14	
	5年以上10年未満	2	19	21	男性 1012日
	10年以上15年未満	0	0	0	女性 1310日
	15年以上	0	0	0	
	合計	15	64	79	

○退所者状況

帰宅	他施設入所	病院にて入院	死亡	その他	合計
2	0	8	8	1	19

○理美容状況

実施回数	延べ利用者数	月平均利用者数
54	402	35

○入浴状況

	対象者数	開設回数	一日あたりの 人数	一人あたりの 回数(週)
個浴	45	1065	4.2	2
ひば	5	99	5.0	
チェア浴	23	720	3.1	
特浴	12	306	3.9	

○見学者状況

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

○面会状況

		24回以上	23~12回	11~6回	5~3回	2回	1回	なし	一人平均	延べ回数
面会状況		0	3	15	5	9	13	25	3	232
外泊状況		0	0	0	0	0	0	0	0	0
外出	家族	0	0	0	0	0	3	74	-	3
	ホーム	0	0	0	0	0	0	80	-	0

○ボランティア活動状況

	フラワー
実施回数	11
延べ実施人数	220

○年間行事

4月	13日	オンブスマン	21日	4階誕生会
	15日	6階誕生会	23日	6階食事会(テラス)
	16日	3階食事会(テラス)	24日	2階誕生会
	17日	5階誕生会		
5月	19日	4階誕生会	24日	6階誕生会
	21日	4階食事会(焼き鳥)	26日	2階誕生会
	22日	3階誕生会	29日	5階誕生会
6月	12日	5階誕生会	26日	2階誕生会
	24日	6階誕生会	27日	内田様109歳誕生日会
	25日	5階食事会(天ぷら)		
7月	7日	4階流しそうめん	17日	フラワーアレンジメント
	8日	6階誕生会	24日	2階誕生会
	14日	4階誕生会	28日	3階誕生会
			29日	5階夏祭り
8月	7日	3階おやつレク(ゼリー)	21日	フラワーアレンジメント
	12日	6階誕生会	25日	5階誕生会
	15日	3階おやつレク(かき氷)	26日	3階誕生会
	17日	3階夏祭り	30日	2階夏祭り
	20日	6階食事会(お好み焼き)	31日	5階おやつレク(かき氷)
9月	4日	4階花火大会	18日	4階誕生会
	6日	6階花火大会	24日	2階誕生会
	12日	2.3階敬老祝賀会	26日	4.5.6階誕生会
	15日	4階誕生会		
10月	6日	4階誕生会	29日	3階誕生会
	22日	2階食事会・誕生会	31日	3階おやつレク
	27日	4階秋祭り		
11月	4日	6階誕生会	20日	4階食事会
	10日	6階秋祭り	24日	5階食事会
	13日	フラワーアレンジメント	24日	2階誕生会
	17日	4階誕生会	27日	3階誕生会
12月	4日	フラワーアレンジメント	21~23日	ゆず湯
	12日	6階誕生会	25日	クリスマス会
	15日	3階新年会(カニ鍋)	28日	もちつき
		2階誕生会		
18日	3階誕生会			
1月	1日	新年祝賀会	13日	6階新年会
	2日	書初め	15日	5階誕生会
	7日	七草粥	29日	フラワーアレンジメント
	9日	初詣		
2月	10日	2階誕生会	16日	4階誕生会
	26日	フラワーアレンジメント		
3月	12日	2階誕生会	19日	4階誕生会
	16日	5階誕生会	23日	3階誕生会
	17日	6階誕生会	26日	フラワーアレンジメント

○事故報告

	氏名	フロア	日時	場所	状況	症状
1	K・N氏	4階東	4/5 10:50	フロア	車イスよりズリ落ち。	外傷なし。
2	T・S氏	4階東	4/10 15:00	居室	ベッド柵を乗り越え歩行されていた。	右膝内側内出血。
3	T・I氏	5階東	4/12 6:50	居室	居室ドアの敷居でつまづかれ転倒。	左肩痛みあり。
4	S・S氏	3階南	4/21 18:40	居室	車イスよりズリ落ち。	左大腿部痛み。
5	Y・O氏	2階南	4/25 8:30	居室	上着の襟元より薬発見。	
6	N・K氏	6階東	4/29 7:00	フロア	木イスごと転倒。	外傷なし。
7	S・M氏	4階東	5/4 10:20	寮母室	薬箱の中に眠前薬がのこっているのを発見。	
8	T・S氏	6階東	5/8 12:05	フロア	屋食時のど詰めしかける。	外傷なし。
9	S・M氏	2階南	5/11 11:15	居室	ベッドよりズリ落ちされる。	臀部痛みあり。
10	A・T氏	6階東	5/15 14:35	居室	トイレ時に動き出され転倒される。	外傷なし。
11	K・I氏	4階東	5/17 18:40	フロア	排便でていたが、下剤を服用してしまった。	
12	N・Y氏	2階東	5/20 3:45	フロア	フロアで動き出され転倒。	右脛より出血。
13	S・O氏	4階東	5/25 15:30	入浴場	臀部洗おうとした際前方に転倒。	左膝に数か所剥離あり。
14	T・S氏	6階東	5/29 5:55	フロア	歩行中に転倒。	両膝・右下肢外側内出血。
15	A・T氏	6階東	5/30 14:00	フロア	車イスより立ち上がり転倒。	背部に赤みあり。
16	M・T氏	3階東	6/1 5:30	居室	ベッドから転落。	右腕痛みあり。
17	T・I氏	4階東	6/1 14:20	フロア	フロアでレク中に転倒。	外傷なし。
18	S・S氏	3階南	6/10 0:05	居室	居室ベッドよりズリ落ち。	外傷なし。
19	T・M氏	5階東	6/9 5:03	居室	居室ベッドよりズリ落ち。	外傷なし。
20	T・S氏	4階東	6/11 18:15	フロア	イスに座ろうとした際にすわりそこねる。	外傷なし。
21	T・S氏	6階東	7/3 8:03	フロア	朝食時パンをのど詰めされる。	意識戻らず永眠。
22	S・F氏	2階南	7/13 14:45	居室	ベッドから車イスへの移乗時に座り損ねずり落ち。	右足第一指の爪ケガ。
23	H・I氏	4階南	7/28 20:00	フロア	フロアゴミ箱より未開封の眠前薬を発見。	
24	Y・U氏	2階東	8/16 11:20	居室	車イスから立ち上がり時にバランス崩され転倒。	外傷なし。
25	K・I氏	5階東	8/26 12:10	フロア	食前薬配薬前に食事を提供。	
26	F・S氏	3階東	8/27 19:25	居室	ベッドからズリ落ち。	右上腕骨骨折。
27	H・N氏	4階東	8/30 12:30	フロア	車イスクッションの中身を口にいられていた。	飲み込む前のため受診なし。
28	T・S氏	5階東	9/2 9:40	居室	トイレ内で転倒している所を発見。	左臀部に痛みあり。
29	K・F氏	5階東	9/4 5:57	居室	ベッド下で左側臥位に転倒。	左側頭部亀裂。
30	M・K氏	3階東	9/13 16:50	フロア	車イスから立ち上がろうとされ転倒。	臀部に発赤。

31	M・T氏	6階東	9/30	18:20	居室	居室内で転倒している所を発見。	外傷なし。
32	H・A氏	4階東	9/30	10:40	フロア	居室に戻ろうとされた際にバランスを崩し転倒。	外傷なし。
33	N・M氏	2階東	10/3	11:15	フロア	チルト式車イスより転落。	左こめかみ打撲。
34	M・H氏	3階南	10/7	15:20	居室	居室内で尻もちつかれる。	外傷なし。
35	H・N氏	5階南	10/7	12:20	フロア	フロアで過ごされている際木イスごと後方に転倒。	頭部打撲。
36	M・F氏	4階南	10/8	14:00	居室	服を着ようとした際にバランスを崩し転倒。	右わき腹打撲。
37	E・S氏	4階南	10/12	3:40	フロア	移動時にバランスを崩し転倒。	外傷なし。
38	M・S氏	6階南	10/14	7:20	居室	トイレ内で転倒している所を発見。	外傷なし。
39	M・S氏	6階南	10/22	17:40	居室	車イスに移乗時ブレーキをかけていなく転倒。	左手第5指内出血。
40	M・F氏	4階南	11/28	13:50	フロア	独歩にて移動時バランスを崩し転倒。	右肘・臀部打撲。
41	M・K氏	3階東	11/28	17:15	フロア	トイレに行こうと立ち上がり時バランスを崩し転倒。	左側頭部打撲。
42	M・T氏	6階東	12/2	8:15	フロア	独歩にて移動時バランスを崩し転倒。	右わき腹打撲。
43	Y・M氏	4階南	12/4	2:30	居室	居室内で転倒している所を発見。	外傷なし。
44	S・O氏	5階東	12/10	7:15	居室	ベッドよりズリ落ちしている所を発見。	外傷なし。
45	Y・U氏	2階東	12/10	14:00		14時の食間薬服用忘れ。	
46	H・H氏	2階東	12/29	9:00	居室	洗面所からトイレに行こうとされ、転倒される。	右側頭部打撲。
47	M・O氏	6階東	1/2	22:30	居室	オムツ交換時に暴れられベッド柵で打撲。	左全額部裂傷。
48	M・O氏	6階東	1/3	23:20	フロア	フロア内歩行時バランスを崩し転倒。	左腰部打撲。
49	S・S氏	4階南	1/5	11:00	居室	ベッドより転落。	外傷なし。
50	M・F氏	4階南	1/12	8:00	居室	居室内でバランスを崩し転倒。	腰椎圧迫骨折。
51	F・U氏	5階南	2/7	9:15	フロア	チルト式車イスより転落。	外傷なし。
52	T・I氏	2階南	2/9	15:30	フロア	車イスよりズリ落ち。	外傷なし。
53	S・S氏	4階南	2/11	22:00	居室	オムツ交換時に右肘全体に内出血あり。	右肘骨折。
54	Y・U氏	2階東	2/13	12:55	居室	居室内でタンスの中を整理しようとした際にズリ落ち。	外傷なし。
55	S・T氏	6階東	2/16	21:08	居室	トイレ行こうとした際にズリ落ちされる。	右足第1指痛みあり。
56	H・I氏	4階南	2/18	15:50	フロア	立ち上がりしようとした際にバランスを崩し転倒。	外傷なし。
57	F・T氏	4階東	2/28	3:30	居室	トイレ前で転倒している所を発見。	額・口唇に腫脹あり。
58	M・O氏	5階東	3/4	12:20	フロア	フロアの窓よりベランダにでている所を発見。	外傷なし。
59	F・T氏	4階東	3/4	8:00	フロア	木イスへの移乗時にバランスを崩し転倒。	鼻骨骨折。

○骨折等の甚大な怪我となった事故の件数（堺市へ報告した事故）

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
骨折	2	5	2	3	3
縫合	0	0	0	2	0
誤嚥	1	1	1	1	0
合計	3	6	3	6	3

特別養護老人ホーム大仙もずの音

ショートステイ実績報告

ショートステイ（介護保険）月別利用実績集計表 【令和3年4月～令和4年3月】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	51	48	54	52	59	63	59	60	59	48	51	60	664
延べ利用者数	704	740	795	792	802	728	740	772	770	718	689	811	9061
開設日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
1日平均利用者数	23.47	23.87	26.5	25.55	25.87	24.27	23.87	25.73	24.84	23.16	24.61	26.16	24.82
ベッド数	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
稼働率	117%	119%	133%	128%	129%	121%	119%	129%	124%	116%	123%	131%	124%
緊急一時利用者数	0	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0	5
緊急一時延べ利用者数	0	0	0	0	24	7	2	5	0	0	0	0	38
100床稼働率	98.17%	95.10%	97.40%	97.52%	99.97%	98.10%	97.87%	101.60%	101.29%	99.81%	99.93%	101.48%	99.02%

特養全体（100床）の年間実績は、99.02%となり目標を達成できた。

上半期、4月途中までは実績安定していたが、終盤に新型コロナウイルス関連が発生し、入院やショートステイ利用キャンセルの空床が解消できず、5月も新規や問い合わせが激減し実績低迷することとなった。6・7月から徐々に回復し、8月は新規や問い合わせ件数も多く実績安定する。9月は新規や問い合わせ件数は多く続くが、ロングショート利用者に入院者が発生し実績低下する。

下半期、11月頃から新規ロングショート利用者1名開始したこと、安定してキャンセル待ちを確保し、空床発生時に補うことができるようになったこと、緊急の依頼時にはオキュペーションアルームを活用したことなどにより実績を安定させることができた。

今後も実績を継続的に安定させるには、キャンセル待ちを5名以上確保していること、近いうちにショートを利用したい方を複数名確保していることが重要であり、自法人・他法人との居宅介護支援専門員とも定期的にコンタクトを取り、関係性を深め今後の紹介に繋げていく。

<取り組みに対して>

【1】ケアの統一を図る。

⇒ケア内容を明確化すること、利用時の様子を細かく記録し情報の共有を行い、次回利用時と同じケアをする、同じユニットで継続してご利用頂くことに努めてきた。次年度も継続していく。

【2】ご家族からの要望を実現するショートステイを目指す。

【3】介護計画の作成。

⇒ご家族・ケアマネージャーと連絡を密にすること、小さなことでも報告連絡相談すること、新規利用者は利用後にご様子の連絡を行い、あわせて次回利用についての提案を行うことに努めてきた。次年度も継続していく。

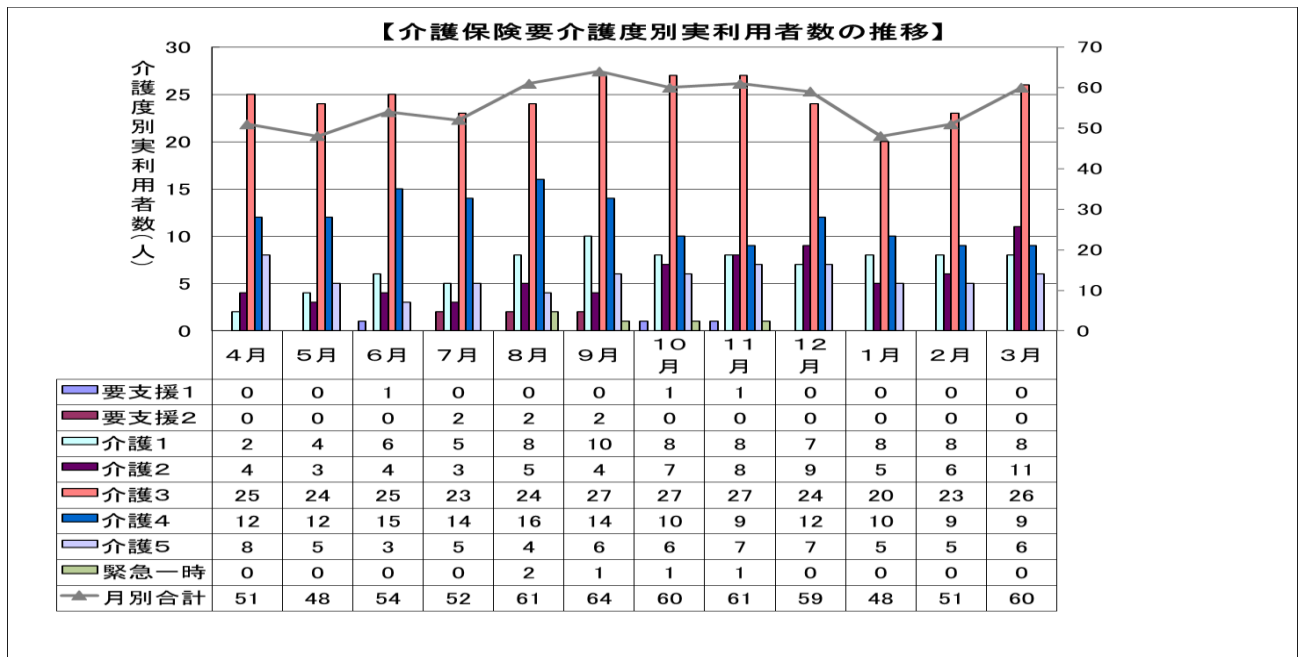
【4】事故の防止。

⇒同一のご利用者に、転倒などのアクシデントが複数回発生する事が見られた。状態の変化に対して居室環境など柔軟に対応していくために、フロアスタッフとの情報交換・共有を継続していく。また、新しいタイプのセンサーを導入しリスクの軽減を進める。

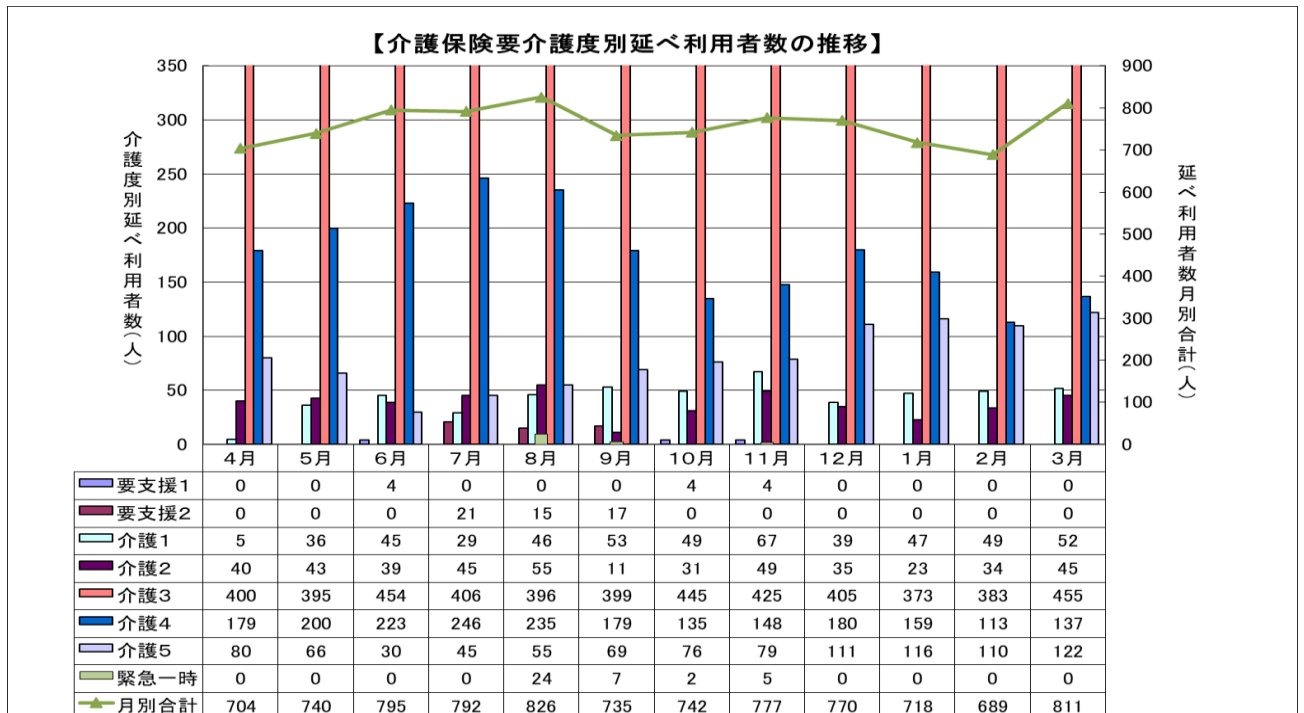
【5】入退所業務の効率化

⇒極力荷物の持ち込みは必要最低限で依頼することを務めてきた。手書き書類の電子化、備品の管理方法の整備については次年度に継続していく。

◎介護度別実利用者数



◎介護度別延べ利用者数



生活支援部看護課 実績報告

<業務計画に対して>

1. 利用者の日常的な健康状態の把握と健康保持への援助

【取り組みと結果】

日々の朝礼、申し送りで他部署との情報交換を行い健康状態の把握に努めた。状態観察する上での留意点等を職員に周知した。

介護記録システムの情報収集することができ、業務の効率化を図ることができた。

2. 急変時の迅速な対応

【取り組みと結果】

「受診の必要性に迷った時は受診する」との基本の元、早期発見を行い重症化する前に対応できるよう心掛けた。採血等の検査を早めを実施し、医師の診断を求めるよう取り組んだ。

3. 利用者の定期健康管理

【取り組みと結果】

新規入所時、及び定期的にすべての利用者に健康診断を実施した。重篤な状態の利用者は無く、内服治療で経過観察する事となった。その他状態変化時、管理医師によって診察（回診）を行い健康管理に努めた。

4. 事故防止と感染予防

【取り組みと結果】

事故防止の為、危険と判断するケアや環境整備出来ているか把握し各部署職員と情報共有をした。共有した内容を職員と共に話し合い危険防止に努めた。

新型コロナウイルス感染症対策本部の指示の元、感染対策を行うと共に、現場職員へ啓発を行った。

5. 職員の健康管理

【取り組みと結果】

4月に全職員の検診を実施し、11月に夜勤従事者の検診を実施。

6月、10月、2月に全職員の検便を実施。

調理に携わる職員は毎月検便を実施した（6月～9月の夏季は2回/月実施）

異常者に関しては直接管理医師より説明・指導を行った。

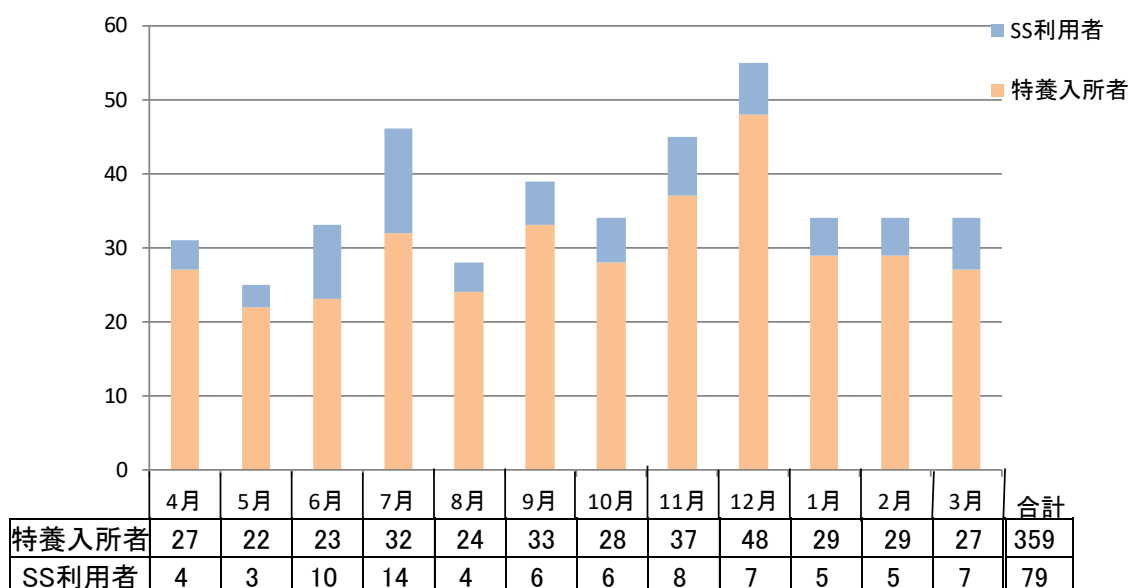
コロナワクチン・インフルエンザワクチン実施し感染予防に努めた。

6. 他部署との連携

【取り組みと結果】

毎朝の、朝礼・各フロアでの申し送り時・ONENOTEを活用し他部署からの情報収集や医務からの発信を行った。

令和3年度 入所者及び居宅利用者 受診件数



〈受診先内訳〉

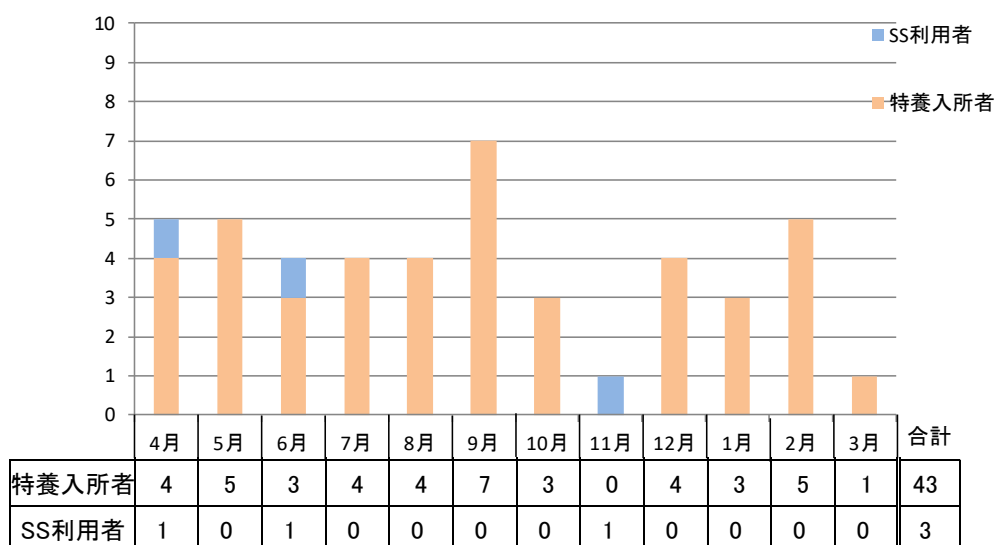
受診先	受診件数
清恵会病院	73 件
浅香山病院	64 件
耳原総合病院	46 件
馬場記念病院	35 件
耳原高砂クリニック	31 件
耳原歯科	25 件
大阪労災病院	24 件
堺市総合医療センター	13 件
菅野クリニック	12 件
橋本接骨院	12 件
阪和第二泉北病院	9 件
北尻耳鼻科	7 件
米田クリニック	6 件
宇多野病院	6 件
なさこ耳鼻科	6 件
若山眼科	5 件
大川内科	5 件
西山クリニック	5 件

受診先	受診件数
重粒子センター	5 件
津田クリニック	5 件
阪堺病院	4 件
三木眼科	3 件
堺市立振興産業センター	3 件
梅田皮膚科	3 件
障害者歯科	2 件
堺平成病院	2 件
谷和医院	2 件
大仙病院	2 件
森松耳鼻科	2 件
ひらう歯科	2 件
団クリニック	2 件
山本歯科	1 件
松原徳洲会病院	1 件
近畿大学医学部付属病院	1 件
植木病院	1 件
大和中央病院	1 件

〈来所Dr診察日数と延べ人数〉

	延べ日数	入所老人	ショート
内科	148	1,685	238
精神科(木)	47	2,175	290
訪問歯科(水・金)	82	2,183	0

令和3年度 入所者及び居宅利用者 入院件数



〈入院先内訳〉

入院先	受診件数
耳原総合病院	22 件
清恵会病院	13 件
馬場記念病院	5 件
陣内病院	2 件
堺山口病院	2 件
堺平成病院	2 件
大阪労災	1 件
阪和第二泉北病院	1 件
大和病院	1 件

主な疾患	受診件数
肺炎	7 件
骨折	6 件
誤嚥性肺炎	5 件
尿路感染	5 件
精査	5 件
発熱	4 件
胸水	2 件
高カリウム血症	2 件
蜂窩織炎	2 件
胆のう炎	2 件
心筋梗塞	1 件
脳梗塞	1 件
呼吸苦	1 件
腎結石	1 件
腎盂炎	1 件
腸炎	1 件
胆管炎	1 件
ヘルペス	1 件
浮腫	1 件
消化管出血	1 件

〈令和3年度 死亡状況一覧〉

順	月/日	年齢	性別	死亡原因	入院期間	在所期間	死亡場所
1	5/27	88	女	老衰	1ヶ月2日	3年11ヶ月15日	耳原総合病院
2	6/11	93	男	心不全	19日	5か月14日	馬場記念病院
3	7/18	91	女	敗血症	1ヶ月14日	2年11か月7日	耳原総合病院
4	8/18	94	女	心不全	1ヶ月4日	11ヶ月29日	耳原総合病院
5	8/7	101	女	心筋梗塞	1日	9年8か月30日	耳原総合病院
6	9/20	100	女	脳梗塞	1ヶ月13日	4年14日	清恵会病院
7	10/24	85	男	老衰	1ヶ月13日	3か月6日	清恵会病院
8	10/27	98	女	消化管出血	4日	3年9ヶ月3日	清恵会病院
9	11/1	109	女	老衰	0	8年3か月18日	大仙もずの音
10	3/10	94	男	腎機能不全	1ヶ月7日	2年6ヶ月	陣内病院
11	3/18	99	女	老衰	26日	4年7か月21日	耳原総合病院

<入所者検査>

	採血	血糖	体重	尿	オキシオ	便	MRSA	EKG	MMSE	NPI	喘息	インフル	XP
4月	78	30	86	4	518	1	0	13	13	0	0	0	7
5月	48	30	86	3	577	0	0	13	0	0	0	0	6
6月	59	10	85	3	395	3	0	9	0	0	0	0	6
7月	47	5	81	0	356	0	0	16	0	17	0	0	4
8月	61	3	83	1	335	0	0	11	0	4	0	0	5
9月	50	0	87	2	341	0	0	15	0	13	0	0	8
10月	49	0	87	4	487	0	0	16	0	4	0	0	5
11月	48	0	86	1	301	0	0	19	0	0	0	0	4
12月	55	0	87	1	374	0	0	11	0	0	0	0	9
1月	51	0	88	2	382	4	0	2	0	16	0	0	2
2月	54	0	84	1	355	0	0	14	0	0	0	0	7
3月	82	0	88	0	327	0	0	16	13	12	0	0	4

<入所者健康診断>

R3年7月21日 対象者81名 入院6名

<職員健康診断>

R3年4月12日～R3年4月24日 対象者135名

<夜勤者・宿直者健康診断>

R3年11月15日～R2年11月24日 対象者44名

<浴室水質検査>

R3年8月23日～8月25日 異常なし

R3年2月24日～3月26日 異常なし

<職員検便>

R3年6月14日～R3年6月21日 対象者138名

R3年10月11日～R3年10月19日 対象者134名

R4年3月7日～R4年3月14日 対象者 134名

<入所者インフルエンザ>

R3年10月25日～R3年11月6日 対象者89名

<職員インフルエンザ>

R3年11月1日～R4年1月18日 対象者136名

<入所者肺炎球菌ワクチン>

R3年12月上旬～R4年1月18日 15名

<職員新型コロナワクチン接種>

R3年5月31日～6月11日 1回目 対象者117名

R3年6月29日～7月30日 2回目 対象者132名

R4年2月14日～3月29日 3回目 対象者105名(内2名は、1・2回目)

<入所者新型コロナワクチン接種>

R3年4月27日～6月11日 1・2回目 対象者84名

R4年3月7日～3月29日 3回目 対象者82名

	神経系																				循環器系												呼吸器系					内分泌系									
	脳血管性認知症	アルツハイマー型認知症	認知症	脳梗塞後遺症	クモ膜下出血後遺症	多発性脳梗塞	パーキンソン病	ラクナ梗塞	脳性小児麻痺	水頭症（正常圧含む）	前側頭葉型認知症	痙攣発作	神経痛	頭部打撲後脳障害	陳急性脳挫傷	脳出血後遺症	脳器質障害	硬膜下血腫	後頭部外傷後遺症	末梢神経症	脳挫傷	びまん性レビー小体	てんかん	心原性脳梗塞	高血圧症	慢性心不全	狭心症	心肥大	心房細動	ペースメーカー	閉塞性動脈硬化症	うつ血性心不全	陳旧性心筋症	拡張型心筋症	脳動脈瘤	門脈肝動静脈瘻	不整脈	たこつぼ型心筋症	喘息（気管支喘息）	慢性呼吸障害	誤嚥性肺炎	慢性閉塞性呼吸器疾患	低酸素血症	肺気腫	睡眠時無呼吸症候群	慢性腎炎	下肢浮腫
男性	0	4	1	2	0	2	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	2	1	1	1	0	1	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	4	1	1	2	2	0	1
女性	5	22	18	9	1	1	2	1	1	0	0	2	4	0	0	8	3	0	2	0	0	0	1	31	3	2	2	4	5	1	2	1	0	2	2	2	1	1	2	0	7	0	1	1	0	6	1
合計	5	26	19	11	1	3	2	1	1	0	1	3	4	1	1	10	4	1	3	1	0	1	1	37	3	2	2	4	5	1	2	1	1	2	2	2	1	3	0	11	1	2	3	2	6	2	

	感染症		代謝・内分泌系				泌尿器系・腎尿路系						眼科系				皮膚科系					耳鼻科系		血液系															
	T P H A 陽性	C型肝炎（肝硬変）	慢性B型肝炎	肝硬変	偽痛風	糖尿病	高脂血症	甲状腺機能低下症	高尿酸血症	糖尿病腎症	慢性腎不全	前立腺肥大	過活動膀胱	過敏性膀胱	慢性膀胱炎	慢性尿路感染症	尿管結石	神経因性膀胱	膀胱炎	出血性膀胱炎	白内障	結膜炎	ドライアイ	緑内障	白癩	皮膚炎（アレルギー）	慢性湿疹	皮膚掻痒症	皮膚欠乏症	褥瘡	接触性皮膚炎	化膿症	疥癬	慢性中耳炎	鼻炎	花粉症	めまい	貧血症	高カリウム血症
男性	0	0	0	1	0	4	1	0	0	1	3	3	1	2	0	2	0	3	0	1	0	0	0	1	2	0	2	0	1	1	1	1	0	2	0	0	0	0	0
女性	0	0	0	0	3	6	8	2	2	0	4	0	0	1	4	4	1	6	3	1	7	2	1	4	8	2	1	3	0	1	0	1	2	0	0	3	1	5	2
合計	0	0	0	1	3	10	9	2	2	1	7	3	1	3	4	6	1	6	6	1	8	2	1	4	9	4	1	5	0	2	1	2	0	0	2	3	1	5	2

	婦人科系		消化器系							運動器系・骨格筋系											精神病																
	乳癌	老人性膣炎	胃潰瘍・十二指腸潰瘍	逆流性食道炎	胆石・胆嚢摘出術後	便秘症	慢性胃腸炎	胃潰瘍性大腸炎	原発性硬化性胆管炎	肝機能障害	消化管出血	敗血症	変形性腰椎症	胸・腰椎圧迫骨折後	変形性膝関節症	老人性膝関節症	骨粗鬆症	腰痛	変形性股関節症	関節炎	大腿部頸部骨折後	大腿骨転子部骨折後	末梢神経障害	廃用症候群	腰椎狭窄症	頸関節症	化膿性関節炎	統合失調症	老年精神病	不眠症	老人性うつ状態	神経症（不安・脅迫）	せん妄	気質性精神障害	双極性感情障害	躁鬱病	妄想性精神障害
男性	0	0	2	0	0	12	0	0	2	0	0	0	2	3	2	1	2	5	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	1	0	0	0	0
女性	1	2	3	2	1	19	4	0	3	1	1	1	3	5	12	3	16	2	4	8	3	2	0	1	4	0	1	1	4	7	4	0	3	1	1	1	1
合計	1	2	5	2	1	31	4	0	5	1	1	1	5	8	14	4	18	7	4	11	3	2	0	1	5	0	1	1	6	8	5	1	4	1	1	1	1

機能訓練部実績報告

(1) 令和3年度 機能訓練一覧

月	入所者				ショートステイ			
	実人数	延人数	開設	1日平均	実人数	延人数	開設	1日平均
4月	74	164	20	8.2	50	20	5	4.0
5月	79	257	25	10.3	46	5	4	1.3
6月	73	484	28	17.3	55	47	19	2.5
7月	76	543	28	19.4	52	45	20	2.3
8月	80	513	20	25.7	56	68	20	3.4
9月	80	510	22	23.2	54	65	19	3.4
10月	79	511	27	18.9	59	61	26	2.3
11月	79	586	29	20.2	60	55	29	1.9
12月	78	524	27	19.4	59	44	19	2.3
1月	79	444	25	17.8	48	207	20	10.4
2月	79	416	19	21.9	51	165	19	8.7
3月	80	559	29	19.3	54	210	21	10.0
合計	936	5511	299	18.4	644	992	221	4.5

(2) 事例報告

【S・K氏 昭和06年1月02日生まれ 女性】

脳膿瘍（脳内で細菌などから感染が起こり、炎症となって膿がたまった状態）により、右半身が可動制限あり。

●介入目的

当初消極的ではあったが、本人より歩行したいと訴えあり。介助での歩行を目標としてリハビリを実施。

●経過報告

（介入当初）

- ・運動があまり好きではなく、手すりを持つての起立着席訓練も怖がっておられる。
- ・歩行練習を始める前に、人間関係の構築と、下肢の緊張をほぐす目的でベッド上でのリハビリをはじめる。
- ・離床のきっかけとして、最初に居室前の手すりを持つてもらい、起立着座訓練を始める。

（介入中期）

- ・下肢の筋力が徐々につき、片膝上げ訓練を追加する。
- ・車椅子から木椅子に移乗の訓練を開始。

- ・立位が安定してきたことにより、本人の意欲的な発言が多くなる。
- ・3mの手引き歩行で歩き、車椅子に座る訓練を開始。
- ・足の運びが良くなり、距離を延ばす提案を行うが、本人は「まだ怖い」と拒否。

(介入後期)

- ・手引き歩行の距離を5mに増やす。安定した歩行が可能。
- ・テーブルを保持しての移動訓練を開始。「家族に歩いているところをみて欲しい」と意欲が増す。
- ・訓練室で、平行棒を使い歩いてもらう訓練を追加。
- ・平行棒内に置いた障害物(牛乳パックで作った台)を跨ぐ訓練を開始。障害物をクリアできる回数が増えることに対し、達成感を感じておられる様子。
- ・同じメニューの訓練を行われているご利用者に接し、対抗心を燃やされる。
- ・ご家族に、歩行練習をしてしっかりと歩けていると近況報告すると、驚かれ喜ばれる。

●考察

介入当初はリハビリに対する意欲や、活動性が低かったS・K様であったが、徐々に訓練メニューを増やし、工夫することでモチベーションを維持でき、意欲向上に繋がった。

一人で訓練するのではなく、誰かと一緒に訓練する場面を作ることで、心理面へのアプローチが上手くいき、更に意欲を向上させることができた。ご利用者個々のおかれている、身体状況のみならず、心理的な側面にも配慮しながら訓練を行う重要性を痛感した。

(3) 令和3年度全体のまとめ

今年度は4階のオキュペルームに機能訓練室を作った。手すりを持ち起立着席を繰り返しての筋力増強訓練と、平行棒内に障害物(牛乳パックで作る)を置き、歩行時にまたいでもらう運動をして、しっかりと足を上げてもらうことによる転倒防止練習を行った。

居室・リビングのみならず、テラスや駐車場・訓練室・階段などあらゆる場所を活用し、飽きのこないリハビリを今後も行っていきたい。

給食部実績報告

目標に対する取り組み

〈ムース食を導入する〉

ミキサー食を形のあるムース食の提供へ変更している。

4月に各フロア会議にて、ムース食提供の意義、移行までのスケジュールを提示し、給食部以外の部署に対して周知をおこなった。その後は全職員への試食会の実施、提供時の評価をおこない、朝食から順次ミキサー食からムース食へ移行した。提供時の反応としては、ご利用者が自力摂取をしてくれるようになった、食べこぼしが少なくなった、介助がしやすいといった声があげられた。しかし現状に対しての評価が実施できていないため、今後の改善につなげるために来年度は定期的にムース食に対しての評価に取り組んでいく。

厨房内においては、ムース食へ移行したことで、調理時間・洗浄時間の短縮がみられている。調理までの準備はやや時間を要するものの、都度タイムスケジュールを見直し、改善できている。今後はムース食のカットや盛り付けの方法、味付を検討し、見た目でも味でも満足していただける形を検討していく。

食事提供数

表-1 食数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
入所	朝食	2225	2197	2108	2227	2249	2227	2300
	昼食	2223	2204	2108	2229	2253	2235	2300
	夕食	2228	2202	2106	2227	2252	2233	2298
ショートステイ	朝食	660	684	745	726	771	643	666
	昼食	716	749	802	788	837	696	732
	夕食	667	690	746	733	765	644	666
デイサービス	昼食	762	825	895	950	879	989	978
	夕食	0	0	0	0	1	0	0
職員	朝食	186	186	180	186	191	180	186
	昼食	1823	1748	1692	1725	1682	1641	1639
	夕食	186	186	180	186	191	180	186
1か月合計		11676	11671	11562	11977	12071	11668	11951
1日平均		389	376	385	386	389	389	386

		11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均(月)
入所	朝食	2270	2368	2387	2107	2295	26960	2247
	昼食	2270	2369	2389	2107	2295	26982	2249
	夕食	2269	2366	2387	2106	2294	26968	2247
ショートステイ	朝食	704	698	686	637	785	8405	700
	昼食	771	766	702	684	847	9090	758
	夕食	729	702	658	639	785	8424	702
デイサービス	昼食	1004	968	820	648	860	10578	882
	夕食	0	0	0	0	0	1	0
職員	朝食	181	182	182	165	183	2188	182
	昼食	1587	1682	1682	1508	1724	20133	1678
	夕食	181	182	182	165	183	2188	182
1か月合計		11966	12283	12075	10766	12251	47375	11826
1日平均		399	396	403	371	395	189292	386

表-2 療養食食数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
対象者数	1	1	1	1	1	1	6
利用日数	30	31	30	31	31	30	183

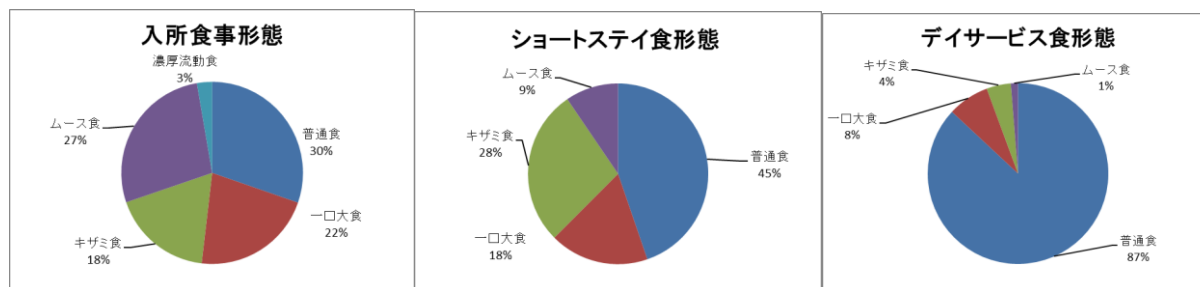
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
対象者数	1	1	1	1	1	1	12
利用日数	31	30	31	31	28	31	365

食事形態

表-3 食事形態割合

	入所	ショートステイ	デイサービス
普通食	30.3	44.7	87.0
一口大食	21.6	17.8	7.4
キザミ食	17.9	28.0	4.4
ムース食	27.5	9.5	1.3
濃厚流動食	2.7	0.0	0.0

図-1 食事形態割合



食事形態は、前年度と比較すると、特養では普通食、ショートステイはキザミ食、ムース食の提供割合が増加している。特にムース食に関してはデイサービスにおいても提供割合が増加していることから、嚥下状態を考慮した食事の必要性を感じている。今後はキザミ食においても、やわらか食で提供が行えるよう検討していく。

給与栄養量

表-4 月別給与栄養量

		目標値	4月	5月	6月	7月	8月	9月
エネルギー	kcal	1484	1534	1523	1515	1502	1501	1500
たんぱく質	g	51.9	61.5	60.2	59.6	60.6	60	60
脂質	g	41.2	35.4	34.6	35.7	36.6	37.5	37.1
カルシウム	mg	621	514	493	485	501	496	495
鉄	mg	6.2	7.9	7.8	7.3	7.1	7.1	7.1
ビタミンA	μg	681	488	449	482	463	448	472
ビタミンB1	mg	0.96	0.66	0.64	0.68	0.67	0.68	0.67
ビタミンB2	mg	1.06	0.98	0.97	0.93	1.06	1.07	1.08
ビタミンC	mg	100	75	70	69	110	112	116
食塩	g	6.7	8.1	8.6	8.2	8	7.9	9
食物繊維	g	14	13.8	13.5	13.2	12.6	12.6	12.1

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	年間充足率(%)
エネルギー	kcal	1509	1514	1516	1472	1454	1467	1501	101
たんぱく質	g	60.4	61.1	59.6	62.3	59.6	60.9	60.5	117
脂質	g	37.5	38.1	38.3	40.7	37.7	41.2	37.5	91
カルシウム	mg	498	492	509	511	484	410	491	79
鉄	mg	7	7.2	7.3	7.4	7.3	7.2	7.3	118
ビタミンA	μg	499	505	484	502	485	488	480	71
ビタミンB1	mg	0.7	0.72	0.67	0.71	0.72	0.67	0.7	71
ビタミンB2	mg	1.08	1.1	1.13	1.10	1.1	1.01	1.1	99
ビタミンC	mg	103	102	108	101	113	103	99	99
食塩	g	8.4	8.8	8.4	8.4	8.4	8.3	8.4	125
食物繊維	g	12.5	12.1	12.5	12.5	12.6	12.8	12.7	91

図-2 給与栄養量の年間平均値の充足率

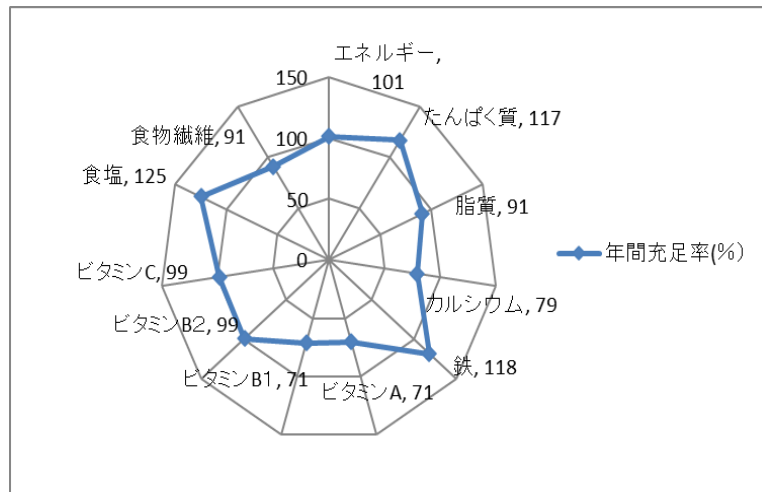


表-5 エネルギー比率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
タンパク質エネルギー比率	63.3	63.7	63.1	62.0	61.5	61.8	
脂質エネルギー比率	16.0	15.8	15.7	16.1	16.0	16.0	
炭水化物エネルギー比率	20.7	20.5	21.1	21.9	22.5	22.2	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
タンパク質エネルギー比率	61.6	61.2	61.5	58.2	60.2	58.1	62.6
脂質エネルギー比率	16.0	16.1	15.7	16.9	16.4	16.6	15.9
炭水化物エネルギー比率	22.7	22.7	22.8	24.9	23.4	25.3	21.5

前年に比べ、ビタミンCの提供状況が改善できている。これはおやつ時に、ビタミン配合の飲料を提供することで改善につなげることができている。しかし、ビタミンA、B1等不足がみられる栄養素もあるため、不足がみられた栄養素を補給できるよう献立内容の見直しを行っていく。

また、主食の形態によって提供栄養量に差が生じるため、栄養補助食品等を添加し改善に取り組んでいく。

セレクトメニュー実施回数 表-6

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
0	0	0	0	0	0	0
11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
1	1	0	0	0	0	0.2

今年度は2回のみの実施に留まっている。目前調理の企画を重視して実施してきたため、セレクトの実施が少なくなってしまうことが要因にある。来年度は目前調理の際や通常献立時にフロアごとで実施できるように計画し、定期的にセレクトをしていただける機会を設けていく。

アクセシビリティ

特になし。

行事食

表-7 実施行事食一覧

行事	メニュー	行事	メニュー
4月	お花見弁当 昼食・おやつ	4階誕生会 おやつ	デコレーションケーキ
	6階誕生会 おやつ	デイおやつレク おやつ	お餅風デザート
	3階テラス 昼食	5階おやつレク おやつ	スイーツボテ
	5階誕生会 おやつ	デイ運動会 昼食	お弁当
	デイ誕生会 おやつ	5階食事会 昼食	お好み焼き
	4階誕生会 おやつ	2階誕生会 昼食	お好み焼き
	デイ喫茶 おやつ	2階誕生会 おやつ	アップルパイ・リンゴのムース
	6階テラス 昼食	デイおやつレク おやつ	たい焼き
	2階誕生会 おやつ	4階秋祭り 昼食・おやつ	屋台・お餅風デザート
	端午の節句 昼食・おやつ	3階誕生会 おやつ	フルーツデコレーションケーキ
4階誕生会 おやつ	3階おやつレク おやつ	パンケーキ	
4階食事会 昼食	6階誕生会 おやつ	ケーキバイキング	
3階誕生会 おやつ	4階食事会 昼食	お好み焼き	
デイおやつレク おやつ	6階秋祭り おやつ	たこ焼き・たい焼き・みかん飴	
2階誕生会 おやつ	デイ誕生会 おやつ	誕生日ケーキ	
5階誕生会 おやつ	5階誕生会 おやつ	フルーツケーキ	
4階誕生会 おやつ	デイ目録 昼食	鮭のホイル焼き	
6月	夏至 昼食・おやつ	4階誕生会 おやつ	季節のフルーツケーキ
6階誕生会 おやつ	6階誕生会 おやつ	5階食事会 昼食	カレードッキングセレクト
5階食事会 昼食	5階誕生会 おやつ	2階誕生会 おやつ	プリンケーキ
2階誕生会 おやつ	4階誕生会 おやつ	デイ目録 昼食	焼肉
3階誕生会 おやつ	3階誕生会 おやつ	3階誕生会 おやつ	いちごムースケーキ
内田様109歳誕生会 昼食・おやつ	6階誕生会 おやつ	開設記念日 昼食	刺身盛り合わせ・松花堂弁当
木谷様100歳誕生会 おやつ	5階誕生会 昼食	6階誕生会 おやつ	プリンアラモード
森様誕生会 昼食	2階誕生会 おやつ	デイ誕生会 おやつ	誕生日ケーキ
4階誕生会 おやつ	森酒屋風食事会 昼食	3階忘年会 昼食	カニ鍋
デイ目録調理 昼食	4階誕生会 おやつ	2階誕生会 おやつ	ケーキバイキング
デイ誕生会 おやつ	3階誕生会 昼食	デイ忘年会 昼食	カニ鍋
2階誕生会 おやつ	デイ目録調理 昼食	3階誕生会 おやつ	レアチーズケーキ
3階誕生会 おやつ	5階誕生会 おやつ	デイ忘年会 昼食	すき焼き
5階誕生会 おやつ	3階おやつレク おやつ	冬至 昼食	ほうとう風うどん
3階おやつレク おやつ	4階誕生会 おやつ	クリスマス 昼食・おやつ	クリスマスランチ・ケーキ
デイ目録調理 昼食	3階おやつレク おやつ	年越しそば 夕食	年越しそば
6階誕生会 おやつ	3階忘年会 昼食	新年祝賀会 昼食	おせち
お盆 昼食・おやつ	2階誕生会 昼食	7草粥 昼食	七草粥
3階おやつレク おやつ	6階新年会 昼食	6階誕生会 おやつ	焼肉
3階夏祭り 夕食	5階誕生会 おやつ	5階誕生会 おやつ	フルーツケーキ
デイ誕生会 おやつ	4階誕生会 昼食	デイ新年会 昼食	海鮮鍋
6階食事会 昼食	4階誕生会 おやつ	4階誕生会 おやつ	栗のムースケーキ
5階誕生会 おやつ	3階誕生会 昼食	節分 昼食	恵方巻
3階誕生会 おやつ	2階誕生会 昼食	デイおやつレク おやつ	ガトーショコラ
2階夏祭り おやつ・夕食	2階誕生会 昼食	4階誕生会 おやつ	チョコレートケーキ
5階おやつレク おやつ	2階誕生会 おやつ	6階誕生会 おやつ	ショートケーキ
重陽の節句 昼食	2階誕生会 昼食・おやつ	雑祭り 昼食・おやつ	松花堂弁当・桜餅
2.3階敬老祝賀会 昼食・おやつ	5階誕生会 おやつ	2階誕生会 おやつ	みかんムースケーキ
5階誕生会 おやつ	6階誕生会 おやつ	5階誕生会 おやつ	ショートケーキ
4階誕生会 おやつ	4階誕生会 おやつ	6階誕生会 おやつ	フルーツケーキ
4階敬老祝賀会 昼食・おやつ	4階誕生会 おやつ	4階誕生会 おやつ	フルーツケーキ
デイ誕生会 おやつ	3階誕生会 おやつ	3階誕生会 おやつ	パブリック
2階誕生会 おやつ	4階誕生会 おやつ	3階誕生会 おやつ	抹茶ケーキ
4.5.6階敬老祝賀会 昼食・おやつ	6階誕生会 おやつ	4階誕生会 おやつ	チョコレートケーキ
6階誕生会 おやつ		6階誕生会 おやつ	ショートケーキ

コロナウイルスの感染状況により、食事会の延期があったため昨年よりも目前調理の実施回数は減少している。フロアごとの誕生会は継続しており、ご利用者の希望に応じたおやつ等の提供を行えている。今年度はフロアごとでの夏祭りや秋祭りがあり、複数の屋台を実施する機会があった。その際も各フロアで特色があり、今までにはなかったメニューに挑戦することもできた。

今後も、介護職員と協力しご利用者の要望に応じた食事の提供を実現できるよう実施していく。

まとめ

目標としていた「ムース食の導入」は達成することができた。厨房職員のムース食に対する理解、施設全体の協力があつたことでスムーズにおこなえた。しかし導入後の評価が実施できておらず、摂取状態だけでなく栄養状態等にも影響があつたのか確認し、改善につなげていくことが今後の課題となっている。次年度はムース食とともに、やわらか食に関しても現状の評価を行い、より食べやすい形で提供できるよう取り組んでいく。

衛生面においては、当施設の厨房から食中毒の発生はなく、安全な食事の提供を実施することができた。今後も継続して調理員一人一人が、衛生管理を徹底していく。

次年度も、より安全で食べやすく、楽しみある給食提供を実施していく。

大仙もずの音デイサービスセンター実績報告

〈事業計画の目標に対して〉

【数値目標】

目標：一日平均 35 名 (R3 年 11 月より 37 名に上方修正)

結果：当初目標は年間一日平均 35.1 名と達成できたが、上方修正後の目標は達成できず。

要因：コロナによる営業自粛：4 月 (5 日間)、5 月 (1 日間) 後は利用人数が徐々に増加したため、11 月より平均利用者数を 37 名に上方修正する。しかし、1 月よりコロナ第 6 波による利用自粛とワクチン接種前の自粛、他施設入所による利用中止により利用者数が減少し、2 月には一日平均利用者が 26.7 名となる。3 月より新規利用者の増加やコロナ自粛者の減少などによりやや回復の傾向 (3 月一日平均 31.7 名) となっている。

【具体的な取り組み】

1. 新型コロナウイルス感染予防の徹底 (クラスターの発生を予防)

感染症 1 次予防として、マスク着用・手洗いの推奨、またフロア内環境として、一人一人ゆったりとしたスペースを設けた利用者同士の密着の抑止、食事席へのアクリルボードの設置や静養スペースの区分などを行なった。

感染症 2 次予防として、迎え時の検温や体調の確認、体調不良者の利用自粛要請等、また、ご利用者・職員問わず、コロナウイルス感染者や濃厚接触者の素早い情報交換や PCR 検査の実施を行なった。

感染症 3 次予防として、コロナウイルス感染者・濃厚接触者と綿密に連絡をとり、休止明けには素早くデイサービスに復帰していただけるように働きかけた。

2. ユマニチュード技法の徹底

毎朝の朝礼時にユマニチュード技法を用いた接遇目標を各自設定し、日々、目標を意識しユマニチュード技法を実践することができた。その結果、ユマニチュード技法を実践する中で、なぜユマニチュード技法を用いるのかを理解することができ、具体的な行動目標を各職員が立て行動することができるようになった。

3. 目的を持って利用していただけるデイサービス作り

【I】飽きのこないアクティビティの実施

・季節風呂 (ゆず湯・しょうぶ風呂) や特別風呂 (リンゴ風呂・レモン風呂等) を毎月実施した。入浴を目的としている方に、より一層楽しく特別感を持って入って頂けるようにしている。柑橘類の香りで嗅覚を刺激しリンゴの赤やレモンの黄色で視覚を刺激し、好評を得ている。

・創作レクについては、職員が独自に考えた毎月のレクリエーションが好評で、デイお便りにその様子を載せご家族への活動の報告を行なっている。

・おやつレク若しくは目録調理を毎月、導入し利用者へ食事の楽しみを提供した。これもデイのお便りに載せ活動内容を報告している。

・図書コーナーを設置した。リハビリや入浴、潤脳活動以外の空き時間を有効に過ごしていただくため、おもて表紙が見える本棚を購入し図書スペースとした。ご利用者の目が届きやす

い場所にコーナーを設けることで本や雑誌を読むご利用者が徐々に増加した。

・業務効率を図るため食洗器とコードレス掃除機などを購入した。食洗器はハイター消毒の省略、掃除機はコードの付け替えの手を省くとともに、軽量化に伴い扱いやすくなっている。

【Ⅱ】歩容調査の定着

アルクダケについては、1日7名程度が参加され（実人数34名）前年度よりやや対象者が減少している。身体を動かしながらの計算問題に解答することが頭の体操だけでなく身体の機能維持につながる為、読み書きや計算等のメニューが嫌いな方でも参加される方が増加している。

認知症PJの研究者と共同し、1日14名程度（実人数121名（中止者含む）が参加）に学習活動を実施し、前年度よりやや増加している。潤脳チャレンジを目的に利用される方も多くおられ、学習後の雑談も楽しみの一つとなっている。年1回、潤脳チャレンジ報告書をご利用者、ご家族に手渡しすることで、活動の可視化により、モチベーションを保っていただける効果が出ている。

【Ⅲ】身体機能の維持

リハビリを常勤のOT1名と非常勤OT1名、非常勤の看護師3名が連携し、小集団体操や個別リハビリが毎日提供できている。リハビリ内容は主に平行棒を活用しての新聞棒体操とスクワットなどの中～高負荷の立位運動を実施している。上記ができないご利用者に対しては座位での低負荷の体操やベッド上のストレッチなどを実施し、前年度より延べ人数が増加した。

リハビリとは別に、昼食前の集団体操（リハビリ体操、口腔体操、歌体操等）を実施している。また、リハ器具では電動足つぼマッサージ器やメドマーが人気で隣の方と会話され交友を深められ、テレビを見ながらリラックスして利用されている。

4. 快適なサービスの提供

【Ⅰ】ご利用者の作品で溢れたデイフロアにする

各月で創作クラブを実施し、制作された作品はデイフロアにて展示させていただいた。その結果、作る楽しみだけでなく展示されることで他者から「上手やな」「すごいね」等の感想を聞くことで、「やりがい」や「達成感」を持っていただくことで、次回の創作意欲の向上・生活意欲の向上に繋がった

【Ⅱ】くつろぎコーナーの充実

足置き台とクッションを増大し、各イスにクッションを設置し、くつろぎながら話しやすい環境を整えた。「座っているのが楽だ」「腰の痛みが和らいだ」等のお声をいただいた。

5. 地域との関係強化

【Ⅰ】オンラインを活用し交流を行う予定であったが、先方の都合やコロナ対応などにより未実施となった。

6. デイサービス会議（学習会）の実施

毎月定期的に会議を開催。実績の報告と今後の予定、新しいアクティビティの創作などを行いサービスの向上に繋げた。

7. 送迎時の安全性を高める

令和3年度、車両事故7件、人身事故1件、計8件の送迎アクシデントが発生した。幸いご利用者や職員、事故相手に大きな怪我等なく車両の損傷のみだった。定期的に朝礼にて上記の事故内容や施設周辺の事故が発生しやすい場所を周知した。

安全講習として他者の車両事故を写真と内容を含めて周知するなど、注意喚起を促した。

8. 職員教育の充実

デイサービス内の学習会はコロナ禍の状況により今年度は実施できず、来年度は感染者状況により実施する予定。

○総評

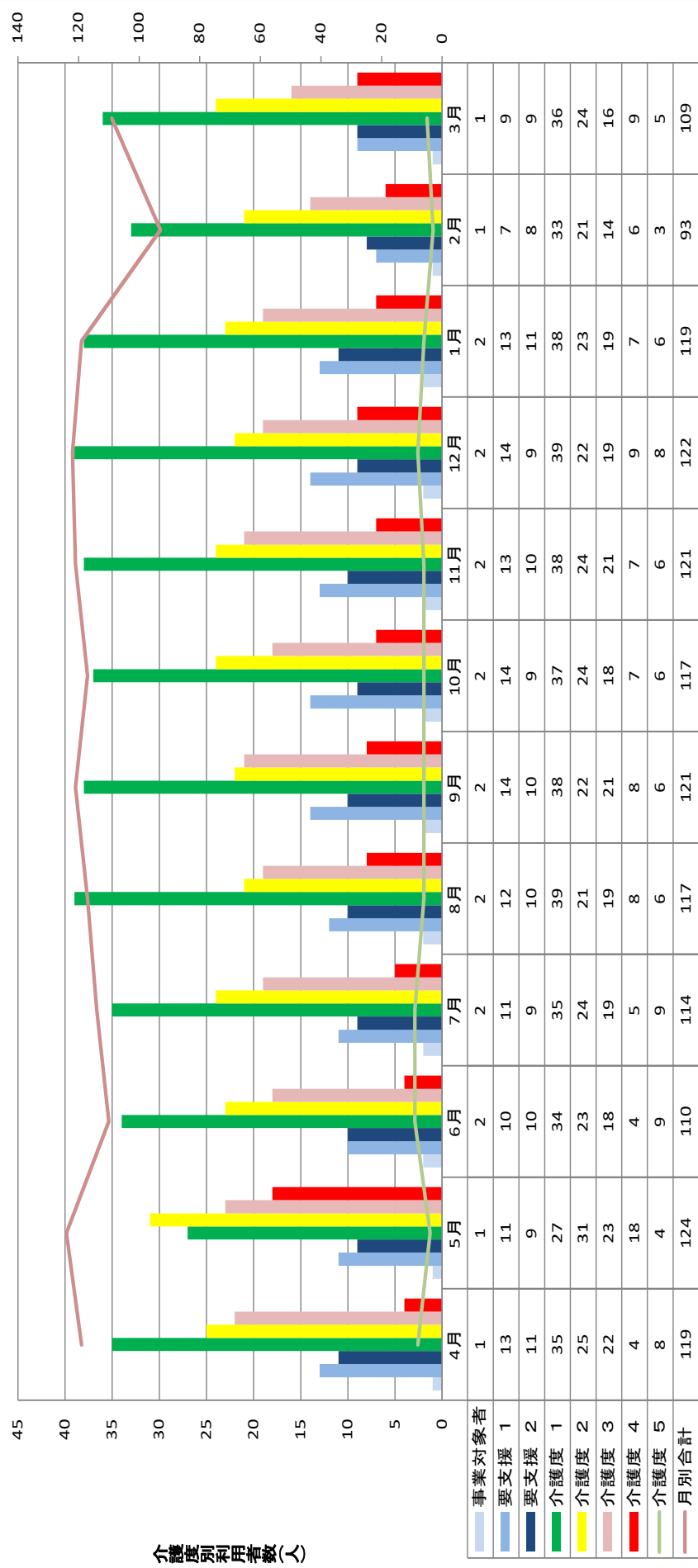
前年度に引き続き、新型コロナウイルスの流行による感染症拡大予防対策に重点的に取り組んだ。4月（5日間）、5月（1日間）計6日間の休業やご利用者のコロナ自粛があるものの、年間目標をわずかにではあるが達成できた。

コロナ禍であっても休むことなく大仙デイサービスを選んで来て下さるご利用者や、コロナ禍で制限がある中でも知恵を絞ってのレクの実施や、マスクやフェイスガードを着用しての風呂介助などを頑張ってくれているスタッフの努力の結果である。来年度も新型コロナウイルスの流行が予想されるが、気を緩めることなく、安全なサービスの提供を行なっていきたい。

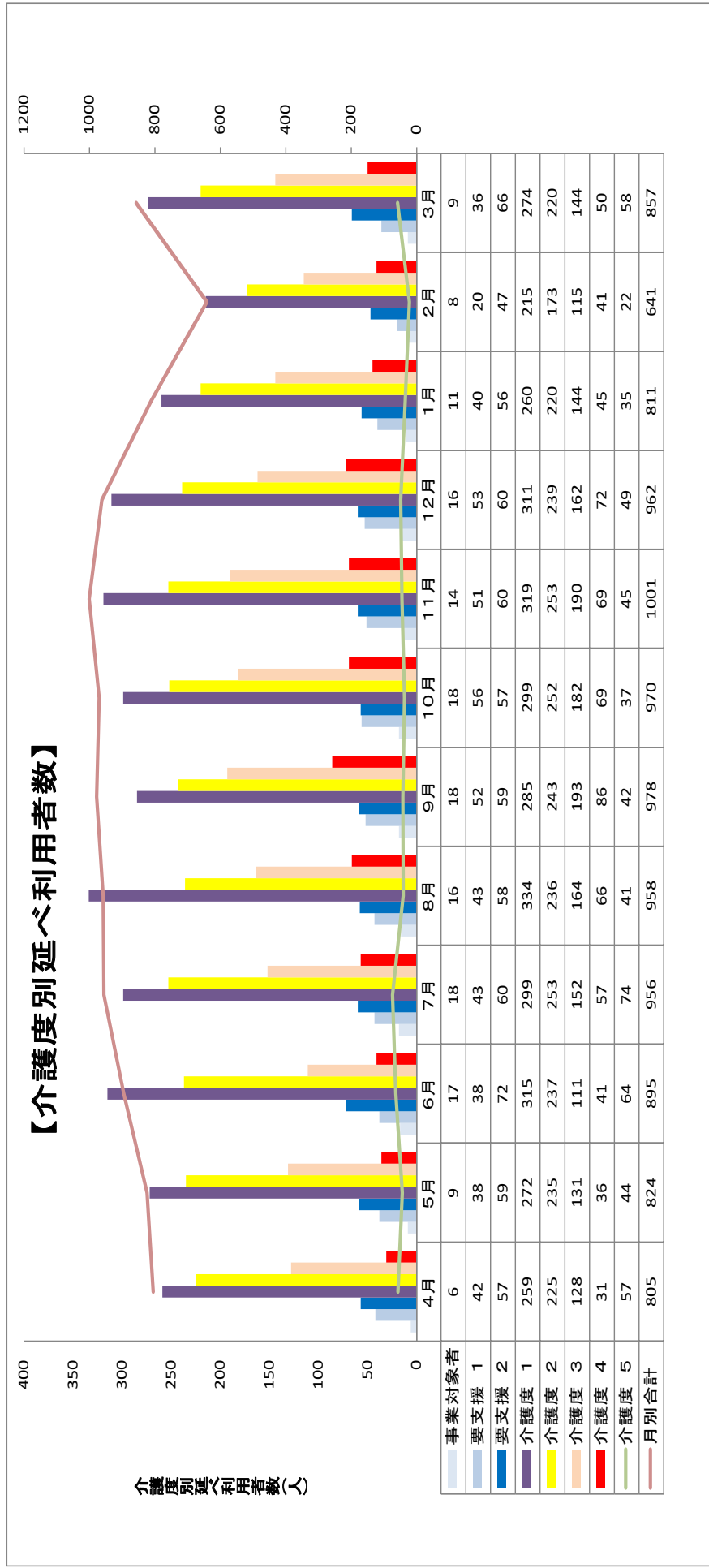
デイサービス(介保・予防)月別利用実績集計表 【2021年4月～2022年3月】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	21日	25日	26日	27日	26日	26日	26日	26日	25日	24日	24日	27日	303日
開所日数	3(1)	2(1)	1(0)	5(1)	7(3)	6(3)	4(1)	5(2)	2(1)	3(0)	0(0)	5(1)	43(14)
新規登録者数(予防)	2(0)	4(0)	3(0)	2(0)	6(0)	1(0)	1(0)	1(0)	2(0)	7(1)	6(1)	2(1)	37(3)
登録廃止者数(予防)	119(25)	104(21)	110(22)	114(22)	117(24)	121(26)	117(25)	121(25)	122(25)	119(26)	93(16)	109(19)	-
月末登録者数(予防)	6	1	17	2	16	2	18	2	16	2	8	1	160
利用者	42	13	38	10	43	11	56	14	53	14	13	20	512
要支援 1	57	11	59	9	58	10	57	9	60	10	47	8	711
要支援 2	259	35	272	31	334	39	299	37	311	39	215	33	3442
介護度 1	225	25	235	23	236	21	252	24	239	22	173	21	2786
介護度 2	128	22	131	18	164	19	182	18	162	19	115	14	1816
介護度 3	31	4	41	4	66	8	69	7	72	9	41	6	663
介護度 4	57	8	64	9	41	6	37	6	49	8	22	3	568
介護度 5													0
申請中													
延べ利用者数(予防)	805(105)	824(106)	885(127)	956(121)	988(117)	978(129)	970(131)	980(128)	982(129)	811(107)	641(75)	857(111)	10,658
1日利用定員	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45
1日平均利用者数	38.3	32.9	34.4	35.4	36.8	37.6	37.3	38.5	38.5	33.8	26.7	31.7	35.2
定員に対する稼働率	85.2%	73.2%	76.5%	78.7%	81.9%	83.6%	82.9%	85.6%	85.5%	75.1%	59.4%	70.5%	78.2%
生活指導	805	824	894	956	958	978	970	1001	962	811	641	857	10657
日常生活動作訓練	805	824	894	956	958	978	970	1001	962	811	641	857	10657
養護	805	824	894	956	958	978	970	1001	962	811	641	857	10657
健康チェック	805	824	894	956	958	978	970	1001	962	811	641	857	10657
送迎	1593	1624	1769	1896	1885	1929	1919	1988	1909	1613	1276	1694	21095
入浴	558	587	617	664	650	649	634	681	640	535	417	539	7171
食事(夕食)	799(0)	817(0)	874(0)	933(0)	938(2)	958(0)	954(0)	974(0)	940(0)	793(0)	635(0)	841(0)	10,485(2)
個別機能訓練加算 I-イ	0	31	0	21	0	24	0	0	0	20	41	101	238
個別機能訓練加算 I-ロ	441	496	643	708	774	751	754	807	776	625	468	574	7817
個別機能訓練加算 II	93	82	86	90	91	92	91	94	95	92	76	87	1069
科学的介護推進体制加算	94	83	88	92	93	95	92	96	97	93	77	90	1090
認知症加算	291	289	312	341	349	367	323	331	308	251	225	331	3718
ADL維持等加算	94	83	88	92	93	95	92	96	97	93	77	90	1090
R3年9月30日までに乗せ加算	94	83	88	92	93	95	92	96	97	93	77	90	1090
感染症災害3%加算	-	-	-	835	-	-	-	-	-	-	-	-	835
中重度者ケア体制加算	700	718	768	835	841	849	839	876	833	652	566	746	9223
運動機能向上加算	22	19	22	22	23	26	25	25	25	26	16	19	270
介護給付請求(千円)	7,217	6,309	7,811	9,007	8,715	9,503	8,947	9,208	8,836	7,168	5,789	7,762	96,272

【介護保険 要介護度別 実利用者数】



平均介護度は、1.9。昨年度1.7からすると、0.2ポイント上昇となる。5月10日にコロナ感染者1名が出たため、デイを休業。介護度4以上の利用者が6月に利用を自粛。その他入院や体調不良による利用中止者が14名となる。また新型コロナウイルスの感染拡大により5月に緊急事態宣言が発令されデイ利用の自粛が重なる。その為、6月の利用人数が110名となる。6月以降よりコロナワクチン接種2回目により徐々に利用人数が増加となる。前年度120名程度から116名程度に利用人数が減少となった。感染症拡大予防として受け入れ時の検温や同居家族の体調確認。館内や備品の拭き取り消毒を実施し感染症拡大予防対策に努めた。結果として利用者や職員に施設内感染者を出すことなく営業出来た。引き続き感染症拡大予防対策を実施する必要がある。



新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が5月～10月まで交互に発令された為、デイ利用の自粛・受け入れ制限と、受け入れ緩和を交互に実施。コロナワクチン接種の影響もあり、利用人数が緩やかに増加する事となる。1月に緊急事態宣言が発令され、受け入れ制限を行った。それにより、2月の利用人数は641名となる。前年度10221名から10658名に利用人数が増加となった。5月10日に利用者1名コロナ感染者が出たため休業を行った。感染症拡大予防として受け入れ時の検温や同居家族の体調確認。館内や備品の拭き取り消毒を前年より継続して実施し感染症拡大予防対策に努めた。結果として利用者や職員に施設内感染者を出すことなく営業出来た。引き続き感染症拡大予防対策を実施する必要がある。今後の課題として感染症拡大予防対策を講じたアクティビティの充実が必要である。それにより利用者満足度を上げ利用者数の維持・向上が見込める。

行事予定

4月	1	木	カラオケ	8月	2	月	シアターもずの音	12月	1	水	シアターもずの音
	2	金	シアターもずの音		3	火	カラオケ		2	木	フラワーアレンジメント
	3	土	カラオケ		4	水	創作クラブ (ひまわりの葉書)		3	金	カラオケ
	4	日	書道		5	木	書道		4	土	創作クラブ (Xmasツリー)
	5	月	風船バレー		6	金	カラオケ		5	日	創作クラブ (Xmasツリー)
	6	火	フラワーアレンジメント (造花)		7	土	創作クラブ (うちわ作り)		6	火	書道
	7	水	創作クラブ (季節の壁飾り)		8	日	カラオケ		7	水	カラオケ
	8	木	創作クラブ (季節の壁飾り)		9	月	エアボーリング		8	木	創作クラブ (貼り絵葉書)
	9	金	創作クラブ (季節の壁飾り)		10	火	目黒調理 (天ぷら)		9	金	創作クラブ (Xmasツリー)
	10	土	創作クラブ (季節の壁飾り)		11	水	カラオケ		10	土	雑学クイズ
	11	日	おやつクラブ (選べるパフェ)		12	木	カラオケ		11	日	誕生会
	12	月	創作クラブ (フクロウのほがき)		13	金	創作クラブ (うちわ作り)		12	月	誕生会
	13	火	創作クラブ (フクロウのほがき)		14	土	創作クラブ (ひまわりの葉書)		13	火	創作クラブ (Xmasツリー)
	14	水	ラベンダー風呂		15	日	風船のあて		14	水	漢字クイズ
	15	木	フラワーアレンジメント (生花)		16	月	おやつクラブ (かき米)		15	木	カーン食べ放題
	16	金	創作クラブ (フクロウのほがき)		17	火	誕生会		16	金	シアターもずの音
	17	土	漢字クイズ		18	水	フラワーアレンジメント		17	土	カラオケ
	18	日	創作クラブ (フクロウのほがき)		19	木	シアターもずの音		18	日	忘年会 (すき焼き)
	19	月	誕生会		20	金	脳活クイズ		19	月	脳活クイズ
	20	火	おやつクラブ (ド'リツカ'イキ)		21	土	シアターもずの音		20	火	創作クラブ (貼り絵葉書)
	21	水	書道		22	日	風船バレー		21	水	カラオケ
	22	木	フラワーアレンジメント (造花)		23	月	カラオケ		22	木	風船バレー
	23	金	コロナ休業		24	火	エアボーリング		23	金	クリスマス会
	24	土	コロナ休業		25	水	雑学クイズ		24	土	シアターもずの音
	25	日	コロナ休業		26	木	シアターもずの音		25	日	カラオケ
	26	月	コロナ休業		27	金	シアターもずの音		26	月	書道
	27	火	雑学クイズ		28	土	雑学クイズ		27	火	書初め、リンゴ風呂
	28	水	雑学クイズ		29	日	書道		28	水	創作クラブ (絵馬)
	29	木	雑学クイズ		30	月	書道		29	木	創作クラブ (絵馬)
	30	金	雑学クイズ		31	火	書道		30	金	創作クラブ (絵馬)
5月	1	土	雑学クイズ	9月	1	水	雑学クイズ	1月	4	火	書初め、リンゴ風呂
	2	日	漢字クイズ		2	木	書道		5	水	創作クラブ (絵馬)
	3	月	シアターもずの音		3	金	カラオケ		6	木	書初め、リンゴ風呂
	4	火	しょうぶ湯		4	土	創作クラブ (n-n'りゅ)		7	金	七草粥
	5	水	しょうぶ湯		5	日	カラオケ		8	土	漢字クイズ
	6	木	しょうぶ湯		6	月	カラオケ		9	日	創作クラブ (絵馬)
	7	金	シアターもずの音		7	火	風船バレー		10	月	創作クラブ (絵馬)
	8	土	創作クラブ (飛び出すカード)		8	水	シアターもずの音		11	火	創作クラブ (絵馬)
	9	日	書道		9	木	フラワーアレンジメント		12	水	カラオケ
	10	月	創作クラブ (飛び出すカード)		10	金	創作クラブ (n-n'りゅ)		13	木	フラワーアレンジメント
	11	火	創作クラブ (紫陽花の葉書)		11	土	雑学クイズ		14	金	創作クラブ (鬼の面)
	12	水	創作クラブ (紫陽花の葉書)		12	日	創作クラブ (n-n'りゅ)		15	土	雑学クイズ
	13	木	フラワーアレンジ		13	月	カラオケ		16	日	カラオケ
	14	金	漢字クイズ		14	火	カラオケ		17	月	脳活クイズ
	15	土	ラベンダー風呂		15	水	風船のあて		18	火	誕生会
	16	日	創作クラブ (紫陽花の葉書)		16	木	創作クラブ (フラワーアレンジ)		19	水	誕生会
	17	月	誕生会		17	金	書道		20	木	シアターもずの音
	18	火	書道		18	土	創作クラブ (フラワーアレンジ)		21	金	新年会 (海鮮鍋)
	19	水	脳活クイズ大会		19	日	敬老祝賀会		22	土	シアターもずの音
	20	木	創作クラブ (飛び出すカード)		20	月	誕生会		23	日	漢字クイズ
	21	金	創作クラブ (紫陽花の葉書)		21	火	書道		24	月	カラオケ
	22	土	創作クラブ (紫陽花の葉書)		22	水	書道		25	火	シアターもずの音
	23	日	おやつクラブ (ゼリー)		23	木	カラオケ		26	水	創作クラブ (鬼の面)
	24	月	ラベンダー風呂		24	金	雑学クイズ		27	木	カラオケイントロクイズ
	25	火	フラワーアレンジ		25	土	シアターもずの音		28	金	シアターもずの音
	26	水	書道		26	日	風船バレー		29	土	創作クラブ (鬼の面)
	27	木	創作クラブ (紫陽花の葉書)		27	月	創作クラブ (フラワーアレンジ)		30	日	創作クラブ (鬼の面)
	28	金	シアターもずの音		28	火	雑学クイズ		1	月	創作クラブ (ダルマの貼り絵)
	29	土	シアターもずの音		29	水	シアターもずの音		2	火	シアターもずの音
	30	日	シアターもずの音		30	木	カラオケ		3	水	節分 (豆まき)
6月	1	火	シアターもずの音	10月	1	金	カラオケ	2月	4	土	カラオケ
	2	水	カラオケ		2	土	シアターもずの音		5	日	創作クラブ (ダルマの貼り絵)
	3	木	目黒調理 (お好み焼き)		3	日	創作クラブ (トンボ飾り)		6	月	カラオケ
	4	金	お楽しみ風呂		4	月	カラオケ		7	火	書道
	5	土	創作クラブ (花のマグネット)		5	火	カラオケ		8	水	創作クラブ (ダルマの貼り絵)
	6	日	創作クラブ (花のマグネット)		6	水	書道		9	木	創作クラブ (ダルマの貼り絵)
	7	月	書道		7	木	創作クラブ (トンボ飾り)		10	金	フラワーアレンジメント
	8	火	創作クラブ (カエルの貼り絵)		8	金	創作クラブ (メガネケース)		11	土	おやつクラブ (バレンタイン)
	9	水	創作クラブ (カエルの貼り絵)		9	土	脳活クイズ		12	日	脳活クイズ
	10	木	フラワーアレンジ		10	日	カラオケ		13	月	創作クラブ (ダルマの貼り絵)
	11	金	カラオケ		11	月	おやつクラブ (団子)		14	火	カラオケ
	12	土	脳活クイズ		12	火	予想ゲーム		15	水	カラオケ
	13	日	風船バレー		13	水	フラワーアレンジ		16	木	雑学クイズ
	14	月	誕生会		14	木	運動会		17	金	創作クラブ (雑飾り)
	15	火	漢字クイズ		15	金	書道		18	土	カラオケイントロクイズ
	16	水	書道		16	土	創作クラブ (メガネケース)		19	日	シアターもずの音
	17	木	風船バレー		17	日	創作クラブ (トンボ飾り)		20	月	誕生会
	18	金	シアターもずの音		18	月	カラオケ		21	火	雑学クイズ
	19	土	創作クラブ (カエルの貼り絵)		19	火	創作クラブ (トンボ飾り)		22	水	書道
	20	日	雑学クイズ		20	水	カラオケ		23	木	書道
	21	月	書道		21	木	誕生会		24	金	カラオケ
	22	火	カラオケ		22	金	シアターもずの音		25	土	創作クラブ (雑飾り)
	23	水	創作クラブ (花のマグネット)		23	土	おやつクラブ (タイ焼き)		26	日	書道
	24	木	創作クラブ (カエルの貼り絵)		24	日	雑学クイズ		27	月	創作クラブ (雑飾り)
	25	金	創作クラブ (花のマグネット)		25	月	シアターもずの音		28	火	シアターもずの音
	26	土	創作クラブ (カエルの貼り絵)		26	火	創作クラブ (メガネケース)		1	水	創作クラブ (造花アレンジ)
	27	日	シアターもずの音		27	水	カラオケ		2	木	創作クラブ (造花アレンジ)
	28	月	カラオケ		28	木	漢字クイズ		3	金	ひな祭りランチ
	29	火	カラオケ		29	金	書道		4	土	書道
	30	水	シアターもずの音		30	土	創作クラブ (メガネケース)		5	日	創作クラブ (造花アレンジ)
7月	1	木	創作漢字クイズ	11月	1	月	創作クラブ (灯籠)	3月	7	月	創作クラブ (造花アレンジ)
	2	金	カラオケ		2	火	シアターもずの音		8	火	創作クラブ (御守り作り)
	3	土	創作クラブ (七夕飾り作り)		3	水	雑学クイズ		9	水	脳活クイズ
	4	日	創作クラブ (七夕飾り作り)		4	木	創作クラブ (筆立て)		10	木	フラワーアレンジメント
	5	月	創作クラブ (七夕飾り作り)		5	金	カラオケ		11	金	雑学クイズ
	6	火	創作クラブ (七夕飾り作り)		6	土	脳活クイズ		12	土	シアターもずの音
	7	水	七夕ランチ		7	日	創作クラブ (筆立て)		13	日	シアターもずの音
	8	木	カラオケ		8	月	創作クラブ (筆立て)		14	月	創作クラブ (造花アレンジ)
	9	金	創作クラブ (ストラップ)		9	火	書道		15	火	創作クラブ (御守り作り)
	10	土	物当てクイズ		10	水	カラオケ		16	水	新聞紙相撲
	11	日	風船バレー		11	木	創作クラブ (筆立て)		17	木	創作クラブ (雑飾り)
	12	月	フラワーアレンジメント		12	金	創作クラブ (Xmasリース)		18	金	創作クラブ (御守り作り)
	13	火	書道		13	土	シアターもずの音		19	土	桜風呂
	14	水	夏祭りランチ		14	日	誕生会		20	日	誕生会
	15	木	シアターもずの音		15	月	雑学クイズ		21	月	漢字クイズ
	16	金	創作漢字クイズ		16	火	創作クラブ (筆立て)		22	火	書道
	17	土	カラオケ		17	水	予想ゲーム		23	水	疑似観光ツアー
	18	日	誕生会		18	木	創作クラブ (Xmasリース)		24	木	フラワーアレンジメント
	19	月	創作クラブ (ストラップ)		19	金	目黒調理 (鮭ホイル焼き)		25	金	カラオケイントロクイズ
	20	火	書道		20	土	創作クラブ (湯呑)		26	土	書道
	21	水	お楽しみ風呂		21	日	創作クラブ (Xmasリース)		27	日	雑学クイズ
	22	木	創作クラブ (ストラップ)		22	月	創作クラブ (湯呑)		28	月	書道
	23	金	脳活クイズ		23	火	焼肉食べ放題!		29	火	創作クラブ (御守り作り)
	24	土	スイカ割りクイズ		24	水	書道		30	水	創作クラブ (御守り作り)
	25	日	物当てクイズ		25	木	カラオケイントロクイズ		31	木	シアターもずの音
	26	月	風船バレー		26	金	漢字クイズ				
	27	火	創作漢字クイズ		27	土	カラオケ				
	28	水	シアターもずの音		28	日					
	29	木			29	月					
	30	金			30	火					
31	土										

ボランティア活動

新型コロナウイルス感染拡大予防の為、活動を中止。

アクシデント

	氏名	状況・症状	対策
4月	N・I様	車イスに浅く座られた状態から自身で立ち上がるとされ座布団ごと車イスからずり落ちられる。外傷・痛みなし。	・クッションには滑り止めを使用する。 ・木イスに座っていただく。また、座りが浅い時は都度、深く座り直す。
5月	Y・Y 様	リフト浴で湯船につかっている際、高温のお湯を足し湯した状態で職員がその場を離れた。結果、職員が戻ると右肩が赤くなってしまっていた。その他、皮膚トラブルなし。	・お湯を使用する際、湯温を確認し使用する。 ・お湯を出す際は、その場を離れない。
	H・Y 様	玄関から外へ出る際、玄関の自動ドアにぶつかり転倒。外傷と特になし。	・玄関ドアに「お気をつけてお帰り下さい」の掲示物を設置し自動ドアがあることを視認しやすい環境を設けた。
	T・G 様	帰宅対応が必要な利用者であるT様がベッドから自身で離床されベッド横で尻もちをつかれる。右下肢に3cm台の擦り傷ができる。	・帰宅対応者がL動に引き継ぎを行い、次の帰宅対応者へ引き継ぎを行う。
6月	M・M 様 ※体験利用の方	お送りのアナウンスの際、お名前をお呼びし自身で立ち上がられた際にふらつきられしりもちをつかれる。外傷・痛みなし。	・初めての利用時はADLに関係なく玄関まで送る。 ・人と荷物は一緒に誘導しない。 ・誘導の時間帯は送迎業務以外行わない。
	T・G 様	自身で歩行されている際に壁にぶつかり転倒される。左頭部に赤みができた。	・対応職員を専任しマンツーマン対応にする。
	Y・S 様	糖尿病の持病があり、おやつをゼリー提供となっていたが誤って塩まんじゅうを提供してしまう。直ぐに他の職員が気づきゼリーを持って行ったがすでに塩まんじゅうを食べられたあとだった。体調特にお変わりなし。	・おやつを配りはじめる際にゼリーやカットが必要な方の名前と人数を確認の上で配膳する。
7月	T・G 様	フロア移動時、置いてあった歩行器に足があたりつまずかれる。職員付き添いでいたが支えられずしゃがみ込むような形で転倒される。右腕にうすら赤みあり。動作に異常なし。	・使用しない歩行器はたたんで置く。 ・歩行に邪魔になる物は置かない。
	M・T 様	風船パレードに参加されちえいる際、風船を取りうと立ち上がられるが、ふらつかれ後方に尻もちつかれガラスに後頭部を打撲される。左相当部に3cm台のたんこぶができる。	・同時に複数箇所風船パレードを実施せず、職員が付き添える場所のみで実施する。
8月	T・H 様	歩行器で移動中、棚から自身の荷物をとろうとし転倒される。テーブルに右頭部を打撲。軽度の痛みと腫れみられる。病院受診するも異常なし。	・体調に合わせて車イスにて移動していただく。 ・歩行不安定な際は移動時付き添い対応する。
	M・K 様	当日の血圧が低くシャワー浴での入浴と判断していたが入浴職員への伝達ができておらず一般浴で入浴してしまった。浴後、体調に異常なし。	・入浴の「可否」「注意事項」等の確認はL動と看護師間で口頭確認のみ変更。 ・誘導手順表を確認し看護師と入浴担当者全員に配布し周知する。
	N・E 様	当日の血圧が低く看護師が入浴実施の判断をしていない状況で入浴してしまった。体調に異常なし。	・入浴の「可否」「注意事項」等の確認はL動と看護師間で口頭確認のみ変更。 ・誘導手順表を確認し看護師と入浴担当者全員に配布し周知する。
	O・Y 様	3日前の昼食後薬が連絡帳に残っていると訪問看護の事業所から連絡があった。当日の記憶はあいまいで別日の薬を配薬している可能性もあり不明瞭。	・連絡帳に配薬忘れがないかL動と看護師が時間差を設け目視で確認する。 ・薬袋内の種類や錠数が同じだが日付が違ったり2包持参があった際は記録に残す。
9月	Y・Y 様	リフト浴に入浴する為シャワーチェアの足置きに足をのせる際、足置きに左足下腿がシャワーチェアに打撲。左足下腿5mm裂傷。少量の出血見られる。ゲンタシン塗布しガーゼ保護する。	・足の近くに足置きを回転させない。
	T・G 様	独歩で移動時、おやつカートに足がつかず右ひざを床に打撲。外傷は右膝に赤みあり。	・目を離さない。 ・その場を離れない。
	H・T 様	看護師が「入浴 可」の判断をしていないのに入浴してしまった。入浴後、体調特に異常なし。	・「入浴 不可」の利用者には「赤色のバングル」を手に装着していただき誘導間違いを他の職員も気づくことができるようにする。
	N・Y 様	木イスに座ろうとしテーブル横に置いていた他利用者の歩行器をまたいだが歩行器に足をつまず転倒。左大腿部に2cm青あざ、右ひざに赤みができる。動作に以上なし。	・歩行器を使用している方の誘導時は着席するまで付き添いを行う。
10月	T・G 様	ソファイスに座っていたが自身で立ち上がり左側に転倒。左ひじを打撲し赤みみられる。その他外傷なし。	・目を離さない。短時間でも離れない。
11月	無し		
12月	Y・Y 様	入浴後にシャワーチェアからベッドに一人で移乗介助し臥床して頂いた。その際、仙骨部より微量の出血がみられた。移乗の際にこすれて皮膚が傷ついた可能性がある。	・頭・足を二人で抱えて移動介助を実施する。 ※移乗介助方法が明確でなかったため。
	Y・Y 様	自宅へお送りする際玄関前の入口から自身で歩行器を支持物にし立ち上がられた。付き添っていた職員が支えたが支えきれずに歩行器ごと右側に転倒。BP=175/79 外傷なし。	・立ち上がり等に使用する支持物は安定しているモノ（手すり・テーブル・イス等）を使用する。
1月	M・M 様	血糖値測定後にテーブルを持ち立ち上がられた際にテーブルが動き後方へ転倒。左後頭部、背部、臀部を打撲するも外傷なく痛みもなし。様子観察する。	・軽量のテーブルを動かないテーブルと交換する。 ・血糖測定場所を別のテーブルにて実施する。
2月	K・H 様	昼食時、魚をのどに詰めムセ込まれていた。少量の食物残渣を吐き出される。直後は喉に不快感あったが消失。以降、体調不良なく経過観察を行う。	・食事時の姿勢を整えてから召し上がっていただきように啓発する。
3月	T・G 様	ベッドの為、誘導しベッドに膝をつかれた際、上半身が勢いよく前にふらつき前方の壁に頭部を打撲される。1cm程度の赤みみられたが直ぐに消失。その他外傷なし。	・ベッドへの誘導時は腰を下ろしてから横になるように介助する。
	K・T 様	昼食時、禁食のある利用者に対し誤って他の利用者の食事を提供し半分以上召し上がってから誤って提供したことを気付いた。禁食も嫌いなだけでアレルギー等ではなく。体調に異常なし。	・禁止物のある食事を移動させない。・禁止物のある食事は単独で配膳する。
	O・M 様	昼食後フロアのホイスに座られ自身のポーチよりリハパンを取り出され紙部をちぎりポリマーをちぎり口腔内に入れられる。すぐに職員がかけより口腔内のポリマーを口腔内よりかき出す。※ポリマーを誤飲しているか不明。健康観察行い特変なし。	・来所時にポーチ内にリハパンが入っていないか目視確認する。 ・紙オムツ類持参をなしにして使用する際は施設購入して頂く。
	W・K 様	集団体操時のスクワットのかかむ動作の時に後方へ転がるように尻もちをつかれる。痛みや外傷なし。	・訓練士の一番近い位置で運動を実施する。

行事委員会活動報告

【活動実績】

9月 … 敬老祝賀会

12月 … クリスマス会・もちつき

1月 … 新年祝賀会・初詣

※その他の年間行事は、ユニット毎に企画し実施。

【令和3年度の総括】

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、各ユニットで開催の誕生日会等の行事や、敬老祝賀会以外は中止となった。また、予定していた、行事も新型コロナウイルス感染疑いのため隔離していたフロアがあり実施を見送った。

実施した行事も各ユニット単位での開催となり、小規模のものとなったが、実施するまでの準備期間が十分にとれ、一部の行事について準備の段階からご利用者に参加してもらうことができた。

一緒に準備等を行うことで、職員と他利用者様の信頼関係を築くことができ、今後のケアに繋がるのが期待される。

前年と違い、今年は初めて他委員会との協力を行った。初の試みであったが、他委員会と何度も話し合いを行うことで、結果としてご利用者に喜んで頂けた。

次年度へ向けての課題として、改めて、各ユニットや他委員会と双方の活動を協力し合う関係を作り、そして、活動していない月が多いため委員内で話し合い、計画、実施を行うことで、コロナ禍でもよりご利用者に喜んで頂ける行事を開催するよう努めていく。

広報委員会活動報告

(活動内容)

① みささぎ新聞発行

令和3年7月 第79号発行

令和3年11月 第80号発行

令和4年1月 第81号発行

② ホームページブログ投稿

1週間に1回を目標に投稿した。

③ 年賀状発送リストの作成

(令和3年度の総括)

みささぎ新聞を通して、コロナ禍でご利用者の外出支援の機会が減少傾向にある中、介護職員が施設内でご利用者に楽しんで頂けるよう工夫している内容を、文章・写真で伝えることができた。

今後は行事だけでなく、施設での取り組みを知って頂けるような内容を掲載していければと思う。

ブログ投稿については1年間で22件の投稿(特養:18件、デイ:4件)を行った。1週間に1回投稿するという目標を達成することができなかった。特養のご家族より「ブログ楽しみにしてます」というお声も頂いているため、今後もすぐに投稿できるような簡易な内容で掲載していく。

環境衛生委員会活動報告

【1. 令和3年度 活動目標】

- ・衛生面 … 季節の節目に普段出来ない場所の掃除を毎月行い、施設を清潔に保つ
- ・環境面 … 3階テラスにて緑化活動。ご利用者がリラックスできるスペース作り

【2. 本年度 毎月の活動】

- 5月 大掃除 (各階ベランダ溝掃除、浴室【浴室のカビ除去・溝・チェアー】)
- 6月 大掃除 (エアコンフィルターカバーの掃除【フロア、居室、共有スペース、排泄ケ
ア室、浴室】)
- 7月 大掃除 (キッチン内掃除)
- 8月 大掃除 (電気傘の掃除)
- 9月 大掃除 (階段スペース掃除【床、手摺、窓ふき】)
- 10月 大掃除 中止 (コロナ感染者発生のため)
緑化活動 利用者様と共に水仙チューリップ植え
- 11月 大掃除 (エアコンフィルターカバーの掃除【フロア、居室】)
緑化活動 利用者様と共にビオラの苗植え
- 12月 大掃除 (エアコンフィルターカバーの掃除【各階共有部、ケア室、浴室、オキュ
ペ室】)
- 1月 大掃除 (キッチン内掃除、浴室のカビ除去、電気傘掃除)
- 2月 大掃除 (窓掃除)
- 3月 大掃除 (窓掃除)
- 4月 大掃除 (窓掃除)

【3. 活動の振り返り】

大掃除については、毎月日曜日の午前午後とリーダー会議開催日を実施日とし、人手がある日を指定したことで人員不足を解消できた。また事前に各部署へ計画書を配布することで、人数も集まり時間通りに作業を行えることが多かった。浴室のカビ除去は、早出職員が10時からカビにハイター後ラップし、遅出職員が14時から掃除をすることで清掃時間を短縮でき、効率的に掃除することができた。

今年度も新型コロナウイルスが猛威を振るっており、大掃除自体が中止になった月もあったので、対策として一か所ずつ大人数で掃除するのではなく、説明後、各階ごとに分かれて掃除に取り組む形で実施する事で感染リスクを減らすことができた。今後もキッチン掃除や電気傘掃除、窓拭きなど各階ごとに実施できるところは人手を一か所に集めず実施する形をとればと思う。しかし2月から実施した窓拭き掃除に関して2、3月で全ての階の窓を清掃する予定だったが、洗剤の拭き残しで窓が汚れてる箇所がいくつも見られ、4月に拭き残し個所の再清掃を行う形となった。各階ごとに分担したはことは良かったが、清掃前の説明と清掃後のチェックも徹底しなく

てはならない。

ゴミ置き場清掃については、ゴミ捨て場扉のホワイトボードの掲示に加え、One Note による周知で掃除忘れを防止し、清潔を保つことができた。

緑化活動の内容については10月、11月にご利用者と共に球根、花の苗植え体験を実施。プランター7つ分の球根、苗を3階テラスへ設置。水やりはタイマー式散水機で毎朝定時に水やりを行うことで職員の負担削減につながった。ご利用者も「昔は畑仕事をしていた」と思い出話しながら楽し気に取り組んでくださり、好評な様子。4月にテラスで食事会をした際にも食後に緑化スペースに寄り、満開の花を見ながら職員と談笑する姿も見られ、満足して頂けた。今後も環境委員の活動の一環として続けていけたらと思う。

給食委員会活動報告

活動の目的

ご利用者にとって、食べやすく楽しみある給食提供を目指す。

- ① 食事会の継続的な実施 ② ムース食の提供

活動内容

○食事会のメニュー決定

目前で食べたいもの、作りたいものを伺い食事会に反映する。

また、各ユニットでの炊飯は2階以外のフロアで実施できるようになっている。

4月：たこ焼き・焼きそば、焼肉 5月：ビアガーデン 6月：天ぷら

7月：居酒屋、夏祭り 8月：夏祭り、お好み焼き、かき氷

10月：お好み焼き、秋祭り、パンケーキ、スイートポテト 11月：お好み焼き

12月：カニ鍋 1月：七草粥、焼肉

○デイサービス食事会

目前での調理、おやつレク等、利用者様に楽しんで頂ける食事会を行う。

4月：喫茶店 5月：ゼリーパフェ 7月：焼き鳥・焼きそば

8月：天ざるうどん 10月：たい焼き、お餅風デザート

11月：鮭のホイル焼き、焼肉 12月：カニ鍋、すき焼き 1月：海鮮鍋

○ムース食導入に向けての取り組み

・試食会の実施

職員向けに試食会、ムース食の提供について説明会を実施。その後、ご利用者に対してお試しでの提供を実施した。6月末より朝食、7月から昼食、夕食の順で移行していき、8月には完全にムース食での提供を行えるようにした。

・評価の実施

導入前にご利用者の摂取状態に関して評価をおこなった。

その後の評価ができていないため、来年度に実施していく。

まとめ

今年度はフロアごとでの夏祭り、秋祭りを実施することになり、それぞれにご利用者の好みや状態に合わせた内容での屋台を行うことができた。しかしコロナの影響もあり、食事会を急遽中止することも多かった。デイサービスにおいては、新たなメニューにも取り組むことができた。今後もいろいろなメニューに挑戦し、よりご利用者に満足していただけるものを提供できるよう取り組んでいきたい。

ムース食に関しては新たな取り組みであったが、施設全体の協力があり、スムーズに導入することができた。来年度は喫食時の状態や、ムース食移行後の変化について評価していきたい。

ボランティア委員会活動報告

【活動目標】

「ボランティア様との親交と新規ボランティア登録者の獲得」

【振り返り】

- ・コロナウイルス感染拡大を予防するため、ボランティア様にはR2.3月から現在まで自粛していただいている。
- ・感染状況とワクチン接種状況を考慮した結果、11月に園芸ボランティア再開。園芸ボランティア様4名と連絡を取り、そのうち3名は再開となった。定期的に植木の手入れや花の植え替え等行っている。
⇒デイ、特養共にご利用者から「花が綺麗。生き生きしている。」と高評価を得た。
- ・2月に、デイ職員と協力し外庭の草刈り作業を行い、植物の手入れなどを行った。
⇒植え込みがきれいになったとご近所様から直接お言葉を頂いた。
- ・3月に、フラワーアレンジメントのボランティア様にご協力いただき、レク回数を月1回から2回に増やしている。
⇒利用日の都合上、フラワーアレンジメントに参加できなかったご利用者も楽しんでいただけた。レクリエーションの満足度が上がった。

【来年度への課題】

- ・ボランティア様と関わらない活動の構築
⇒フラワーアレンジメント、園芸ボランティアなど、間接的にボランティア様に関わっていただく活動を考える必要がある。
⇒歌や楽器の演奏などのボランティア様とは、リモートでつながり、プロジェクターで映して、活動を行う。しかし、ボランティア様側の必要機材の準備や、機器に精通されているかなど不安要素がある。
- ・ボランティア委員の作業分担に偏りがあり、特定の者の負担が大きい。
⇒昨年と同様の課題である。ボランティアとの連絡調整は委員長が行っている為、特養職員などが関わる機会がない。そのためどうしても特定の者だけが動いている状態となっている。

※コロナウイルス感染拡大防止のため、3月よりボランティア様には活動を自粛していただいている。フラワーアレンジメントと園芸ボランティアのみ再開。

月	団体		実施人数	
4	1	グループ	1	人
5	1	グループ	1	人
6	1	グループ	1	人
7	1	グループ	1	人
8	1	グループ	1	人
9	1	グループ	1	人
10	1	グループ	1	人
11	2	グループ	4	人
12	2	グループ	4	人
1	2	グループ	4	人
2	2	グループ	4	人
3	2	グループ	4	人
合計	17	グループ	27	人
月平均	1.42	グループ	2.25	人

リスクマネジメント委員会活動報告

【目標】

- ・前年度のアクシデント件数 107 件を減らす。
- ・前年度のインシデント件数 48 件を増やす。

【活動内容】

- ・過去事例を下に、発生しやすい事象や重大事故につながる事例を対象としたピックアップした。各月にテーマを割り振り、強化月間とし、手順画像の視聴やポスターの張り出し、申し送りを利用した啓発文の読み上げ等による啓発活動を行った。
- ・委員会で発案・改定した、「簡易版ヒヤリハット記入用紙」を一定期間試行し、記入を促した。
- ・リスクマネジメント委員会の会議形式を、対面式からオンライン形式に変更し試行した。

【結果】

- ・アクシデント件数 215 件(前年度比 200%増)インシデント件数 159 件(前年度比 300%増)。
- ・アクシデント件数は増加してしまいましたが、啓発強化月間にテーマ設定した項目のアクシデントは発生しなかった。啓発活動による職員の意識変化が、事故件数の減少に繋がることが見取れた
- ・ヒヤリハットの記入を促した 1~2 月は、アクシデントが他の月と比べ大幅に減少した。
- ・ヒヤリハットの記入用紙を新様式に用いたことにより、記入し易くなったが、ヒヤリハットに至った状況が把握しづらいとの意見があり、更なる改善が必要であることが分かった。
- ・会議形式を対面式からオンライン形式に変更し実施したが、賛否両論の意見があり 12 月より対面式での会議を実施した。オンライン形式の課題としては、通信状況によりスムーズに通信できずに時間のロスが生まれてしまうことが挙げられる。ハード面の課題を克服できれば会議参加の為の移動時間や、休日でも自宅にいながら会議に参加できるメリットを享受できると考えられる。

【総括】

アクシデントやインシデントにおいて、加齢に伴う廃用性の進行による転倒が一番多くみられるが次に多い要因として人的要因が挙げられる。特に「誤薬」は命に関わる重大事例に繋がるため今後も定期的に啓発活動を行う必要がある。

またインシデントにおいて「車椅子ブレーキのかけ忘れ」「備品の片付け忘れ」等が最多であった。人的ケアレスミスを減少させることが、事故を減少させる 1 番の方法であることが明らかになった。発生しやすい事例や重大事故に繋がる事例は、定期的に啓発活動を実施する必要がある。

令和3年度

北第1地域包括支援センター実績報告

今年度はコロナ禍でも安心して活動出来る方法を模索し取り組んだ1年となった。緊急事態宣言、蔓延防止重点措置の時期は、役所での会議はオンラインにて開催されていたが、ケアマネ連絡会や交流会などは中止になっていた。ケアマネ事業所の中には ICT 活用に抵抗がある事業所も有る中で、地域の ICT 推進に向けて、基幹型包括、ケアマネ連絡会、介護支援専門員協会北支部等と連携し、ケアマネ連絡会や交流会が開催できるよう支援を行った。また、地域活動においても、コロナ禍でもできる支援に取り組んだ。新型コロナウイルスに対して、正確な情報の収集と地域への発信に努めるとともに、フレイル予防に努めた。

コロナ禍においてもできる取り組み、コロナ禍だからこそすべき取り組みを模索し、さまざまな方法での啓発活動継続が求められている。

(総合相談事業)

目標：地域包括支援センターの役割と活動の周知をはかり、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、身近な相談窓口となる。

- ①地域の集いの場へ参加し、自治連合会や民生委員・ボランティアグループ等と協働し、顔の見える身近な相談窓口として周知を図った。今年度は新型コロナの影響で、地域の活動が縮小されている中であつたが、地域の支援者と相談しながら、普及啓発を行った。
- ②地域の関係者や行政・医療機関・警察・その他関係機関とのネットワーク構築が深まり、相談件数が増加している。
 - ・相談件数 4,248 件（内、新規相談 342 件）
 - ・オンコールでの緊急連絡体制をとり、緊急時は時間外でも支援できる体制を整備している。
 - ・警察で保護された事例については、警察から堺市を通じて地域包括支援センターに情報を提供するシステムが確立され、保護後の支援に繋がっている。
 - ・ネットワーク構築として、圏域内の郵便局、薬局、銀行をまわり、市民向けに地域包括支援センターの周知啓発を行うとともに、堺市の見守りネットワーク事業所の登録へ繋がった。今年度、新たにかかりつけ専門職おれんじ、住宅供給公社、大阪いずみ生協とも繋がりを作ることができた。
- ③ワンストップの総合相談事業を実施。積極的なアウトリーチによる支援を心がけ、必要に応じた関係機関と連携、協働して支援を行った。（生活援護課・地域福祉課・基幹型包括支援センター・保健センター・医療機関・認知症初期集中支援チーム・権利擁護サポートセンター・消費生活センター・警察ほか）
- ④相談内容は、介護保険制度の説明・認定の申請代行に関する相談だけでなく、虐待案件、認知症、近隣トラブル、健康問題、金銭問題、介護者支援等、多岐にわたり、また内容も単独ではなく複雑なケースや困難事例も多く対応に追われた。
 - ・要介護要支援認定、徘徊 SOS、緊急通報等の申請代行は、131 件/年であった。

(介護予防ケアマネジメント業務)

目標：新型コロナウイルスの感染予防や活動自粛に伴うフレイル予防

高齢者の自立支援、要支援認定者へ適切な介護予防ケアマネジメントの実施

①地域サロンの状況と取り組み

・地域活動の縮小は、地域により様々ではあり、緊急事態宣言下でも継続している所もあれば、感染者数が増加すれば中止とする地域もある。縮小時期でも、地域会館に出向いてもらい、顔を見て啓発資料等を持って帰ってもらったり、地域役員から資料を配布してもらう等、地域での見守り活動に協力を行った。

・活動参加時は、感染者数の現状を伝えたり、ワクチン接種、その他、詐欺被害防止の啓発等、様々な情報を発信した。また、アクティブLINE ロコトレ等、スマホで見て自宅で出来るロコトレ体操等の情報も提供し、コロナ禍でのフレイル予防にも取り組んだ。また、脳トレ教材を配布し、認知症予防にも取り組んだ。

②要支援認定者へ適正な介護予防ケアマネジメントを実施。

・中立性・公平性を担保した介護予防ケアマネジメントの業務委託と介護予防サービス計画原案確認を実施。委託プランは3月末時点で592件（開設当初は約350件）あり、毎月100件を超える委託プランの提出があり、事務処理にかなりの時間を要している。

(権利擁護業務)

目標：虐待の防止や早期発見に努め、成年後見制度の活用等、権利擁護を推進する。

①高齢者虐待

・高齢者虐待通告件数 30件/年。ケアマネ、近隣住民からの情報提供も増えている。

精神疾患、人格的な課題を抱えた養護者からの虐待事例が多かった。

・コロナ禍の自粛や経済面での影響もあるように感じられた。

・虐待通告時は、速やかに虐待コア会議を開催し、虐待者との分離等の支援を行った。また、今年度より虐待受理会議、虐待事例検証会等も行われるようになった。

・ケアマネ向けの「虐待予防ガイドブック」を北区で作成し、ケアマネ連絡会での周知、ケアマネ事業所を訪問しての啓発活動を実施した。

②成年後見制度

・権利擁護サポートセンター等と連携し成年後見制度の申請の支援、後見人の紹介を行った。

③権利擁護

・悪質商法や特殊詐欺の被害防止：国民生活センターや、警察からの安まちメールの情報を提供し、悪質商法や詐欺の手口を紹介した。

・地域の事例を警察や消費生活センターと共有し協働で啓発

(包括的・継続的ケアマネジメント支援業務)

目標：ケアマネジメントの質の向上、関係機関とのネットワークの強化を図る。

- ① 北区ケアマネ連絡会を年 5 回オンラインにて開催。医療機関とのネットワーク強化を目的とした「多職種事例検討会」は書面開催。主任ケアマネ交流会はオンラインで開催。
ICTを活用して開催できるよう、ケアマネ連絡会、介護支援専門員協会北区支部への協力を行った結果、北区のICT活用が進み、コロナ禍でも開催できるようになった。
- ② 圏域のケアマネジャー対象の事例検討・交流会もオンラインで開催。ケアマネジャーの質の向上にむけた支援として、総合事業における「事業対象者の仕組み」や「担い手サービス」に関する普及啓発を行った。また、自立に向けた予防プランの立て方、ケアプランの記入の仕方等についても助言を行った。
- ③ 圏域のケアマネジャーとの連携強化に向けて、メール等で情報提供できるネットワークを構築し、堺市のコロナ対策関連情報や、介護報酬改定情報などの情報提供を行った。
- ④ 個別の委託ケアプランについて、モニタリング記入の要点など、適正な運営に向けて助言を行った。
- ⑤ 困難事例については、同行訪問を行い、ケア会議を開催するなど、ケアマネジャーの後方支援を実施した。

(各種会議への参加)

- ・介護予防ケアマネジメント検討会議（市）
- ・包括支援センター管理者会議（市）
- ・北区高齢者関係者会議（区）
- ・北区高齢者支援ネットワーク会議（区）
- ・北区高齢者あんしんネットワーク会議（圏域）
- ・北区認知症支援部会（区）
- ・北区権利擁護部会（区）
- ・北区ケアマネ支援部会（区）
- ・運営推進会議（9事業所）

今年度はオンライン会議が普及し、コロナ禍でも開催できるようになった。

(その他の取り組み)

○認知症サポーター養成講座

- ・認知症サポーター養成講座（北区認知症ウィーク、北老人福祉センター）にて開催。

○認知症介護家族の会「ほっとしよう」

- ・年 2 回開催（3 回中止）

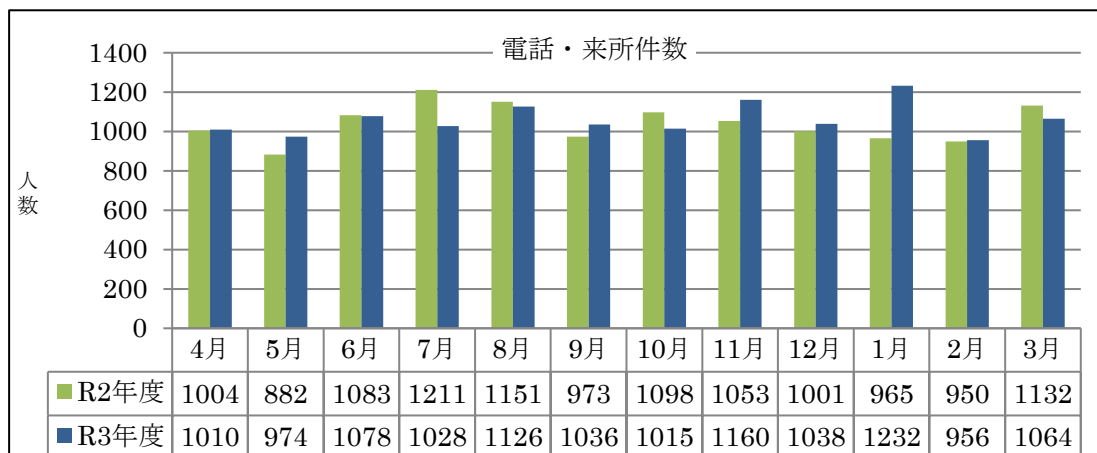
○まちかどつながり相談室（北区の取り組み）

- ・今年度は中止。

○地域の祭りや行事への参加

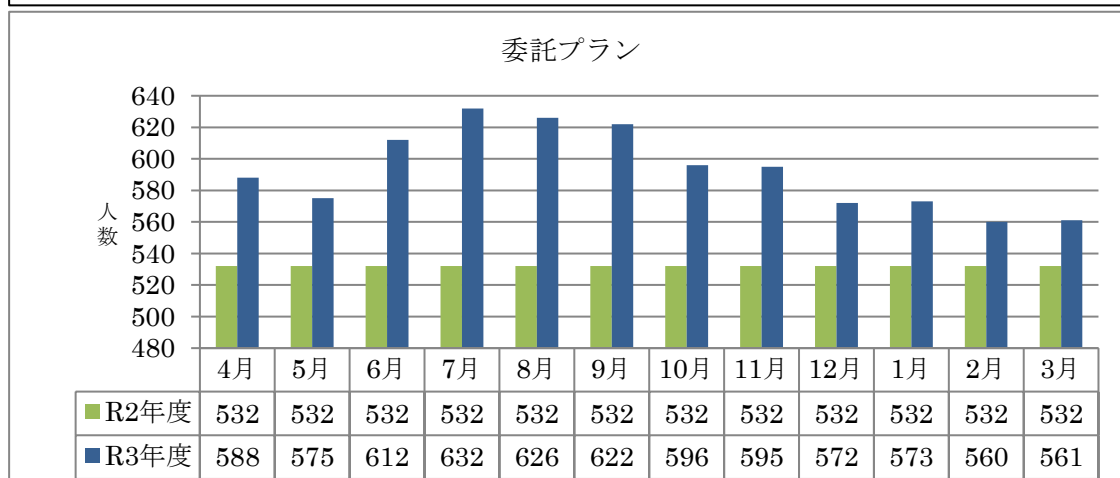
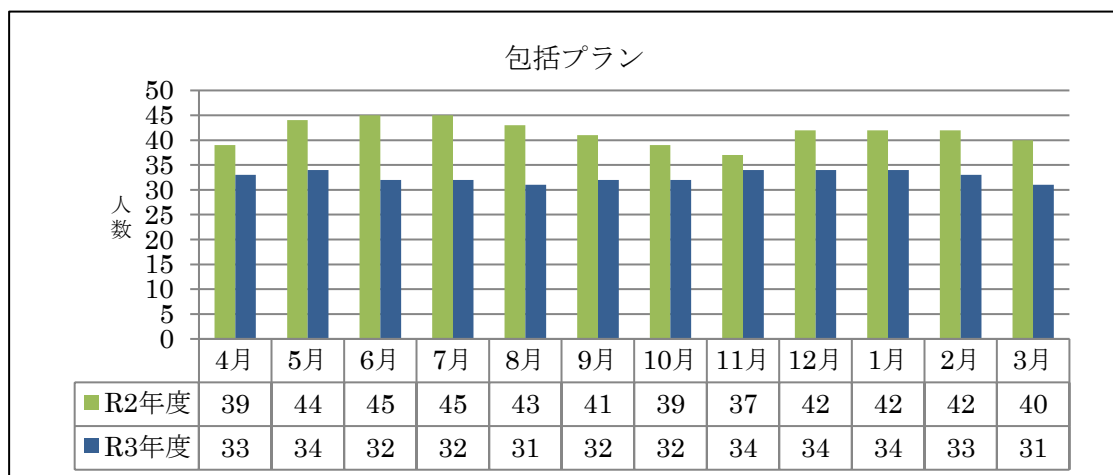
- ・今年度は中止

(電話・来所件数)



開設当初は多くても月 400 件台であったが、地域や関係機関との連携が深まるに伴い、件数は倍以上に増え、現在、月 1000 件を超えている。民生委員・地区の役員等からの相談も増えてきている。警察から保護した認知症高齢者の情報提供、生活援護課からの相談も増えてきている。

(介護予防サービス計画作成状況)



委託プランについては、開設当初 350 件であったが、現在 580 件程度まで増えている。高齢化に伴い、要支援・事業対象者の人数も増加の一方である。

